

第6次鳩山町総合計画

はとやま HAPPY PLAN

町民みんなで共有する未来志向のイメージ



暮らしに幸せを感じるまち HAPPY TOWN はとやま

～住んでみたい・住み続けたいまち～

計画期間：令和4（2022）年度～令和11（2029）年度

令和4年3月

鳩山町

「暮らしに幸せを感じるまちづくり」に向けて

鳩山町は、この12年間、平成22年に策定した第5次鳩山町総合計画に基づき、町民と行政の協働による「安心して魅力的なまちづくり」に地道に取り組んで参りました。この計画の期間満了時には、新型コロナウイルス感染症の拡大など生活が大きく変化しましたが、令和3年12月に大手住販会社が発表した「街の幸福度ランキング」で、鳩山町が全国第1位を獲得することができ、第5次鳩山町総合計画で目指してきたまちづくりの方向性が間違っていなかったことを確信しています。

第5次計画の期間満了にあたり、コロナ禍の中スピーディに、多くの町民の皆様のご意見を伺いながら策定したこの第6次鳩山町総合計画は、第5次計画で目指した住民協働を更に進化させることを心がけました。つまり、多くの町民の皆様からお聞きした鳩山町の幸せな未来イメージを、町民みんなで共有し、そのイメージに向けて協力し合う計画を目指しています。

また、サブタイトルを、「暮らしに幸せを感じるまち、HAPPY TOWNはとやま～住んでみたい・住み続けたいまち～」とし、いつまでも幸せに暮らしていただけるよう、行政サービスの持続可能性を高めるための工夫を経営戦略として盛り込みました。そして、第5次計画で51項目あった評価指標を、第6次計画では、一体的に策定した鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を含め122項目に拡大し、引き続き「成果」を意識しています。

申すまでもなく、総合計画の策定は、今後のまちづくりのスタートでもございます。計画策定にあたり、町民意識調査や「鳩山町の幸せな未来を考えるまちづくりワークショップ」などを通じ貴重なご意見、ご提言をいただきました町民の皆様をはじめ、熱心にご審議をいただきました総合計画審議会委員並びに町議会議員の皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、暮らしに幸せを感じるまちづくりへのご協力を心からお願いいたします。

令和4年3月

鳩山町長 小峰 孝雄

目次

■ 第1編 はじめに

- 1 計画策定の趣旨 ……4p
- 2 計画の性格 ……5p
- 3 計画の特色 ……5p
- 4 計画の構成 ……6p
- 5 計画の期間 ……6p
- 6 計画の実現に向けて……7p

■ 第2編 基本構想

第1章 鳩山町の未来展望

- 1 バックキャストイングの手法による展望 ……8p
- 2 町の魅力……10p
 - (1) 報道によるもの……10p
 - (2) 分析によるもの（潜在する魅力を含む）……12p
- 3 統計資料からみる町の現状と課題 ……15p
 - (1) 人口と財政規模の現状……15p
 - (2) 埼玉県市町村のすがた 2021 による現状と課題……15p
 - (3) 町民意識調査からみる町の現状と課題 ……17p
 - (4) 総合計画審議会のグループワークで示したテーマ検討のための現状と課題……18p
- 4 時代の変化と課題……20p
 - (1) 人口減少、超高齢化、生産年齢人口の減少に伴う財政基盤弱体化……20p
 - (2) アフターコロナ ……21p
 - (3) デジタルガバメントのためのDX（デジタルトランスフォーメーション）……21p
 - (4) SDGs（持続可能な開発目標）……21p

第2章 めざす将来像

- 1 めざす将来像 ……23p
- 2 まちづくりの基本目標（ターゲット） ……23p
- 3 まちづくりのフレーム（基本指標） ……24p
- 4 創生総合戦略の人口ビジョン……24p
- 5 土地利用構想 ……25p
 - (1) 基本的な考え方 ……25p
 - (2) 土地利用構想図 ……26p

第3章 経営戦略（経営体としての町戦略）

- 1 将来像実現に向け、町を維持し、行政サービスを継続するための仕組み……29p
- 2 機能戦略……30p
 - (1) 人口スキーム ……30p
 - (2) 財務スキーム ……31p
 - (3) 改善スキーム ……31p
 - (4) 協働スキーム ……32p
 - (5) 人材スキーム ……32p
- 3 経営戦略の指標 ……34p

■ 第3編 基本目標

- 1 将来像実現のための6つの基本目標（ターゲット）とそのイメージ ……36p
 - (1) Target No.1 環境と共生できるまちをつくります ……37p
 - (2) Target No.2 健康に長生できるまちをつくります ……40p
 - (3) Target No.3 安全安心に暮らせるまちをつくります ……43p

- (4) Target No.4 潤いのある生活ができるまちをつくります ……46p
 - (5) Target No.5 子育てしやすいまちをつくります ……49p
 - (6) Target No.6 文化創造・多文化共生のまちをつくります ……51p
- 2 6つの基本目標・評価指標一覧 ……53p

■ 第4編 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

- 1 人口ビジョン ……60p
- 2 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（機能戦略の人口スキーム） ……63p
- 3 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（機能戦略の人口スキーム）の指標 ……65p

■ 別添資料 ……69p

第1編 はじめに

1 計画策定の趣旨

自治体の規模にかかわらずあれもこれもと盛り込むのが、かつての総合振興計画でした。しかし、基本構想の策定義務を撤廃する地方自治法の改正以降、全国的な人口減少、低成長、財政難、多様な価値観を踏まえ、各自治体の総合振興計画は様変わりし、本町においても、地方自治法改正を先取りする形で、第5次計画で名称から「振興」をとり、あれかこれかの優先付けができるようにしたところです。また、将来人口の展望と5か年の施策の方向性を示す地方版総合戦略の策定の努力義務化を踏まえ、一部改定時に、地方版総合戦略と一体化いたしました。

本町では、第5次計画期間に高齢化率が埼玉県内でトップになるとともに、生産年齢人口数に比例し、行政サービスを支える個人町民税も減少しました。今後は75歳以上の後期高齢者の比率が高まるとともに、更なる人口減少が進んでいく見込みです。また、新型コロナウイルス感染症により、外出及び交流の抑制、デジタル化の急速な進展など、これまでの生活、考え方、価値観を覆すような事態も経験しました。

令和3年度で第5次鳩山町総合計画期間が満了し、本町においては『鳩山町まちづくり基本条例』が基本構想の策定を義務付けているため、第6次計画を策定する必要がありますが、混沌とした時代にあって、これまでのように、現状をもとに不足する要素を物質的に改善していくよりも、精神的豊かさ、心の充実に向け、未来志向的な外部環境との関わり方をイメージとして共有し、町民一丸となって取り組もうと試みるのが、本第6次鳩山町総合計画です。

なお、令和2年12月に町民2千人を対象に実施した『総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた意識調査』において、7割の方が「今幸せと感じている」と回答しました。更に、令和3年9月8日に大手住販会社が3年間の居住満足度調査に基づき発表した「街の幸福度ランキング」でも、鳩山町の幸福度が首都圏で第1位に、その後令和3年12月1日に全国で第1位になり、新聞テレビをはじめ各種メディアでも大きく報道されました。こうした裏付けにより、今回、思い切って幸せにフォーカスした内容としています。

加えて、本計画は、鳩山町まちづくり基本条例で規定している、(恒久的な、)まちづくりの基本施策を基本目標とし、その達成が幸せにつながるようにするとともに、行政サービスのサステナビリティを高めるための仕組みを経営戦略として位置付けることで、同時に行財政改革も行うものです。

【将来像等の変遷】

始期		名称	基本構想・将来像
昭和49年度	第1次	鳩山村総合振興計画 基本構想	自然環境の保全、開発と産業の振興、教育及び福祉の充実、生活環境の整備
昭和56年度	第2次	鳩山村総合振興計画 ※昭和61年に鳩山町 総合振興計画に改定	健康で豊かな生活と香り高い文化を育てるまちをめざして
平成3年度	第3次	鳩山町総合振興計画	限りない未来へ！ 躍動と創造のまち ほとやま
平成13年度	第4次	鳩山町総合振興計画	環のまち ほとやま
平成22年度	第5次	鳩山町総合計画	花と木と笑顔でつなぐ安心で魅力的なまち

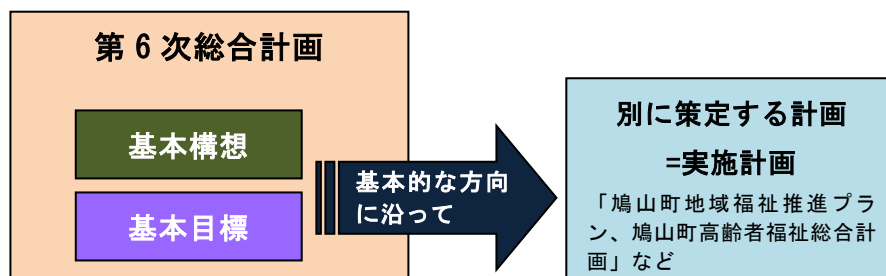
2 計画の性格

第6次総合計画は、将来像やその実現のためのまちづくりの基本目標を総合的に示す計画であり、保健・医療・福祉、環境、教育などの分野における具体的な施策は、基本目標に沿って***別に策定する計画（=実施計画）**などにより推進します。

また、第6次総合計画は、限られた行財政資源を重点政策に投入したり、行政サービスを継続するための仕組みとしての経営戦略も示すものとします。なお、人口に係る視点で町を支えるために策定する「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間；令和4年度から令和8年度まで）」も、第4編として、第6次総合計画と一体的に策定するものとします。

別添資料1

【70P 実施計画】



3 計画の特色

第6次総合計画は、次のような特色をもつものとして策定します。

① 目標が明確で行動指針となる計画

鳩山町は町民が主役になった取り組みを大切にしてきました。第6次総合計画も、町民と行政とで、ともに考え行動できるような共有しやすい指針とします。

② 実現性・持続可能性[SDGs]を確保した計画

第6次総合計画は、現在からの積み上げ型でなく、未来志向の長期的視点に立ってめざすべきビジョンを明らかにするとともに、その実現に向けた基本目標を展開します。なお、できる限り評価指標をSDGs関連のものを含め設定することで、成果を評価できるようにします。また、低成長下、行政サービスを継続するため、財務、業務改善などの視点から構成した経営戦略も位置付けます。

③ 重点目標を明確にし、地方版総合戦略を兼ねた計画

自治体に作成の努力義務がある『地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略』は、主に人口の面から町を支えるための計画です。そこで、第6次総合計画の行政サービス及び町を継続するための経営戦略の一機能として同戦略を包含して策定します。また、意識調査のクロス集計結果などを踏まえ、重点目標を明確にします。

* 基本構想

平成23年の地方自治法改正前までは、自治体が事務処理を進めるために最も基本とする計画でしたが、現在法律的には自主的に作る計画です。しかし、本町では鳩山町まちづくり基本条例で、基本構想を議決を経て定めることとしています。

* 鳩山町まちづくり基本条例

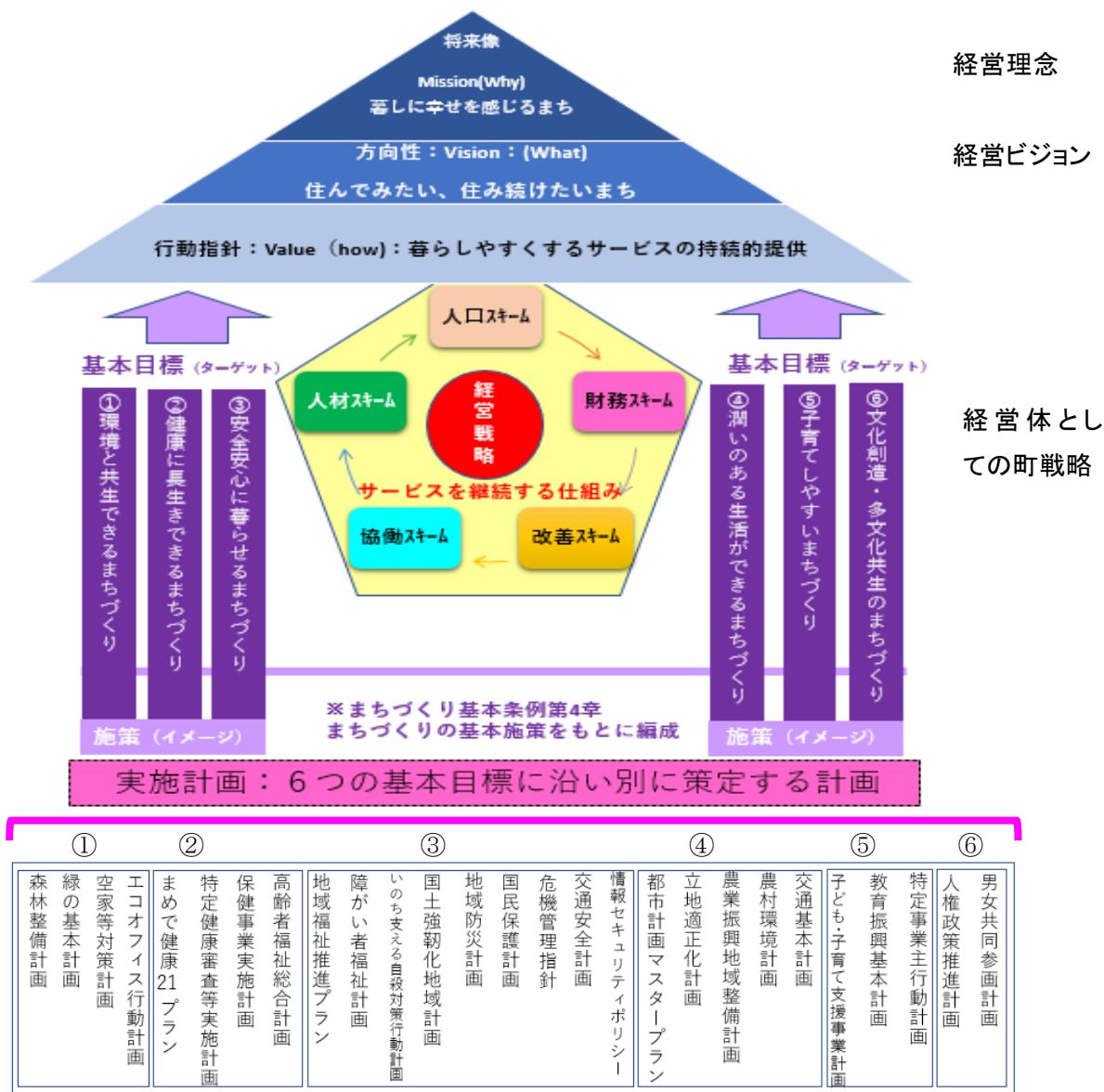
町民と町がまちづくりの基本理念を共有し、相互の協働により活力と温かさにあふれるまちづくりを進めるために平成15年4月1日に施行した条例で、平成26年に「総合計画基本構想を議決により策定するものとする」との一部改正を行っています。

* 別に策定する計画

総合計画基本構想とは別に、各分野の基本目標（ターゲット）達成のため専門的に策定する計画。「鳩山町地域福祉推進プラン」、「鳩山町高齢者福祉総合計画」などが、総合計画に沿って策定されています。

4 計画の構成

第6次総合計画は、*基本構想と*実施計画の2層構造とし、基本構想には、「経営戦略」と6つの「基本目標」を位置付け、基本目標に沿って、別に策定する計画を実施計画とします。基本目標は将来像実現のための中間目標と言えます。



5 計画の期間

(1) 基本構想の期間

長期的視点に立つとともに、経済社会情勢の変化に柔軟に対応するため、第6次総合計画基本構想の計画期間は令和4(2022)年度から令和11(2029)年度までの8年間とします。なお、令和6(2024)年度に実施される町長選挙当選者の公約を踏まえ中間年度に見直しを行います。

(2) 実施計画の期間

基本構想の基本的な方向に沿って別に策定する計画の期間とします。

6 計画の実現に向けて

(1) 計画の推進主体

計画策定の趣旨にもあるとおり、第6次総合計画は、精神的豊かさ、心の充実に向け、未来志向的な外部環境との関わり方のイメージを町民全体で共有し、町民一丸となって取り組もうと試みるものです。したがって、町全体で推進します。

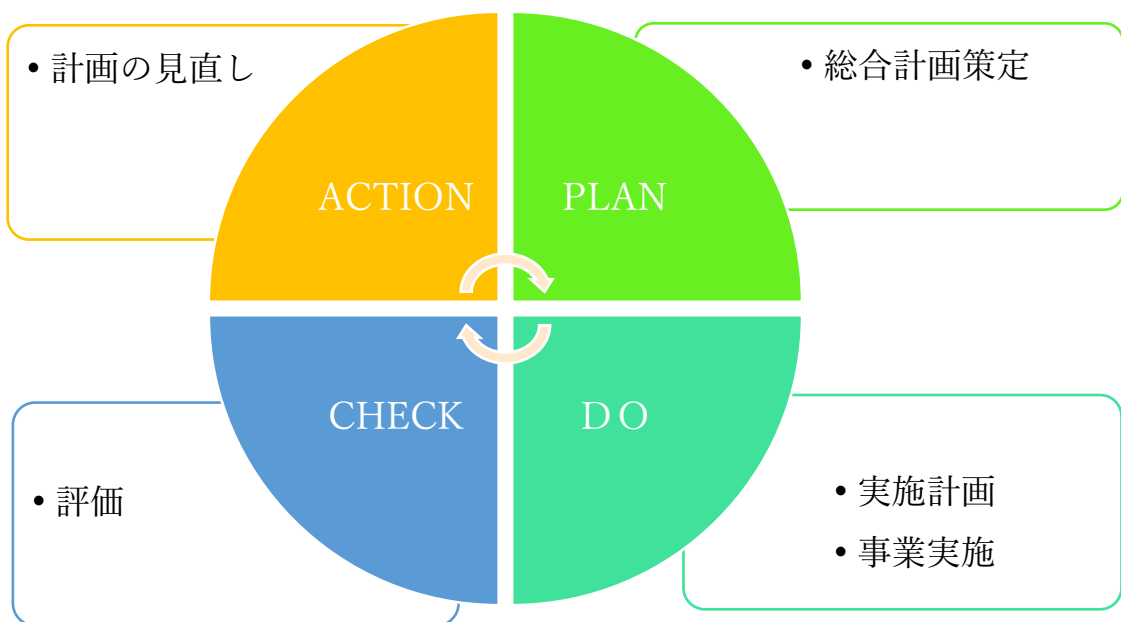
そこで、行政は、実施計画の策定や事業の実施の際に、町民、町内事業者、団体などが協力しながら取り組めるよう、情報提供を行います。

(2) 計画の推進体制と評価

第6次総合計画の基本目標を実現するための実施計画は、パブリックコメント等の町民意見を踏まえて、町政策会議で決定し、鳩山町総合計画推進本部で推進します。

なお、第6次総合計画は、具体的な事業計画ではなく、目標を共有する計画であることから、指標による評価を行うこととします。中間年に鳩山町総合計画推進本部で一次評価の上、町民参加の総合計画審議会等による二次評価結果を公表し、審議会等のご意見を中間年度の見直しに反映することで、PDCAサイクルを確保します。

● 計画の策定・推進・評価



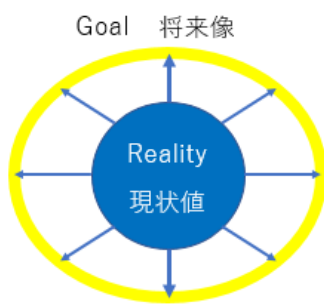
第2編 基本構想

第1章 鳩山町の未来展望

1 バックキャストिंगの手法による展望

【目標・ゴールの設定方法】

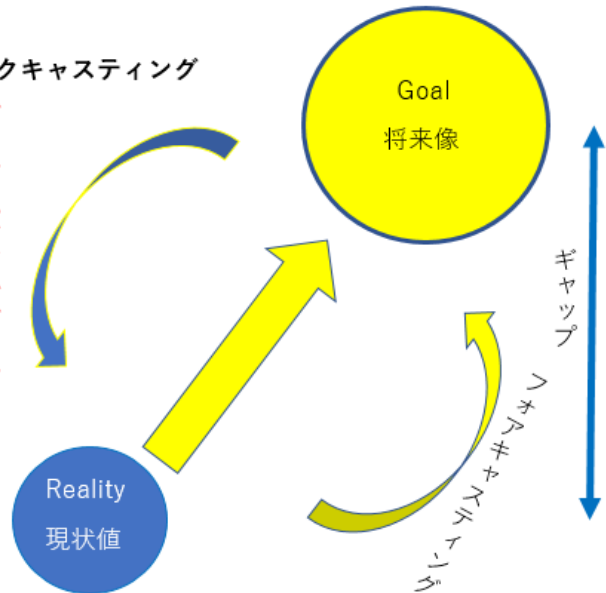
1. フォアキャストिंग



現状値を測定し、弱い分野を強化し、バランス良くしていく方法

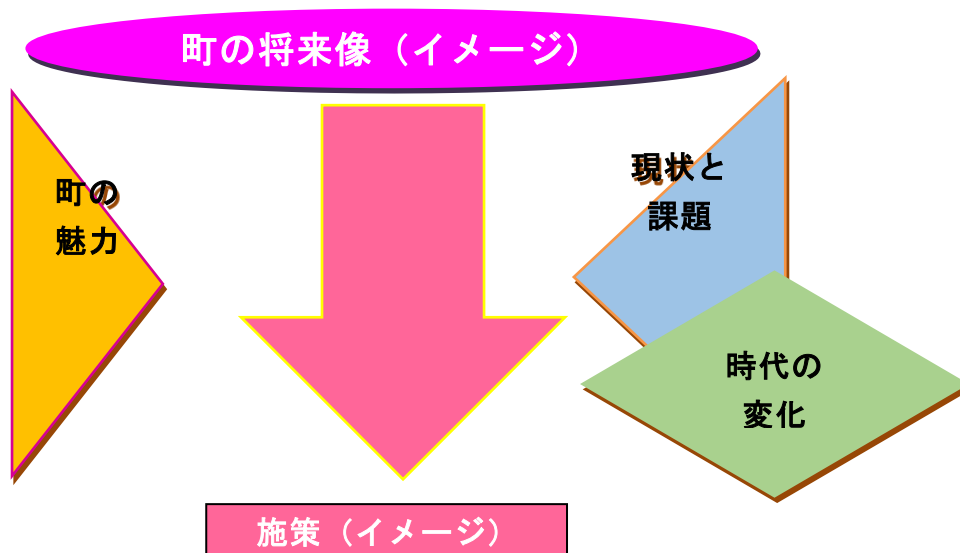
2. バックキャストिंग

ゴールを設定し、ゴールから逆算し、必要な施策（イメージ）を組み立てる方法



第5次総合計画では、左上のフォアキャストिंगの手法により、現状と課題をもとに町の将来を展望しました。

より混沌としてきた時代に策定する第6次総合計画では、SDGs（持続可能な開発目標）で使われているバックキャストिंगの考え方により、将来像から遡って考えた施策（イメージ）に、魅力をアップし、課題を克服し、時代の変化に対応できる施策（イメージ）を追加することとしました。



なお、令和2年12月に町民2千人を対象に実施した『総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた意識調査』において、今幸せと感じる方が約7割もの割合になったことから、『幸せ』をキーワードとする将来像としています。

また、同意識調査における、町政の施策別の「自分が幸せと感じる8年後の鳩山町の姿」への主な意見は、表1のとおりでした。

＜表1：町民意識調査における「自分が幸せと感じる8年後の鳩山町の姿」＞

1.	自然・住環境に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・良い意味で変わらない町 ・自然豊かで静かな町 ・美しい街並み、美しい自然が残る里山 ・緑豊かな景観に囲まれ、誰もが健やかに気持ちよく暮らせる町 ・ゆったり過ごせ、老いも若きも各々の生活を楽しめる町 ・豊かな自然環境に恵まれ、人間らしい安心して日々の暮らしが出来る環境に恵まれた町 (▶クオリティ・オブ・ライフが高い町) ・ワークライフバランスがとれている町 ・緑が多く、外から人がリフレッシュに来る美しい町 	<ul style="list-style-type: none"> ・都内や近隣から遊びに行ける町 ・風光明媚なリモートワークに適した町 ・歩いてほっとする町 ・豊かな自然が維持され、人々が明るく心豊かに生きられる町 ・豊かな緑や清流のある自然環境のもと若い人が居住を求めて集まってくる町 ・住みやすい町 ・(災害時も)安心、安全、豊かな環境で生活できる町 ・高齢者にも子育て世代にも住みやすい・暮らしやすい町
2.	高齢者に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・老後をゆっくり過ごせる町 ・介護を要しても自宅で過ごせる町 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も元気で暮らせ活発で安全な町 ・日本一元気な高齢者が多い町
3.	人に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との絆がある町 ・誰もが協働し、助け合える協力しあえる豊かな町 	<ul style="list-style-type: none"> ・他からの人々を受け入れる多様性のある町 ・努力する町民がいる町
4.	子供・若者に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすく住むのに良い町 ・子供の声が聞こえる町 ・若者にも受け入れられる町 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と共存しながら子育て世代が伸び伸びと生き生き暮らせる町 ・未来を任せる子供たちが心豊かに生活し成長していける町
5.	利便性・活気に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通も買い物も便利な町 ・適度に賑わいがある豊かな町 	<ul style="list-style-type: none"> ・便利で福祉が充実した町 ・活気のある町
6.	町の規模に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模ながらキラキラの美しく住みやすい町 ・小さいながら頑張っている町 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも静かで人情豊かな里山
7.	その他に関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ・納税者が増える町 	

2 町の魅力

(1) 報道によるもの

町が令和2年12月に18歳以上の町民2千人を対象に実施した『総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた意識調査』で、回答者965人中、69%の方が今幸せと感じていると回答しましたが、それを裏付けるように、令和3年12月1日に、次のような大手住販会社の調査結果が発表されました。



大東建託株式会社が3年間の居住満足度調査に基づき、令和3年12月1日に発表した全国の自治体を対象とした、いい部屋ネット街の幸福度&住み続けたい街ランキング2021〈全国版〉で、鳩山町が「街の幸福度 自治体ランキング」で、首都圏版に続き、見事全国でも第1位となり、また唯一偏差値が80台の高い評価となりました。

街の幸福度 自治体ランキング 全国TOP5

順位	自治体名	偏差値	評点
1位	埼玉県比企郡鳩山町	82.5	74.2
2位	愛媛県伊予市	74.8	72.0
3位	宮崎県北諸県郡三股町	74.0	71.7
4位	京都府乙訓郡大山崎町	73.5	71.6
5位	大阪府豊能郡豊能町	73.1	71.5

出典：「いい部屋ネット 街の幸福度 自治体ランキング2021〈全国版〉」

・街の幸福度ランキングは、非常に幸福だと思う場合を10点、非常に不幸だと思う場合を1点とする10段階の回答平均を100点満点にするために10倍して平均値でランキングを作成したものです。

・偏差値とは評点の平均値が50になるように変換し、評点の数値が評点の平均値からどの程度隔たっているのかを示したものです。

・調査方法 株式会社マクロミルの登録モニタに対してインターネット経由で調査票を配布・回収。

・回答者 全国47都道府県居住の20歳以上の男女、2019年～2021年合計521,456名を対象に集計。

・調査期間

2021年3月17日～30日（2021年調査：回答者数187,302人）

2020年3月17日～4月3日（2020年調査：回答者数187,533人）

2019年3月26日～4月8日（2019年調査：回答者数146,621人）

※調査回答数について

本調査結果にあたっては、全国の各自治体の人口の0.3～0.6%から回答を得ており、鳩山町の場合は人口の0.49%から回答を得ています。その全国の回答の平均値で順位をつけているため、回答者数による影響は少ないと考えています。

なお、平均値をとる場合、30～50の回答数があれば統計的な誤差は小さくなると言われていています。

幸福度が全国第1位になった理由ですが、もとになった調査（「いい部屋ネット街の幸福度ランキング 2021〈全国版〉」・「いい部屋ネット街の住みこちランキング 2021」（大手住販会社である大東建託㈱の調査）によると、本町は、ギャンブル施設がなく騒音がなく、道路渋滞がない、密集地火災、津波の心配がない、地盤が安定しているなど、「静かで治安が良い点」及び「物価や住まいにかかるコストが安い」点、の2点で突出した評価を受けたことが幸せな街の要因のようです。

いい部屋ネットの調査の結論の出し方の詳細を把握してはおりませんが、当該調査結果（全国対象自治体の分析結果）に引用されている参考資料（「宗健・新井優太（2018）：住まいが主観的幸福度に与える影響，都市住宅学 No. 103・2018. 10」）によると、経済状況などの客観的要素のほかに、幸せを感じる主観的な要素として、個人的な要素が32%、家族関係が29.1%、住まい関係が18.8%、健康が13.1%、仕事が6.7%影響を与えているそうです。

一戸建ての所有率が高く（回答者の7割強が一戸建て所有者）、また、市街化区域にありながら都市計画税を課していないため（地価だけでなく）税金も約2割安く、住環境が静かな本町は、（主観的な要素の20%弱を占める）住まい関係で優位だったと思われます。

また、健康づくりに力を入れ、65歳健康寿命が埼玉県内3年連続NO.1（男性は5年連続NO.1）で、その結果介護保険料が全国の自治体で4番目に安いことも（健康が主観的な要素の13.1%を占めるため）優位に働いたのではないのでしょうか。

つまり、2つの要素を合計して31.9%の優位の土台があったことが、幸せな街第1位の要因になったのではないかと考えています。

なお、いい部屋ネットの調査の回答数（サンプル数）は67と少ないため、「回答者が変われば違う結果になるのでは？」との意見があるかもしれません。

しかし、これに対しては次の2つの理由からそうではないと考えています。

第一として、調査主体から、「人口に対する回答比率が少なすぎるものはランキング対象

から除いており、人口に対する回答比率における各自治体の違いはほとんどない。回答者の平均値で評価しているため、ランキングへの回答者数による影響はない」との見解を頂いたためです。

第二として、町が令和2年12月に18歳以上の町民2千人を対象に実施した『総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた意識調査』は、町の人口（1万3,470人）から考えると、統計上、信頼レベル95%、誤差1.6%の調査だったためです。これは、統計上、回答者を100回入れ替えても95回は「幸せとの回答者が、67.4%から70.6%までの範囲に収まる」という意味ですので、回答者を入れ替えても同じ結果になると考えているためです。

なお、町民意識調査の回答で、あなたが幸せを感じるために重要な分野と、既に実感している分野の順位が一致（第1位：環境、第2位：健康福祉、第3位：安全安心）しており、大きな変化が望まれていないことも、今幸せであるが故の結果のように感じています。

13年前から町内をドアツードアで結ぶデマンドタクシーを運行し、以降交通死亡事故ゼロが続いていることも安全な町のイメージ作りになっており、いち早い特別定額給付金の給付やコロナワクチンの接種なども安心の評価になっているのかもしれない。

また、町民意識調査では、「町に愛着を感じている町民」、「住みやすいと感じている町民」の割合もともに7割を超えていましたので、町への愛着や住みやすさと幸せとの間に密接な関係があるように推測しており、今後、町への愛着（シビックプライド）や住みやすさを高めることで、幸福度を高めることを考えています。

(2) 分析によるもの（潜在する魅力を含む）

①都心から1時間強の心和む里山

鳩山町には鉄道駅はありませんが、東武東上線の坂戸駅、北坂戸駅、高坂駅を利用すれば、都心から1時間強の距離にあり、高坂駅、坂戸駅からは路線バスでアクセス可能です。こういった条件のなかで、標高が23.5mから140.9mの丘陵地に、自然豊かな里山が広がっています。

里山は、心を癒し身体をリフレッシュする場となっており、朝夕はウォーキングをする町民の姿が多数見られます。

豊かな自然を身近に感じられる環境で、人間らしい生活ができる、クオリティ・オブ・ライフが高い町と言えます。

②多彩な町民の英知と行動力

鳩山町は、大規模住宅団地の開発が行われ、昭和49年から入居が始まりましたので、高齢化と人口減少が進んでいますが、高齢化はマイナス面ではありません。町民の英知と行動力を、鳩山町という地域を舞台に発揮することのできるチャンスでもあります。後で掲載しているように、女性の就業率が高く、高齢者の就業率が低い本町では、高齢者による子育て支援ができれば、子育てしやすい環境づくりによる出生率の向上につながる可能性があります。

③地震災害の少ない比較的安定した地盤

鳩山町は、比較的安定している地盤とされる比企南丘陵に位置しており、地震に強いといわれています。関東大震災でも小川町を震源とする埼玉西部地震でも東日本大震災でも被害は少なく、東日本大震災では被災地域からの避難者を受け入れました。また、令和元年度東日本台風では近隣の海拔の低い市町村から避難してくる人がいるほど、比較的被害が少なかったです。

***深谷断層**による地震が発生した場合、最大震度が6.3と見込まれていますが、公共施設の耐震補強への取り組みも進んでおり、比較的安定した地盤は町に潜在する魅力の1つと考えることができます。

コロナ後のリモートワークの進展により、都心から近く、安全で安価に住める本町のベッドタウンとしての魅力が再び高まっています。

④集積する学術研究機関

鳩山町は、鳩山高校、山村学園短期大学、そして東京電機大学と、幼稚園・保育園から大学まで、すべての教育機関が立地しています。

また、宇宙航空研究開発機構の地球観測センター、日立製作所基礎研究センターなどの研究機関も立地しています。宇宙航空研究開発機構がある関係で、鳩山在来の黒大豆が、若田光一宇宙飛行士の携行品として、宇宙を旅して町に寄贈され、須江地区で種の保存活動が展開されています。

* 深谷断層

本庄市及び藤岡市街地がのる段丘の北側を、北西－南東に延びている断層。

⑤歴史と文化

鳩山町は歴史と文化の町です。自然豊かな里山には古くから多くの遺跡が営まれ、人々の暮らしに関わる民俗芸能や工芸品などの文化財が残されています。（表の「鳩山町の文化財の状況」参照）

鳩山町の文化には、泉井神社の獅子舞、今宿八坂神社の祭り囃子、熊井毛呂神社の屋台囃子などがあります。

また、鳩山町の歴史は、1万年前の縄文時代にまで遡ります。丘陵には縄文時代の集落や古代の窯跡が多数残され、中世には*鎌倉街道が町の中央を縦断しています。また、越辺川沿いにも縄文時代以来の遺跡が広がり、江戸時代には筏河岸が設営されました。

とくに、鳩山町の歴史の一時代を画した古代の窯業史は、大正時代における地元の郷土史家の活動、昭和30年代から40年代にかけて行われた都内の大学などの研究、そして昭和59年から60年にかけて行われた大規模な発掘調査の成果などにより、歴史的価値が全国的に知られるようになりました。

その名称は「南比企窯跡群」と呼称されており、鳩山町の中央部から北部にかけて広がり、さらに、嵐山町・ときがわ町・東松山市の一部にまで及んでいます。また、窯跡群の保存状態は、全国各地の代表的な窯跡群が都市化などで壊滅しているのに比べ大変に良好です。

なお、良好な保存状態のもとにある窯跡群のなかでも、南比企窯跡群の成立にかかわる「県指定史跡赤沼古代瓦窯跡」や、武蔵国分寺瓦を焼いた「新沼窯跡」、「県指定史跡石田国分寺瓦窯跡」を中心にして、その周辺に点在する関連窯跡等が繰り広げる景観は、古代的景観として極めて貴重なものといわれています。そこで、国の史跡指定化に向けて取り組んでいます。

■鳩山町の文化財の状況（指定文化財等）（ ）内は件数

国の登録有形文化財(1)	
県指定文化財(4)	記念物・名勝(1) 記念物・史跡(2) 有形文化財・工芸品(1)
町指定文化財(38)	無形民俗文化財(3)
	有形民俗文化財(1)
	記念物・天然記念物(1)
	記念物・史跡(5)
有形文化財(28)	書跡(1)、考古資料(11)、絵画(4)、 工芸品(4)、歴史資料(2)、彫刻(5)、 古文書(1)

* 鎌倉街道

鎌倉時代の頃の鎌倉道などと呼ばれ、鎌倉幕府の所在地である鎌倉から放射状に各地とをつなぐ古い道のこと。

3 統計資料からみる町の現状と課題

(1) 人口と財政規模の現状

埼玉県には人口 131 万人のさいたま市から、2,575 人の東秩父村まで、40 市 23 町村、計 63 市町村があります。本町は人口規模で多い方から 54（少ない方から 10）番目、一般会計予算規模で多い方から 56（少ない方から 8）番目、財政力指数で強い方から 55（弱い方から 8）番目です。

よって次の(2)の統計では、人口規模と関連性のない項目を除き、これらの順位（上から 55、下から 8 番目前後）と異なる場合は特徴的と考えることができます。

(2) 埼玉縣市町村のすがた 2021 による現状と課題

埼玉県総務部統計課が発行している「統計からみた埼玉縣市町村のすがた 2021」の数値から、「人」「暮らし」「産業」の分野に分けて、鳩山町の置かれている現状と課題を捉えてみます。

① 人の分野

現 状	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 出生率（人口千人に対する出生数の割合）は 3.0 で第 61 位、合計特殊出生率（一生の間に一人の女性（15～49 歳）が産む子供の数）は 0.81 で第 55 位。 婚姻率（人口千人に対する婚姻数）は 2.3（32 件）で第 61 位、離婚率 1.47（20 件）は第 55 位で両方とも少ない。 1 世帯当たり人員は 2.6 人で第 21 位、高齢者単身世帯割合は 10% で第 23 位は、多い方ではない。 社会増減率は△1.91%△26 人の第 50 位と、転出が多い。 外国人人口は 125 人、0.9%、第 58 位で、少ない。 年少人口割合は 62 位、生産年齢人口率は 63 位、老年人口割合は 1 位、平均年齢は 55.5 歳で第 2 位 高齢者の就業率は 21%（1,169 人）で 58 位と低く、完全失業率が 5.44 で第 3 位と極めて高い。 女性（30～39 歳）の就業率が 73.1% で第 11 位と、高い。 生活保護率は 0.48 で第 62 位と、低い。 昼夜間人口率は 95.6、第 15 位で、高い。 65 歳健康寿命は男性が 18.88 年で第 1 位、女性が 21.18 年で第 3 位と、極めて長い。 	<ul style="list-style-type: none"> 本町の出生数（41 件）と婚姻件数（32 件）は極めて少なく、少子化対策の重要な課題となっている。 現在の高齢単身世帯数の割合は県平均をやや上回る程度だが、高齢化が著しく進むなか、今後は急増すると見込まれる。 転出者は若者が中心であり、少子化の要因となっている。 外国人人口が少なく、国際化への具体的な取り組みが進みにくい。 少子高齢化が著しい。 高齢者の就業率が低いので、労働力が小さい。 共働きが多く子育ての余裕がないことが、少子化の要因の一つかもしれないが、<u>高齢者による子育て支援ができればよいのかもしれない。</u> 低い認定率のため、介護保険料は全国で 4 番目に

<ul style="list-style-type: none"> ・要介護（要支援）認定率は 10.7%で第 59 位と、極めて低い。 ・一人当たり医療費（国民健康保険事業）は 37 万 4 千円で、第 8 位と、高い。 	低い。
--	-----

② 暮らしの分野

現 状	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 人以上の入院施設を有する病院の、人口 10 万人当たり病床数は、2247.5 で、第 1 位と、多い。 ・ 19 人以下の入院施設を有する一般診療所の、人口 10 万人当たり病床数は、対人口 10 万人当たり 0 で、第 43 位と、少ない。 ・ 1 人 1 日あたりのごみ総排出量は 882 g/人日で第 18 位で、県平均 858 g/人日並み。 ・ 温室効果ガス排出量は 70.1 千 t-CO2 で、第 59 位と、少ない。 ・ 一人当たり都市公園面積は 8.37ha、5.98 m²/人で、第 28 位。 ・ 一人当たり火災出火率は 6.51 件/万人で第 5 位と、県平均 2.53 件/万人の倍以上で多い。 ・ 交通事故（人身事故）発生件数は人口千人対 1.68 件で、第 56 位と、少ない。 ・ 犯罪率（刑法認知件数÷人口×1000）は人口千人当たり 2.2 件で、第 62 位と、非常に少ない。 ・ 人口千人当たりの保有する普通自動車数（438 台）も軽自動車数（303 台）も第 23 位で、県平均（普通自動車 354 台、軽自動車 183 台）より多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院数は 1 だが、人口に対する病院床は多い。 ・ 一般診療所数は 5 ・ ごみの削減は 10 年前は県平均より進んでいたが、平均並みになった。 ・ 刑法犯認知件数と交通事故発生件数とはともに少なく治安が良く、安全安心なまちのイメージにつながっている。 ・ 治安の良さは幸福度第 1 位の要因でもある。 ・ 交通事故件数は 23 件で、交通死亡事故は 0 件で 13 年継続中。（デマンドタクシーを運行してから死亡事故はない。） ・ 自家用車が主要な移動手段である。

③ 産業の分野

現 状	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 人当たり市町村民所得（企業や子どもを含む）は 246 万 2 千円で第 53 位と、低い。 ・ 一人当たり雇用者報酬は 405 万 8 千円で、第 34 位。 ・ 第 1 次産業（農・林・水産業）の総生産額（3 億 2200 万円）は第 54 位、第 2 次産業（鉱・建設・製造業）の総生産額（37 億 8900 万円）は第 62 位、第 3 次産業（サービス業）の総生産額（251 億 6100 万円）は第 54 位で、いずれも少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定年退職者の拡大により、10 年前に 4 位だった住民所得の順位が大きく低下した。 ・ 雇用者一人当たり報酬は、県平均 469 万円よりは少ないが、真ん中に近い。 ・ 産業が脆弱。

* 刑法犯認知件数

刑法犯の総数から交通関係の業務上（重）過失致死傷罪を除いたもので、被害法益、犯罪態様等の観点から、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯などをいい、その発生を警察が確認した件数。

(3) 町民意識調査からみる町の現状と課題

第6次総合計画（都市計画マスタープラン）の策定や策定後の計画の推進にあたり、本町の政策に関する町民の意識やニーズを把握するためにアンケート調査を行いました。

調査結果は第6次総合計画の策定にあたり重要な資料として活用し、P73以降に掲載していますが、ここでは、「町への愛着と永住意向」、「住みやすさ」、「政策の実感度と重要度」、「現在の幸福度と今後幸せと感じるために重要な分野」、そして「幸福を感じるための8年後の町の自由記述の概要」から、町の現状と課題を捉えました。

*18歳以上の男女2,000人を対象として、令和2年12月22日から令和3年2月18日にかけて実施。
(1月8日までだったのを延長)

① 町への愛着と永住意識

町への愛着については、P82のとおり「愛着を感じている」「どちらかという愛着を感じている」の合計で73.7%でした。愛着は鳩山町が好きであると言い換えることができます。また、後の設問（P95）で今幸せと感じている人の割合が69%でしたが、クロス集計したところ、「町のことが好きな人は、今幸せと感じている」傾向がありました。

年代別にみると、10歳代と20歳代は、「愛着を感じている」、「どちらかと言えば愛着を感じている」の順に多かったです。30歳代及び40歳代並びに60歳代以上は、「どちらかと言えば愛着を感じている」、「愛着を感じている」の順に多かったです。なお、30歳代の第2位は同率で「どちらでもない。」で、40歳代の第2位は同率で「どちらでもない。」「愛着は感じない」でした。

50歳代は、「どちらでもない」、「どちらかと言うと愛着を感じている」の順に多かったです。

第6次総合計画意識調査 「年齢と町への愛着」のクロス集計（単位：％）
(未回答の分、合計が100になっていない)

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
愛着を感じている	63.6	37.8	23.0	18.1	17.1	33.6	34.8	34.3
どちらかと言うと愛着を感じている	36.4	33.3	42.6	44.7	30.5	43.0	44.5	45.7
どちらでもない	0.0	20.0	23.0	18.1	31.7	14.2	15.2	11.4
愛着は感じない。	0.0	6.7	6.6	18.1	12.2	6.6	4.0	3.8
わからない	0.0	2.2	3.3	1.1	8.5	2.7	1.2	1.0

永住意識については、P84のとおり「ずっと住み続けたい」、「どちらかと言うとずっと住み続けたい」の合計は72.5%で、平成21年9月に実施した第5次計画策定前の調査と比べ17.1ポイント伸びています。

② 住みやすさ

住みやすさについては、P83のとおり、「住みやすい」、「どちらかという住みやすい」の合計が62.6%、「住みやすい」が19.7%、「住みにくい」が6.2%で、いずれも11年前の第5次計画策定前の調査と全く同じ結果となりました。「今幸せと感じているか」の設問とクロス集計したところ、「住みやすいと感じている人は今幸せと感じている」傾向がありました。

住んでみて感じた魅力については、P83のとおり、「自然・景観が豊か、空気や河川の水がきれい」、「騒音などがなく静かで心が休まる」、「地盤が強い（地震に強い）」「交

通事故、犯罪が少なく安心」の順に多かったです。

また、住んでみて魅力に欠ける点については、P84 のとおり、「バスなどの公共交通が不便だから」、「通勤・通学、買い物が不便だから」、「働く場や機会が少ないから」「医療機関や福祉サービスが充実していないから」の順に多かったです。

自然の豊かさを住みやすいと感じる一方で、公共交通の不便さや働く場や医療機関や福祉サービスが少ないことから、住みにくさを感じている人が多くいます。

③ 政策の実感度と今後幸せを感じるために重要な分野

意識調査では、7つの政策分野の55項目について、P86～P94 のとおり、実感度と重要度を尋ねました。その結果、実感している分野と今後幸せと感じるために重要な分野の上位3つが、ともに、「(生活)環境」、「健康・福祉」、「安全・安心」の順でした。

したがって、このままの暮らしが続くことを望んでいる人が多いため、方向性としては現行の町政を維持する必要があることが確認できました。

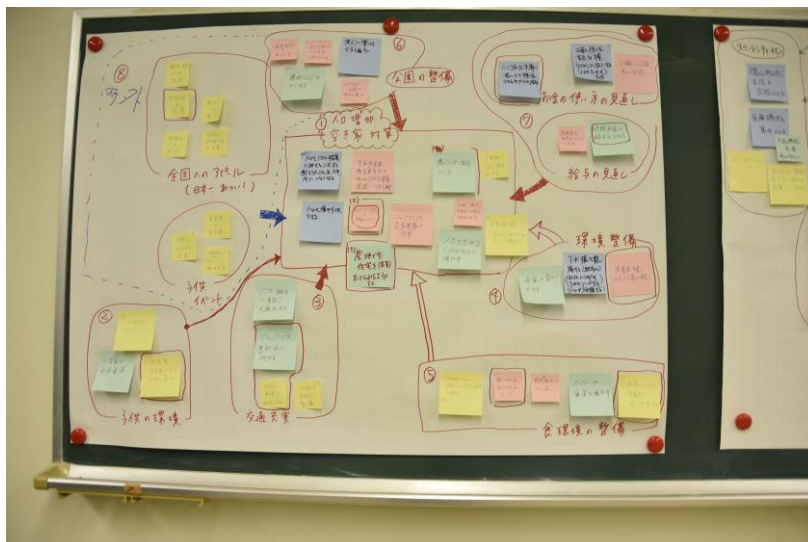
また、重要度と満足度の関係を見ると、「重要度は高いが満足度が低い」場合は、一般的に重点的な政策展開が必要と言え、このような見方で、55項目の政策項目を分類し、分析した結果、P100、P101 のとおり、「地域によっては、医療機関、買い物及び交通の便、運動習慣、災害への備え、生涯学習環境」が課題であることが明らかになり、補強していく必要性を確認しました。

(4) 総合計画審議会のグループワークで示したテーマ検討のための現状と課題

前提条件（課題）			コメント
10月1日の人口の見込み(単位:人)			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、特に75歳以上の方は、病院へ通う頻度が高いため、医療費への町税による補填額が増えることが見込まれます。 ・高齢者は機械に弱い場合が多く、電話対応のマンパワーが増えることが予想されます。 ・働く年齢の人口が減り、個人町民税を収める人が減るので（町サービスの原資が）減収になると見込まれます。 ・令和2年度に町民一人当たりに使われたお金は約60万円で、うち町税で賄えたのは約13万円でした。 ・残りは、(全ての地方公共団体が一定の行政水準を維持するために国から交付される)地方交付税、借金(起債)、国庫支出金など国からの援助に頼っていますが、地方公共団体に稼げる地域になるよう求めている国は、町税減収分の最大75%までの面倒しかみてくれません。 ・なお、地方交付税の測定単位の一つが人口（人口が多いほど交付額も多い）ですので、その点でも人口減少は不利です。
	2021年	2030年	
0～14歳	939	579	
15～64歳	6,382	4,590	
65～74歳	3,136	1,593	
75歳～	2,883	4,368	
合計	13,320	11,131	
町民のふるさと納税が増えています。			町の税収が減ります。
地価や資産価値が下落しています。			太陽光発電設備に係る償却資産を除き、固定資産税収が減少しています。

本町は土地の規制が厳しいです。	ニュータウン・今宿地域を除き、市街化を抑制する地域のため、企業誘致が困難です。法人が少ないため、法人町民税が少ないです。
町へのふるさと納税が増えています が、地場産のものしか返礼品にできないため、返礼品の拡大に苦慮しています。	これ以上増やすには、返礼品を増やす必要があります。
ニュータウン・今宿地区の公園・緑地の維持に毎年約3千万円弱かかっています。	土地の自由利用度が高く、下水道も整備されている市街化区域にあって、(一般的に徴収する)都市計画税を徴収していませんが、経費はかかっています。
施設が老朽化しています。	修繕費がかかるため、施設を減らしていく計画です。
今後、経常経費率が高まる見込みです。	自由なお金が減る見込みです。

【ワークショップの様子】



4 時代の変化と課題

(1) 人口減少、超高齢化、生産年齢人口の減少に伴う財政基盤弱体化

鳩山町は、国や近隣市町村を上回るスピードで高齢化、人口減少が進んでいます。

*国立社会保障・人口問題研究所が平成 27 (2015) 年に公表した、令和 12 (2030) 年の鳩山町の推計人口は 1 万 1, 131 人で、平成 27(2015)年の 1 万 4, 338 人から約 3, 207 人減少する (△22.4%) と見込まれています。

また、高齢化率は、平成 27(2015)年の 39.0%から、令和 12 (2030) 年は 53.6%まで高まる (+14.6%) と推計されています。逆に社会を支える生産年齢人口は、平成 27(2015)年の 53.0%から、令和 12 (2030) 年は 41.2%まで低下する (△11.8%) と推計されています。

この人口減少と急激な高齢化への対応は、困難で大きな課題ですが、避けて通れないものでもあります。

現在、本町の*65歳健康寿命は県内で 3 年連続第 1 位 (男性は 5 年連続第 1 位) であり、健康づくりをキーワードとした町民と行政の協働の取り組みも広がりを見せていますので、町税が減収となる中、こういった取り組みにより医療費を抑制することが重要です。

埼玉県から地域子育て応援タウンにも認定されており、子育て支援策も充実していますので、こういった良さを活かして子育て世帯の流入を促進し、人口構成を変えていくとともに、すべての世代が安心して暮らせる新しいまちづくりや、人々が支えあい心豊かに幸せに暮らすことができる地域社会の構築に向けて、町民みんなの力を結集することが必要です。

【時代の変化からみた課題】

- 超高齢社会にあっては、高齢者も経済活動や地域づくりの主力として活躍することが求められます。働くことを希望する誰もが、もてる能力を発揮し、社会の担い手となっていくことが、地域の活力を維持する上で重要な課題となります。
- 生産年齢人口の減少や高齢化に伴う購買力の減少により、本町の経済活動はさらなる規模縮小となることが懸念されます。
- 人口減少、高齢化の進行により、集落の機能の低下やコミュニティ活動を支える人材が不足していくことが懸念されます。

* 国立社会保障・人口問題研究所

厚生労働省に設置された国立の政策研究機関であり、平成 8 年 (1996 年) 12 月に、厚生省人口問題研究所と特殊法人社会保障研究所との統合によって設立。

* 65 歳健康寿命

私たち一人ひとりが生きている長さの中で、元気で活動的に暮らすことができる長さのこと。

(2) アフターコロナ

県内で産業基盤が最も脆弱な鳩山町では、企業誘致や新たな産業の振興は、雇用創出、(町民サービスの財源としての)法人町民税の確保の面で、将来のまちづくりに欠くことのできないものと考えられてきました。

しかし、企業のオートメーション化が進み、誘致しても(正職員の)雇用につながらないこと、法人町民税率の(9.7%から6.0%への)低下、コロナ禍の企業所得の不透明、不安定さなど、土地利用規制の厳しいなかでの(道路用地の買収、道路拡幅工事等)誘致へのコストを考えると、必ずしも良い結果になるとは限りません。また、『総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた意識調査』でも、大きな変化が望まれていないことが分かりました。

そこで、リモートワークが進んだ現在、リモートワークの方を中心とした移住を進め、ベッドタウンとしての再興を図ることを最優先することとします。

【時代の変化からみた課題】

- コロナ禍、便利な環境よりも、人間らしい豊かな暮らしの価値が見直されるようになり、本町の静かで治安が良く低コストの価値が高まっています。また、本町に関するマスコミ報道により本町へ移住したいとの問い合わせも増えています。しかし、利活用されていない古家付土地を手放す動きが鈍く、新たな人の流入を妨げています。

(3) デジタルガバメントのためのDX(デジタルトランスフォーメーション)

町内全世帯、全構成員を対象に実施した『鳩山町公共交通ニーズに関するアンケート調査』(信頼レベル99%、誤差1.5%)によると、町民の82%が、70歳以上でも69%がインターネットを利用しています。また、コロナワクチン接種時の予約に占めるインターネット経由の割合も全年齢で73.7%、65歳以上で63.8%となるなど、近年のスマートフォンの普及により、急速なデジタル化が進んでいます。人口減少に合わせ、行政組織のスリム化を図るには、手続きのデジタル化(電子化)による効率化が必要ですが、インターネット利用者の拡大により、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進めるための土壌ができつつあり、デマンドタクシーのインターネット予約も開始します。

(4) SDGs(持続可能な開発目標)

2015年に150か国以上の首脳が参加して採択した『持続可能な開発目標(SDGs)』は、2016年~2030年に国際社会が達成を目指す、環境・社会・経済の側面から成る17分野169項目の具体的達成目標です。そこでこれらの達成に繋がるような施策を掲げる必要があります。(P38以降に掲載)

SDGsの目標の一つは気候変動対策ですが、鳩山町の山林面積は平成10年839.4ha、平成19年は857.3ha、令和元年は860.7haと、この30年間変わらず総面積の3分の1を占め、二酸化炭素吸収源などとしての公益的機能を有しています。

また、田の面積は平成10年が217.1ha、平成19年は206.7ha、令和3年は201.4haへと減少し、畑の面積も平成10年が361.2ha、平成19年は341.5ha、令和3年は327.5haへと減少しています。(田と畑の合計面積は平成10年が578.3ha、平成19年が548.2ha、令和3年が528.9haと減少)

この理由として考えられるのが太陽光発電設備の設置に伴う地目変更で、平成 27 年度から令和 3 年度の 7 年間で 81 件の設置となっています。

太陽光発電設備を設置することについては、山林の伐採等自然破壊につながるの見方もありますが、本町においては、2005 年農林業センサスの時点で、田及び畑の面積の約 3 割が耕作放棄地となっている状況でしたので、耕作放棄地が太陽光発電設備に生まれ変わり、環境が良くなったとの見方も可能です。また、本町における太陽光発電による CO2 削減量は年間 1 万 2 千トン以上と見込まれますが、地球規模でカウントすると、太陽光発電は、化石燃料の使用を抑え、温暖化による異常気象の回避にも繋がります。

【時代の変化からみた課題】

- 本町においては太陽光関連の固定資産税額が、平成 27 年度から令和 3 年度の 7 年間で、設備に係るもの、地目の変更に伴うものの合計で、毎年平均 700 万円以上の税収となっており、（この税収は、鳩山町民による他市町村へのふるさと納税流出額をカバーする水準であり、）町民サービスとして還元されています。これがない場合は代替の財源が必要です。

●SDGs の 17 の目標をウェディングケーキで説明した図



* SDGs の 17 の目標をウェディングケーキで説明した図

ストックホルム・レジリエンス・センター所長のヨハン・ロックストローム氏が作成したもので、地球環境の土台の上に、人類社会や経済が成立していることを説明している図で、すべての問題は密接につながっており、個別に達成できるものではないことを表現している。本町では「10 人や国の不平等をなくそう」及び「14 海の豊かさを守ろう」以外の 15 の目標について達成指標を設定。

第2章 めざす将来像

1 めざす将来像

暮らしに幸せを感じるまち HAPPY TOWN はとやま ～住んでみたい・住み続けたいまち～

『総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた意識調査』の結果、鳩山町は、町民の7割もが幸せを感じる幸福度の高い町であることが分かりました。また、P10 で取り上げたとおり、大東建託㈱が3年間の居住満足度調査に基づき発表した「街の幸福度ランキング」で鳩山町の幸福度が全国第1位になったことから、幸せにクローズアップした将来像にします。

2 まちづくりの基本目標（ターゲット）

めざす将来像の実現のためのターゲット（通過点）となる基本目標を、まちづくり基本条例第4章をもとに次のとおり設定し、その達成が将来像の実現につながるようにしました。

- ① 環境と共生できるまちづくり
- ② 健康に長生きできるまちづくり
- ③ 安全安心な暮らしができるまちづくり
- ④ 潤いのある生活ができるまちづくり
- ⑤ 子育てしやすいまちづくり
- ⑥ 文化創造・多文化共生のまちづくり

めざす将来像の概要図

めざす将来像

暮らしに幸せを感じるまち HAPPY TOWN はとやま
～住んでみたい、住み続けたいまち～

まちづくりの基本目標（ターゲット）

●環境と共生できるまちづくり

●健康に長生きできるまちづくり

●安全安心に暮らせるまちづくり

●潤いのある生活ができるまちづくり

●子育てしやすいまちづくり

●文化創造・多文化共生のまちづくり

3 まちづくりのフレーム（基本指標）

第5次総合計画では当時の人口1万5,600人を維持することを指標としました。

つまり、国立社会保障・人口問題研究所が平成20年12月に公表した推計値をもとに、合計特殊出生率を1とした1万3,821人に、*今宿東土地地区画整理事業の今後の計画人口約500人、*都市計画法第34条第11号に基づく指定区域の人口増の約600人（毎年20件程度の建築を想定）を増加要因として加えることとしていましたが、令和2年4月1日の住民基本台帳人口は1万3,582人、10月1日の国勢調査の速報値は1万3,581人と、指標を約1,400人下回る結果となりました。

人口減少は全国的に進んでいることですので、第6次総合計画では、人口減少を受け入れるとともに、国立社会保障・人口問題研究所の2030年の推計1万1,131人をもとに、若年層の転出抑制及び子育て世代の転入促進等により上積みした指標を掲げることとします。

●表-1 まちづくりのフレーム（基本指標）

基本指標	令和11（2029）年度の数值
(1) 将来人口	1万1,500人
(2) 世帯数	5,700世帯
(3) 関係人口（鳩山町へのふるさと納税件数）	1,160件 (令和2年度実績の20%増)

4 創生総合戦略の人口ビジョン

総合計画は、地方版総合戦略である「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に策定しますが、同戦略は、人口の現状分析や人口の将来展望を柱とする「鳩山町人口ビジョン」を踏まえて策定する必要があり、この人口ビジョン（後掲）を活用します。

●

* 今宿東土地地区画整理事業

大字今宿及び赤沼の一部約19.8haで実施した既成市街地及び周辺住宅地の整備事業。

* 都市計画法第34条第11号に基づく指定区域

市街化調整区域内で一定の条件を満たせば建築可能な区域。

* 関係人口

定住人口でも、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者の数。総務省で開催した『これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会』で使われた言葉

5 土地利用構想

(1) 基本的な考え方

めざす将来像である「暮しに幸せを感じるまち HAPPY TOWN はとやま～住んでみたい、住み続けたいまち～」の実現を目指し、また、今後の幸せにとって、環境と共生できるまちづくりが最重要であるとの意識調査結果を踏まえ、適切な土地利用転換に配慮しながら、魅力と活力のあるまちづくりを進めていきます。

① 北部地域活性化推進地区

鳩山町北部地域活性化基本条例に基づく活性化推進地区は、当該地区と町が協働で策定した活性化取組方針を計画的に具体化し、新たな人の流れ、産業誘導エリア設定による、地域資源を活かした産業創出、定住促進等により、集落機能の維持・向上を図ります。

② 住宅地

鳩山ニュータウン地域は、入居開始から 48 年が経過し、高齢化が急速に進展しています。生涯活躍でき、暮しに幸せを感じるまちの実現のため、より魅力的なまちづくりを進めます。また、ニュータウン内未活用住宅の流通促進を図ります。

農村集落地域についても、都市計画法第 34 条第 11 号に基づく指定区域については、荒地や未利用地の活用、集落の活性化を進めるため適正な住宅開発を誘導し、周辺環境との調和を図りながら、集落の生活環境の向上に努めます。

③ 商業、流通・工業地

本町の商業地は、市街化区域であるニュータウン地域と今宿地域に集積しており、これらの活性化に努めるとともに、これら以外の地域の日常生活の利便性を確保するため、デマンドタクシーなどの公共交通と連携し、ネットワーク化による活性化や機能の充実を目指します。

また、新たな商業や流通・工業の立地を戦略的に誘導するための用地として、当該用地を位置付けるとともに、北部地域に豊かな環境という地域特性を活かした創造型の新しい流通・工業地域を活性化エリアとして位置付け、新産業の誘導を目指します。

④ 農地

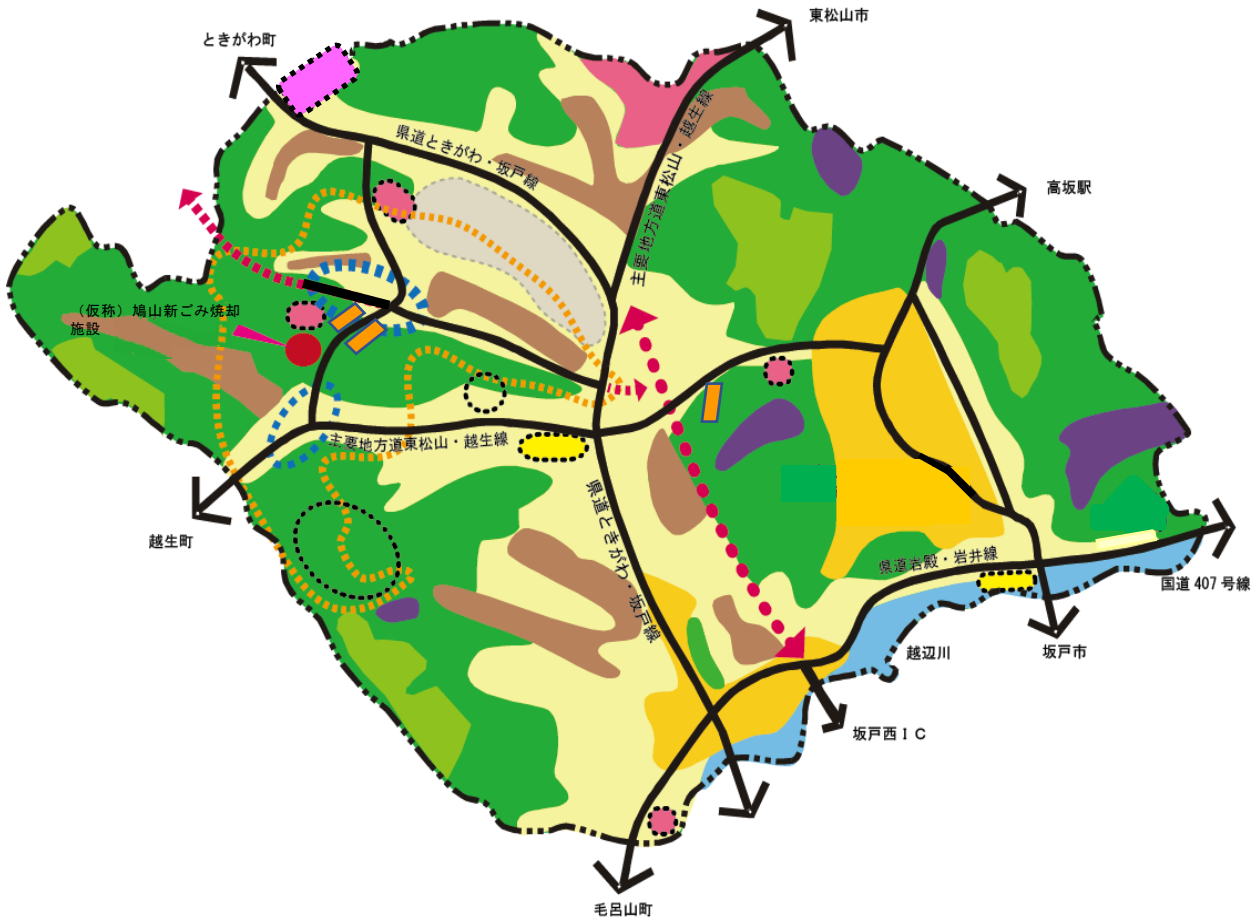
優良な農地については、農業的土地利用の保全に努め、高収益型農業の振興を図ります。また、遊休農地等については、有機農業や里山づくりの取り組みを進めるなど、効果的な活用に取り組んでいきます。

⑤ 山林

山林所有者による山林の手入れが困難になってきており、年々荒廃が進んでいます。また、廃棄物の不法投棄の標的にもなっています。したがって、環境と経済との調和により、より良い環境を創造するという視点から、総合的な山林利用を推進していきます。

(2) 土地利用構想図

土地利用構想図



■凡例 1	
	①都市的エリア
	②農住エリア
	③農地エリア
	④グリーンエリア
	⑤河川エリア
	⑥産業系エリア
	⑦教育・研究エリア
	ゴルフ場

■凡例 2	
	① (仮称) 鳩山新ごみ焼却施設
	流通・工業系
	商業系
	②産業誘導エリア
	③北部活性化推進地区
	④北部活性化推進地区拠点エリア
	⑤活性化検討エリア
	⑥土地利用転換検討箇所
	⑦主要幹線構想道路
	⑦幹線構想道路
	主要道路
	南比企窯跡群 (国指定史跡化推進地域)

【凡例 1】

① 都市的エリア

既存の市街化区域を都市的エリアとして位置付け、居住誘導や都市機能の適正配置・連携などにより、安心・安全で歩いて暮らせるまちづくりを推進します。また、商業施設をはじめ医療・福祉・子育て支援施設など多様な機能の集積を図り、公共交通の充実などにより、今後も良好な居住環境を維持していきます。

② 農住エリア

宅地と農地が混在しているエリアを農住エリアとして位置付けます。このエリアは、都市計画法第 34 条第 11 号に基づく区域指定の活用や、農業振興地域整備計画の適正な見直しにより荒廃地や未利用地の再生を図り、農地との調和を図りながら、集落の生活環境の向上に努めます。

③ 農地エリア

比較的まとまりのある農用地については、人々の重要な食糧生産の場であり、農地エリアとして位置付けます。

④ グリーンエリア

町内の都市的エリア、農住エリアを取り囲むように位置する丘陵地等の森林や比較的規模の大きい公園・緑地を位置付けます。丘陵地に広がる森林は、地域のシンボリック資源であるとともに、貴重な野生動植物の生息・生育空間としての機能を持っていることから、その維持に努めるとともに、自然的資源として活用を検討していきます。

⑤ 河川エリア

町の南端を流れる越辺川を河川エリアとして位置付けます。越辺川は、周辺の市町村を含めた広い範囲での水環境、自然環境の軸となる空間であり、防災機能の向上を図るための河川改修を推進するとともに、河川敷や堤防上などの有効活用による親しみのある空間の形成を図っていきます。

⑥ 産業系エリア

製造業や流通センターなどの事業所が、広い面積に既に立地しているエリアを位置付けます。

⑦ 教育・研究エリア

町内に立地する大学等の教育施設や国の研究施設等が立地している地区を教育・研究エリアとして位置付けます。

【凡例 2】

① (仮称) 鳩山新ごみ焼却施設

埼玉西部環境保全組合の可燃物処理施設（鶴ヶ島市の高倉クリーンセンターの次期更新施設）の建設を進めていますが、この施設は一定の稼働期間終了後に廃止し、地元地区である泉井地区並びに上熊井地区と町で締結した「施設を永久施設としないための対策を講じることを趣旨とした覚書」に基づき、跡地を町で取得し、“ふるさと健康づくり公園”として活用する予定です。

② 産業誘導エリア

環境との調和を図りながら、商業及び流通・工業の立地誘導を戦略的、段階的に進めるためのエリアを産業誘導エリアと位置付けます。そして、仮宿地区の産業誘導エリアについては、都市計画法第 34 条第 12 号に基づく区域指定を活用して企業誘致を推進し、早期産業系エリア化を目指します。

③ 北部地域活性化推進地区

鳩山町北部地域活性化基本条例に基づき、推進地区として選定した泉井地区及び上熊井地区です。

④ 北部地域活性化推進地区拠点エリア

泉井地区の『鳩山町泉井交流体験エリア』、上熊井地区の『鳩山町上熊井農産物直売所』を推進地区拠点エリアとして位置付けます。この 2 つの拠点エリアが効果的に連携することにより、地域の魅力を高めるとともに、活性化施設の重複整備を回避するものとします。

⑤ 活性化検討エリア

鳩山町北部地域活性化プラン（平成 12 年策定）で提案された「新産業の杜づくり構想」の区域を、活性化検討エリアとして位置付けます。なお、活性化プラン策定から 30 年が経過しましたが、新産業の杜づくり構想実現の展望は開けていません。

そこで、泉井地区及び上熊井地区において、鳩山町北部地域活性化基本条例による、活性化の新たな取り組みを開始しましたが、創造型の新しい流通・工業系地域として新産業の誘導を長期的な視点で検討していきます。

⑥ 土地利用転換検討箇所

第 3 次鳩山町総合振興計画（平成 2 年 12 月議決）の土地利用構想では、レジャー・レクリエーション系地域が位置付けられ、総合運動公園整備とゴルフ場開発が構想されました。

しかし、バブル経済が崩壊し、行財政改革の推進が最重要課題となるなか、総合運動公園整備事業の推進は時代の潮流に沿わないものとなりました。一方、ゴルフ場開発計画は開発事業者の破産に伴い廃止となりました。こういった状況を踏まえ、第 4 次総合振興計画基本構想の一部改定（平成 17 年 9 月議決）において、総合運動公園とゴルフ場の計画地は土地利用構想図から削除されました。

また、旧総合運動公園計画地は第 5 次総合計画の土地利用構想で「埼玉西部環境保全組合可燃物処理施設建設予定地」として位置付けられましたが、一部改定により、（仮称）鳩山新ごみ焼却施設は泉井・上熊井地区に変更となりました。

このような経緯や、両エリアには多くの町有地が点在していることなどから、土地利用の転換が検討できる「土地利用転換検討箇所」として位置付け、地元地域の意向を尊重しながら、効果的な活用策を幅広く検討していくこととします。

⑦ 主要幹線構想道路・幹線構想道路

入西赤沼線を北側に延伸する広域幹線道路を主要幹線構想道路として位置付けます。また、幹線構想道路により、この主要幹線構想道路と幹線町道である町道第 1 号線を連結・延伸し、北部地域の新たな動脈を形成します。

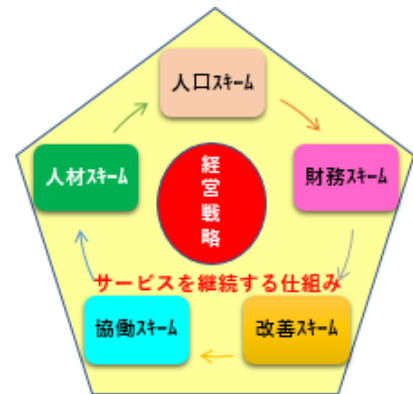
第3章 経営戦略（経営体としての町戦略）

1 将来像実現に向け、町を維持し、行政サービスを継続するための仕組み

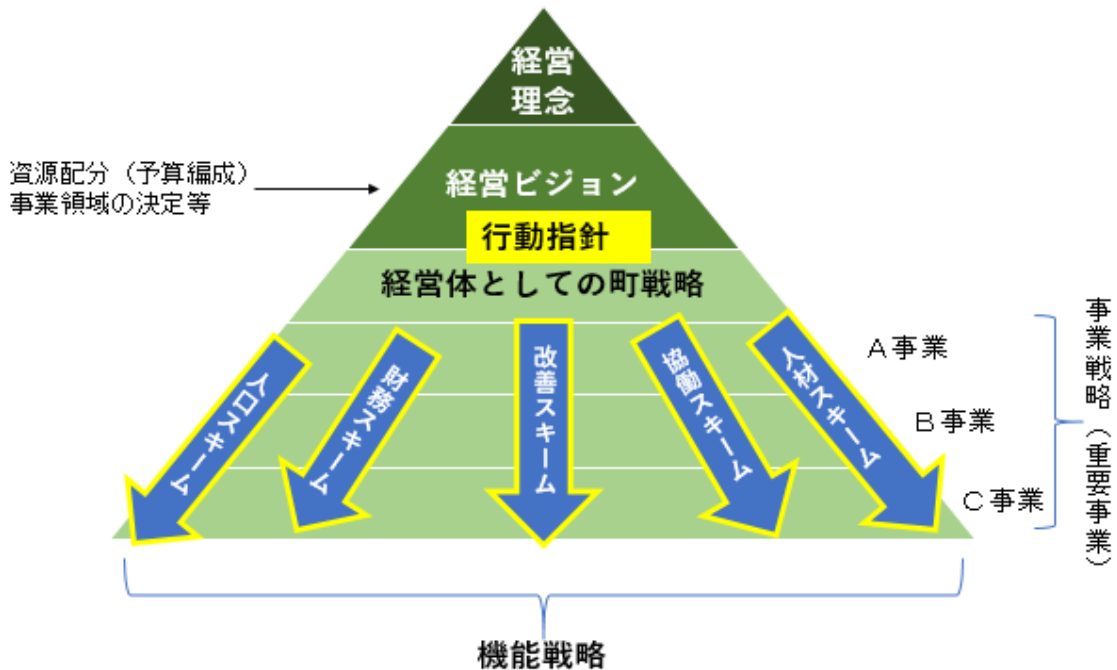
生産年齢人口が減るなか、町民の幸せな暮らしに向け、安定的に行政サービスを継続するには、自治体という経営体の強化が必要です。自治体として一定の規模を維持し、財政運営を向上・安定させながら、行政サービスの効率及び効果を高めていくことが求められます。

そこで、町という経営体を強化するための戦略を、機能別に、

- ① 人口の減少を抑制する『人口スキーム』
 - ② 財政運営を強化する『財務スキーム』
 - ③ 行政の業務を効率化する『改善スキーム』
 - ④ 町民との協働を進める『協働スキーム』
 - ⑤ 職員等の能力アップを進める『人材スキーム』
- の5つの観点から設定します。



●経営体としての町戦略図 1

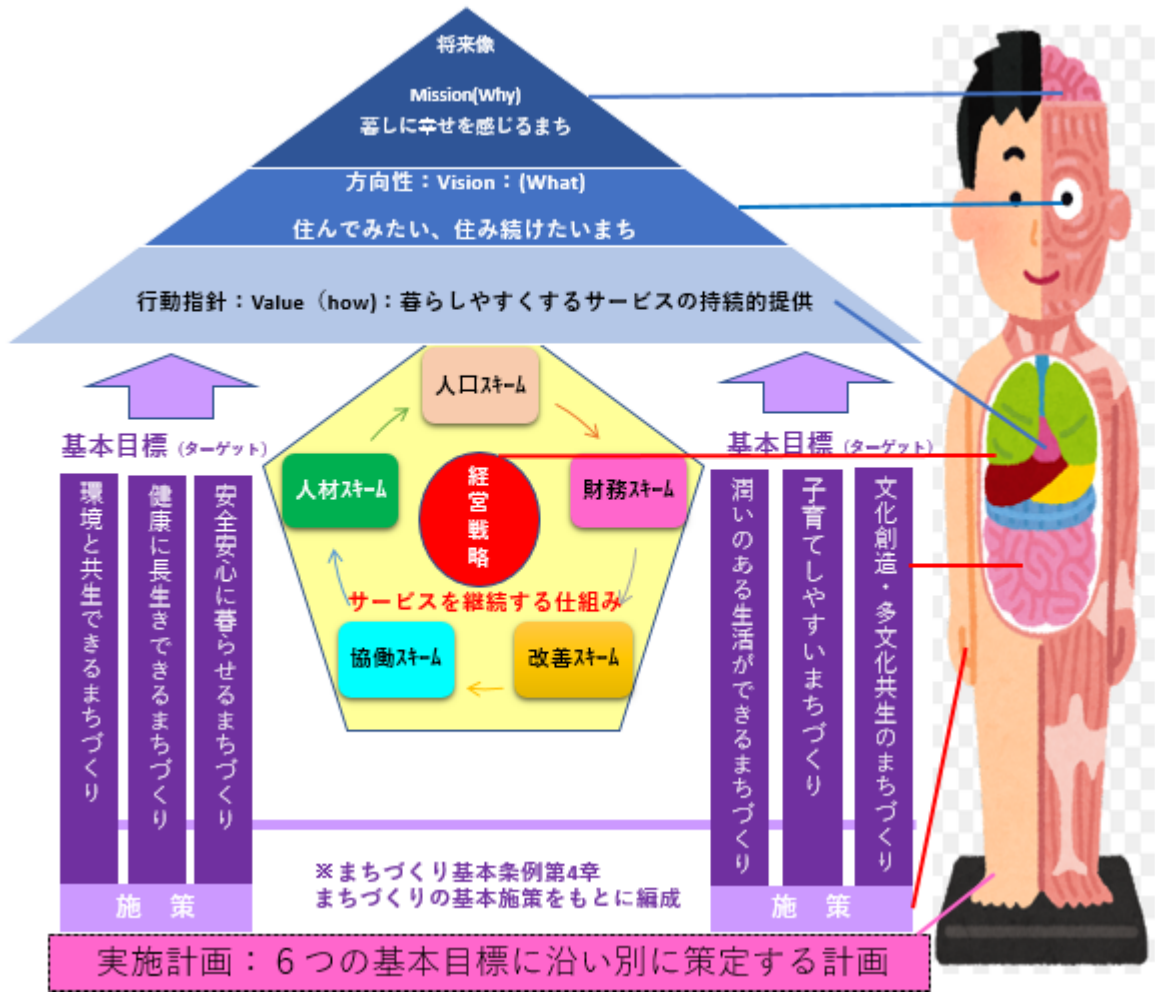


民間企業等で使う、「経営理念」を、『将来像』に、「経営ビジョン」を『方向性』に、「全体戦略」を、『経営体としての町戦略』に置き換えます。

そして、「事業戦略」に『機能戦略（各スキーム）に該当する重要事業』を位置付けることで、自治体としての価値、持続可能性を高める活動を優先的に行い、その結果、6つの基本目標（政策）のための力を創造します。

『将来像』を感覚、『方向性』を目、『行動指針』を心、『基本目標』を胴体、『施策』を手、『実施計画』を足に例えると、『経営体としての町戦略』は心肺機能や血液にあたります。血液等は体の隅々まで循環し、生命の維持を行う核であり、行政サービスを継続する仕組みと言えます。

●経営体としての町戦略図 2



2 機能戦略

(1) 人口スキーム

町の魅力を高め、魅力をPRするなどにより、転出の抑制及び転入の促進を図り、一定規模の自治体として、スケールメリットのある行政を目指します

取組む事業や方向性	その根拠
まち・ひと・しごと創生総合戦略（後掲）の推進	まち・ひと・しごと創生法第10条
安心・安全なまちの推進（とそのPR）	令和2年町長選挙公約
ニュータウン内未活用不動産流通事業～ニュータウンのルネッサンス事業～（更地化推進事業）	都市計画
子育て世代の移住推進	町民意識調査
買物・交通・医療機関へのアクセス向上（対象：意識調査で評価が低かった若者、高野倉・奥田・須江・泉井・熊井・石坂地区）	町民意識調査・クロス集計2次元マップ
生涯学習環境整備（対象：意識調査で評価が低かった奥田・須江・竹本地区）	
鳩山アンバサダー（鳩山応援大使）によるPR	転入促進の観点

(2) 財務スキーム



生産年齢人口が減るなか、自立的な財政基盤を強化し、
中長期にわたる健全な財政運営を目指します

取組む事業や方向性	その根拠
企業誘致の推進	令和 2 年町長選挙公約 町民意識調査
起債残高の削減	令和 2 年町長選挙公約
中期財政の見通しの毎年の改定	財政健全化の観点
公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の圧縮	
収納率向上を含む税収見込の策定等歳入確保	
(企業版を含む) ふるさと納税額の増収	
定員管理計画【平成 29 年度～令和 5 年度】の推進	

(3) 改善スキーム

住民福祉の増進のため、最小の経費で最大の効果（地方自治法第 2 条第 14 項）を上げるとともに、運営の合理化（同第 15 項）に努めます

取組む事業や方向性	その根拠
より便利なデマンドタクシーの実現	令和 2 年町長選挙公約 公共交通ニーズに関するアンケート調査
災害対策強化（対象：意識調査で評価が低かった熊井・奥田・今宿・須江地区）	町民意識調査・クロス集計 2 次元マップ
入札・契約制度の改善	令和 4 年度予算編成方針より
エビデンスに基づく施策の実施	自治体運営合理化の観点
自治体 D X の推進、町民目線での世代に合わせた行政サービス情報の発信	自治体運営合理化の観点、第 2 回まちづくりワークショップ参加者の意見
スマートシティの推進	自治体運営合理化の観点
コンパクトシティ&ネットワークの推進	
組織改正及び職員定数（会計年度任用職員を含む）に関する計画策定	
窓口集約	
自治体連携の推進	

(4) 協働スキーム



町民主体のまちづくりを規定する「鳩山町まちづくり基本条例」、町民と行政の協働を基調とする戦略的な取り組みを位置付けた第5次総合計画と同様、町民との協働による効果的なまちづくりを進めます

取組む事業や方向性	その根拠
(健康づくりサポーター、ラジオ体操主催者などとの協働での) 健康なまちづくりの推進	令和2年町長選挙公約、第2回まちづくりワークショップ参加者の意見
(ものづくりが得意な方の返礼品作成参加、農業・観光体験メニューの追加による) ふるさと納税の強化	町民意識調査、第2回まちづくりワークショップ参加者の意見
(ポイント制度の構築等による) サービスの担い手としての住民参加の推進	町民意識調査、第2回まちづくりワークショップ参加者の意見
運動環境の構築(対象:意識調査で評価の低かった竹本・小用・今宿地区)	町民意識調査・クロス集計2次元マップ
住民による「町内・遊歩道・公共施設・里山の清掃、交通安全、子供の見守り、買い物・通院支援、文化芸術等のイベント」等の実施	第2回まちづくりワークショップ参加者の意見
町民行政サポーターの養成	住民協働の観点

(5) 人材スキーム

町民の多様なニーズ、時代の変化に対応できる人材を育成し、その能力を開発します。

取組む事業や方向性	その根拠
必要とされる職員像を定め、その能力を開発する計画の策定	人材育成の観点
正職員・再任用職員・会計年度任用職員等の職務内容及び配置に関する計画の策定	人材活用の観点
実践的な研修の実施	人材育成の観点
町民行政サポーターの養成(再掲)	

●経営体としての町戦略図 2



3 経営戦略の指標

経営戦略に取り組むにあたり、「表-2」のとおり評価指標を設定します。

●表-2 経営戦略の指標

機能戦略名	番 号	指 標		現 況				2029 年目標	
		名 称	説 明	数 値	年度 (年)	県内市 町村順 位	説明	目 標 値	説 明
人口スキーム	1	人口の社会増減率	転出数と転入数が同じだと±0	△1.91%	R2	26		△1.3%	総人口 11,500 人
	2	合計特殊出生率	15～49歳の女性の年齢別出生率の合計 (一人の女性が平均して一生の間に何人産むかを表す)	0.81	R2	55		0.90	1割増
	3	出生率	人口1千人に対する出生数の割合	3.0	R2	61		4.0	年間出生数+10人
	4	総人口	10/1	13,456	R2	54		11,500	推計人口 11,131 人 + 増加目標 369 人
	5	小学校入学児童数		99 人	H21	—		50 人	
				75 人	H26				
				66 人	H31				
52 人				R3					
6	生産年齢人口割合		48.2%	R2	63		41.5%	推計通りだと 4590/11131=41.2%を、増加目標 369 人の半数を生産年齢人口とし、4774/11500=41.5%とする。	
7	鳩山アンバサダー数		4 人	R2	—		8 人	現況から倍増	
財務スキーム	8	起債残高		7,372,302 千円	R2	—		5,704,000 千円	鳩山町町債削減計画
	9	実質収支比率		4.7%	R2	—		4.7%	現況維持
	10	収納率		97.4%	R2	41		98.0%	現状値から 0.6 ポイント増加
	11	税金 (個人町民税)		670,546 千円	R2	—		538,400 千円	推計値から 4% 増加
	12	税金 (法人町民税)		46,163 千円	R2	—		58,700 千円	推計値から 3% 増加
	13	税金 (固定資産税)		847,955 千円	R2	—		808,600 千円	推計値に仮宿地区に誘致の企業

								1社分の税額を追加	
	14	町内企業数		299 法人	R3	—	課税状況調 (7/1)	310 法人	仮宿地区への一定規模以上の企業誘致実現
	15	町へのふるさと納税額		27,637 千円	R2	33		33,164 千円	現況から 20%増加
改善スキーム	16	デマンドタクシー町外拠点数		1	R2	—		5	新たな町外拠点数を維持
	17	デマンドタクシー運賃収入		2,689 千円	R2	—		5,497 千円	令和 4 年度予算(予測値)を維持
	18	正規職員数	定員管理計画	121 人	R3	—		125 人	職員総数としては現況維持
	19	会計年度任用職員数		74 人	R3	—		70 人	職員総数としては現況維持
	20	入札担当の人数		3 人	R2	—		4 人	現況から 1 名増加
協働スキーム	21	健康づくりサポーター数	健康づくりサポーター 27 人	27 人	R3	—		35 人	現在の活動サポーター数を維持
	22	町民による健康づくり事業開催数	「地域健康教室」開催回数	62	R2	—		165 回 ~180 回	週 1 回程度実施
	23	ふるさと納税返礼品数		48	R2	—		71	現況(令和 3 年 12 月末)から約 10%の向上
	24	町民行政サポーター数		107 人	R3	—	介護支援ボランティア 97 人、はーとんカフェ今宿ボランティア 10 人	107 人	現況維持
人材スキーム	25	必要とされる職員像を定め、その能力を開発する計画の策定の有無		有	R2	—	「鳩山町人材育成基本方針」	有	現況維持
	26	実践的研修の開催数		15	R2	—	職員が参加した研修の科目数	15	現況維持
	27	町民行政サポーター数(再掲)		107 人	R3	—	介護支援ボランティア 97 人、はーとんカフェ今宿ボランティア 10 人	107 人	現況維持

【評価指標の説明】

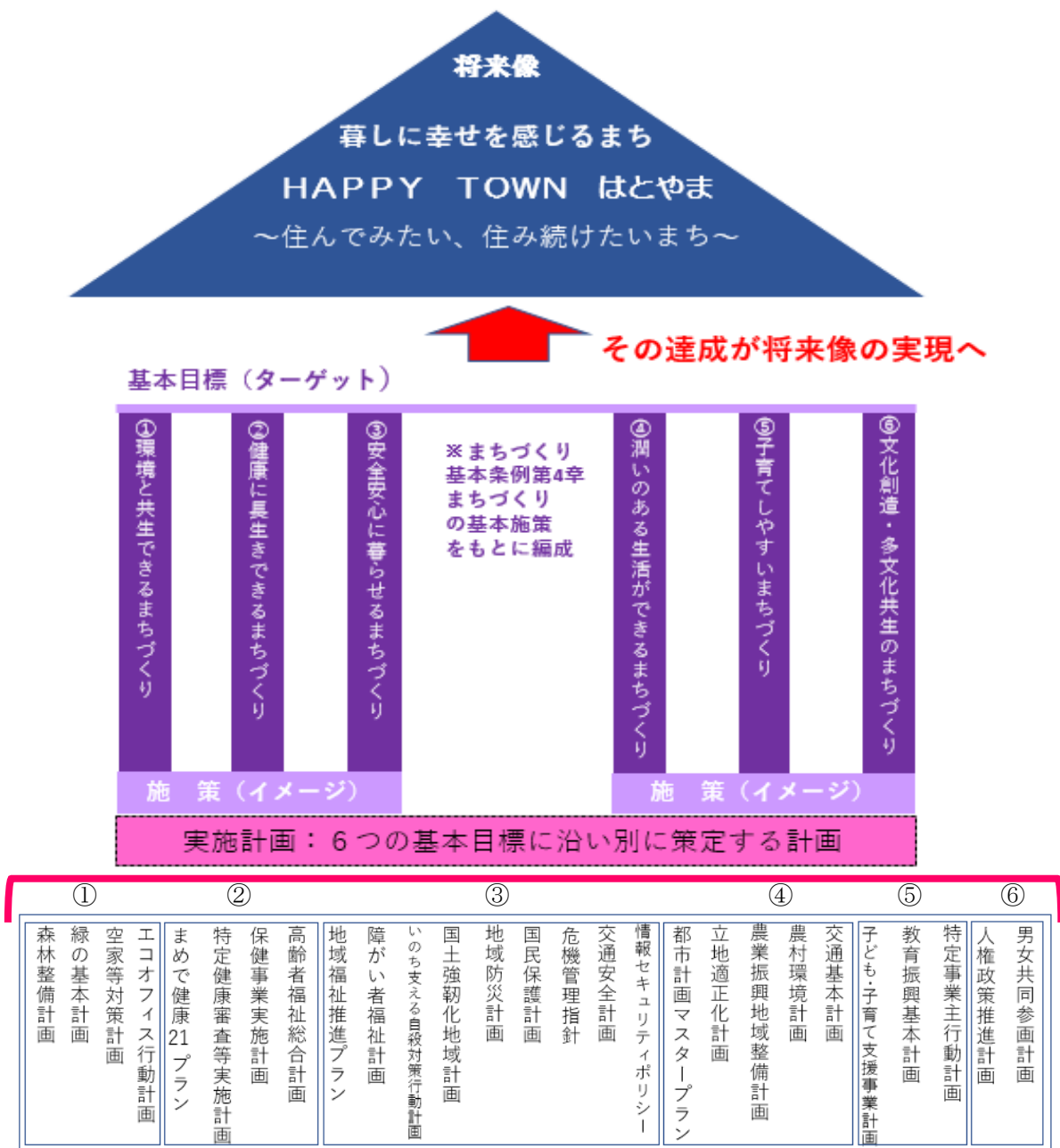
- ① 評価指標は、「統計法等に基づく統計調査数値」、「各種の現状数値」、「町民意識調査に基づく数値」を基本として設定しています。

第3編 基本目標

1 将来像実現のための6つの基本目標（ターゲット）とそのイメージ

めざす将来像(暮らしに幸せを感じるまち・HAPPY TOWN はとやま～住んでみたい・住み続けたいまち～)実現のための通過点となる6つの基本目標（ターゲット）を、まちづくり基本条例第4章をもとに設定しました。

そして、各ターゲット実現のためのイメージ(施策)を、町民意識調査、鳩山町総合計画審議会でのグループワーク、鳩山町の幸せな未来を考えるまちづくりワークショップなどをもとに次のとおり設定します。



(1) Target NO.1

<p>環境と共生できるまちをつくり ます</p>	<p>8年後のイメージ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタルや貴重な動植物が生息する豊かな自然環境、風光明媚な景観や花に囲まれた良好な住環境で、癒しのある人間らしい質の高い暮らしを満喫しています。 ・鳥のさえずりが聞けりフレッシュできる環境を求める方に、移住先としてまたUターン先として選ばれ、空き家・空き地が減っています。 ・町民一人一人が、環境の保全、脱炭素、ごみの減量・循環型社会、美しい公園・植樹・道路の維持のために、できることを実践し、今後も豊かな自然環境が続く見込みです。 ・遊休地（耕作放棄地）で健康目的の野菜作りが行われ、遊休地が減っています。 <div style="text-align: center;">  </div>
	<p>対応する実施計画</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・鳩山町森林整備計画 ・鳩山町緑の基本計画（次期都市計画マスタープラン策定時に包含される予定） ・鳩山町空家等対策計画 ・エコオフィスはとやま行動計画
<p>第5次計画期間の実感度</p>	<p>関連するSDGsのゴール</p>
<p>環境分野の実感度</p> <p>◎生活環境の充実</p> 	<div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div style="background-color: #f1c40f; padding: 10px; text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div style="background-color: #8e44ad; padding: 10px; text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="background-color: #27ae60; padding: 10px; text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> <div style="background-color: #27ae60; padding: 10px; text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>  </div> </div>

●Target NO.1「環境と共生するまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標		
	指標名	説明	数値	年(度)	県内市町村順位	説明	目標値	説明	
1	有機農業に取り組む農家戸数	町で奨励している新規就農者を含む有機営農戸数	4	H21	—		9	現況維持	
			6	H26					
			9	H30					
			9	R2					
2	エコファーマー認定者数	環境保全型農業の取組計画を作成し認定された農業者数(都道府県知事認定)	0	H21	—		2	現況維持	
			0	H26					
			2	H30					
			2	R2					
3	特別栽培農産物認証面積	特別栽培農産物として認証された作付面積(都道府県知事認証)	1.3ha	H21	—		21	現況から多少の増加	
			12.9ha	H26					
			17.2ha	H30					
			20.5	R2					
4	第1次産業就業者数	総務省統計局「国勢調査」	306	H17	19位		213	現況維持	
			217	H22	19位				
			213	H27	18位				
5	都市公園の町域割合	町面積(25.73k㎡)に対する既存都市公園面積8.73haの合算割合	0.30%	H21	—		0.33%	現況維持	
			0.34%	H26					
			0.33%	H30					
			0.33%	R2					
6	町民参加で保全する山林	石坂地内、熊井地内、NT周辺緑地での保全箇所数	1箇所	H21	—		2箇所	現況維持	
			1箇所	H26					
			2箇所	H30					
			2箇所	R2					
7	空家率	H25住宅統計調査及び住宅・土地統計調査(総務省)	8.9%	R2	—		8.0%	割合の低下	
8	世帯当たりの太陽光発電(10kw未満)設置割合	SDGs ⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	3.4%	R2	—	10kw未満のFIT認定数と世帯数	4.0%	現況から約20%の向上(割合の増加)	
9	1人当たりのごみ排出量(年間)	環境省「日本の廃棄物処理」	SDGs ⑩つくる責任つかう責任 持続可	316.5kg	H17	19位	一般廃棄物実態処理調査	265.4kg	現況から約20%の向上(数値の減少)
				304.6kg	H25	11位			
				312.9kg	H30	46位			
				331.8kg	R1	49位			
10	ごみのリサイクル率	環境省「日本の廃棄物処理」全体のごみの量のうちリ	23.1%	H17	11位		23%	現況から約20%の向上(割合の増加)	

		サイクル(資源)の占める割合	能な生産消費形態を確保する	21.7%	H25	16位			
				18.6%	H30	53位			
				19.1%	R1	49位			
11	有害ごみ及び不燃物のごみ総量に占める割合			6.0%	R2	—	埼玉西部環境保全組合による有害ごみと不燃ごみの合算数字	4.8%	現況から約20%の向上(割合の減少)
12	温暖化対策計画における緩和策の策定の有無	SDGs⑩気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる		有	R2	—	町役場の温暖化対策計画として「エコオフィスはとやま行動計画」を作成	有	「エコオフィスはとやま行動計画」の改定
13	森林面積割合	SDGs⑪陸の豊かさを守ろう		34.7%	R2			34.7%	現況維持
14	耕作放棄地面積割合	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する		4.76%	R2	—		4.52%	現況から5%程度の減少に抑える

(2) Target NO.2

<p>健康に長生きできるまちをつくりまします</p>	<p>8年後のイメージ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を感じるハイキングコースや運動できる場、運動や健康に関する情報、健康イベントが充実し、健康に関心がある人にあふれています。 ・元気な人（高齢者）による地域での健康づくり活動、介護ボランティア、買い物支援、出産・育児支援、芸術支援、見守り活動などが活発に行われ、支える人にとっては自信や生き甲斐に、支えられる人にとっては楽しみや会話の場・身近な目標・孤独感の緩和になり、安心して老いることができます。 ・地域や里山の清掃活動・単身高齢者の訪問（見守り）が、運動の機会として肯定的に捉えられています。 ・高齢者が短時間働く場、居場所、交流の場があります。 
<p>第5次計画期間の実感度</p>	<p>対応する実施計画</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・まめで健康21プラン（鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画） ・鳩山町特定健康診査等実施計画 ・鳩山町保健事業実施計画（データヘルス計画） ・鳩山町高齢者福祉総合計画
<p>健康・福祉分野の実感度</p> 	<p>関連するSDGsのゴール</p> 

●Target NO.2「健康に長生きできるまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目標値	説 明
15	定期的な健(検)診受診率	はとやま健康 21 プラン 町民健康生活アンケート調査結果からの推計	80%	H21			90%以上	まめで健康 21 プラン計画目標値(令和6年度)
			85%	H25				
			75%	R1				
16	ボランティア活動に参加している65歳以上の人の割合(年1回以上)	はとやま健康 21 プラン 町民健康生活アンケート調査結果からの推計	15.3%	H21			50%以上	まめで健康 21 プラン計画目標値(令和6年度)
			15.0%	H25				
			21.2%	R1				
17	障がい者相談支援事業相談件数	入間西障がい者相談支援センターが受けた相談件数	275件	H21	—		420人	20%増
			456件	H26				
			1162件	H30				
			352人	R2				
18	高齢者の就労人数	第8期鳩山町高齢者福祉総合計画	185人	H20	—		169人	
			138人	H26				
			190人	H30				
			201人	R2				
19	75歳以上就業率	75歳以上人口に占める就業者数の割合 総務省統計局「国勢調査」	17.5%	H17	—		11.2%	現況維持
			14.3%	H22				
			11.2%	H27				
20	要介護(要支援)認定率	65歳以上の者(第1号被保険者)に占める要介護(要支援)認定者割合	10.7%	R2	59位		13.4%	
21	生活保護率	人口に占める被保護人員の割合	0.48	R2	62位		0.48	現況維持
22	衛生費割合		5.24%	R2			5.24%	現況維持
23	農業就業人口当たりの農業産出額	SDGs ② 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	335万円	R2	—	農業産出額 H18 4.8億円 H29 5.8億円	335万円	現況維持
24	農業就業人口当たりの耕地面積		2ha	R2	—		2.1ha	5%程度の増加
25	乳児死亡率(出生千対)	埼玉県健康指標	24.4	R1	—		—	目標値なし
26	15歳未満死亡率(人口10万対)		96.2	R1	—		—	目標値なし
27	死因別死亡割合(1位)悪性新生物		29.8	R1	—		—	目標値なし
28	死因別死亡割合(2位)心疾患(高血圧性を除く)		18.3	R1	—		—	目標値なし
29	死因別死亡割合(3位)老衰		9.4	R1	—		—	目標値なし
30	自殺率		7.32	R2	3位	R3はコロナ禍上昇を予測	7.6	鳩山町のち支える自殺対策行動計画(第2次)目標値(令和3年度~5年度平均)

31	人口10万人当たりの一般病院の病床数			2247.5	R2	3位		埼玉県保健医療計画に基づき、現状を維持しながら整備	
32	人口10万人当たりの医師数			65.3	R2	9位			
33	平均寿命（男）			81.2	R2	7位		県内トップクラス水準の維持	
34	平均寿命（女）			87.5	R2	1位			
35	健康寿命（男）			16.98年	H19	2位			
				17.99年	H25	1位			
				19.12年	H29	1位			
				18.88年	R2	1位			
36	健康寿命（女）			19.93年	H19	5位			
				20.73年	H25	2位			
				21.27年	H29	2位			
				21.18年	R2	3位			

(3) Target NO.3

<p>安全安心に暮らせるまちをつくります</p>	<p>8年後のイメージ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ウォーカーの増加が、通学時の児童見守り、地域防犯効果を生んでいます。 ・防災マップをもとに互いが災害時にすべきことを語り合うなど、一人ひとりが防災、危機管理の意識を持って生活しています。 ・防災体制が整っています。 ・歩行者優先の思いやりのある運転がなされ、交通死亡事故ゼロが継続しています。 <div style="text-align: center;"> </div>
	<p>対応する実施計画</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳩山町地域福祉推進プラン ・ 鳩山町障がい者福祉計画 ・ 鳩山町のち支える自殺対策行動計画 第2次計画 ・ 鳩山町国土強靱化地域計画 ・ 鳩山町地域防災計画 ・ 鳩山町国民保護計画 ・ 鳩山町危機管理指針 ・ 鳩山町交通安全計画 ・ 鳩山町情報セキュリティポリシー
<p>第5次計画期間の実感度</p>	<p>関連するSDGsのゴール</p>
<p>安全・安心分野の実感度</p> <p>◎安心・安全の実感</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div>

●Target NO.3「安全安心に暮らせるまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目標値	説 明
37	刑法犯認知件数	埼玉県警察「犯罪統計」	133件	H19	26位		24件以内	現況の20%減
			43件	H26	63位			
			37件	H30	71位			
			30件	R2				
			2件	R2				
38	デマンドタクシーの1日平均利用者数	デマンドタクシーの1日の平均利用者数	19.2人	H21	—		71.0人	コロナ前(平成30年度)の状況を目指す
			80.2人	H26				
			71.0人	H30				
			68.7人	R2				
39	交通事故発生件数	埼玉県警察「交通事故統計」	58件	H19	26位		20件以内	
			23件	H25	—			
			25件	H30	65位			
			23件	R2				
40	交通死亡事故発生件数	埼玉県警察「交通事故統計」	0件	R2	46		0件	交通死亡事故ゼロの継続
41	非水洗化人口	生活排水処理基本計画	559人	H17	24位		153人以下	現況の10%減
			314人	H26	—			
			170人	H29				
			170人	R2				
42	バリアフリー工事整備率	N T内100箇所の交差点歩道等の段差解消工事の進捗率	78%	H21	—		97%	
			93%	H26				
			93%	H30				
			93%	R2				
43	人口当たりの下水道費	SDGs⑩安全な水とトイレを世界中にすべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する 農業集落排水特会線出水道組合負担金/年度末住基人口	12,403円	H28		14,066人	14,686円	11,500人
			12,032円	H29				
			12,357円	H30				
			12,075円	R1				
			12,506円	R2				
44	人口増減率		△12.84%	R2	55位		△4.8%	総人口11,500人
45	人口自然増減率		△11.0%	R2	56位		△3.5%	総人口11,500人
46	人口社会増減率	SDGs⑪住み続けられるまちづくりを包括的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	△1.91%	R2	50位	【転出】 H19 661人 H26 469人 H30 351人 【転入】 H19 496人 H26 355人 H30 318人	△1.3%	総人口11,500人
47	廃棄物の最終処分割合		9.3%	R1	3位	令和元年度分一般廃棄物実態処理調査のごみの排出量と最終処分量から算出。最終処分を廃棄物に対	11.2%	現況の20%増

						する適切な措置と考え、最終処分率の最も高い市町村を1位とした。		
48	可住地面積当たりの図書館延面積割合		0.012%	R2	—	2049.54 m ²	0.012%	
49	可住地面積当たりの公民館延面積割合		0.012%	R2	—	1997.52 m ²	0.012%	
50	人口1人当たりの都市公園面積		5.98	R2	28位		7.28 m ²	83,700 m ² /11,500人
51	可住地面積当たりの公園面積		0.5%	R2	—	可住地面積： 1642ha 公園面積： 8.37ha	0.5%	

(4) Target NO.4


<p>潤いのある生活ができるまちをつくりま す</p>	<p>8年後のイメージ</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・車を運転する人にとっても運転しない人にとっても、買物・通院・通勤・通学の利便性が向上しています。 ・魅力的な移住メニュー、素敵でおしゃれなスポットがあり、リモートワークする方の移住先として選ばれています。 ・（自然や史跡文化）体験型のふるさと納税返礼品に携わる、町民の環が広がっています。 ・特産品が増え、人と環境に優しい農業・加工場など、鳩山らしい働く場があります。 ・史跡、農業体験などに多くの人を訪れるなど、活気があります。 ・情報発信する人が多く、Uターンする方も沢山います。 	
	<p>対応する実施計画</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・鳩山町都市計画マスタープラン（次期策定時に、緑の基本計画を包含する予定） ・鳩山町立地適正化計画 ・鳩山農業振興地域整備計画 ・鳩山町農村環境計画 ・鳩山町交通基本計画 	
<p>第5次計画期間の実感度</p>	<p>関連するSDGsのゴール</p>	
<p>産業分野の実感度</p> 		

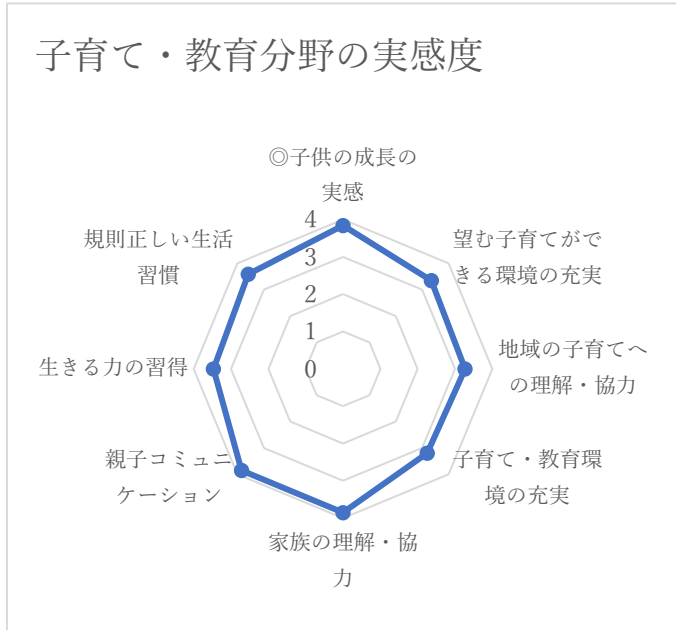

●Target NO.4「潤いのある生活ができるまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目標値	説 明
52	認定農業者の経営体数	認定農業者及び認定を志向する農業経営者の認定数	19 経営体	H20			22 経営体	農業経営の継承等により現況維持
			21 経営体	H26				
			25 経営体	H30	—			
			22 経営体	R2	—			
53	農業産出額	農林水産省「生産農業所得統計」	5.8 億円	H30			5.9 億円	現況維持
			5.9 億円	R2	—			
54	事業所数	総務省統計局「事業所・企業統計調査」	456	H18	28 位		419	現況維持
			439	H24	20 位			
			424	H28	19 位			
			419	R2	59 位			
55	製造業従業者数	経済産業省「工業統計表」	274	H18	29 位		260	現況維持
			265	H25				
			265	H30	—			
			260	R2				
56	商業従業者数	経済産業省「商業統計表」	453	16	28		3500	現況維持
			307	24				
			13702	H27	—			
			3500	R2				
57	はとやま祭参加団体数及び来場者数	地域産業の振興と発展のために参加を呼び掛ける団体数	50 団体 3500 人	H20			54 団体 4000 人	新型コロナウイルス感染前の数値に戻すことを目標とする。
			53 団体 4300 人	H26				
			53 団体 4000 人	H30	—			
			中止	R2				
58	商業事業所数	経済産業省「商業統計表」	72	H16	30 位		58	現況維持
			67	H24				
			58	H28	—			
			58	R2				
59	昼間人口(人)	総務省統計局「国勢調査」	14,137	17	10 位		—	目標値なし
			13,758	22	15 位			
			13,702	H27	14 位			
60	都市計画法第34条11号に基づく指定区域内の建築件数	開発許可申請及び都市計画法諸申請に基づく件数	10 件	H30	—		17 件	現況維持
			17 件	R2				
61	完全失業率	SDGs⑤働きがいも経済成長も包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	5.44%	R2	3 位		4.44%	現況の1%減

62	従業者 1 人当たりの製造業粗付加価値額	SDGs ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	1,151 万円	R2	24 位		1,151 万円	現況維持
63	1 事業所当たりの製造業粗付加価値額		23.3 億円	R2	62 位		24.4 億円	現況の 5%増
64	製造業労働者割合	埼玉県統計年鑑の総従業者数における工業従業者数の割合	7.4%	R2			7.4%	現況維持
65	土木費割合	全体の歳出予算に対する土木費の割合	7%	R2			10%	

(5) Target NO.5



<p>子育てしやすいまちをつくれます</p>	<p>8年後のイメージ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産・子育ての負担が少なく、保育園及び学童保育の待機児童がなく、子育てしやすいため、子育て世代の移住先として選ばれつつあります。 ・ 自然を体感できる公園など、子どもが伸び伸びと生き生きと安全に遊ぶ場所、居場所があり、子どもの声が聞こえます。 ・ 英語、情報などで、少人数による確かな学力が付く教育をしています。 ・ 鳩山ならではのユニークな個性に応じた教育をしています。 ・ 安心安全で体に良い美味しい給食があります。 ・ 特色ある地域に根差した、自己肯定感を育む部活動があります。 ・ (シルバー世代による) 子育てサポーターがいます。
	
<p>対応する実施計画</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳩山町子ども・子育て支援事業計画 ・ 鳩山町教育振興基本計画 ・ 鳩山町特定事業主行動計画 	

第5次計画期間の実感度	関連するSDGsのゴール	
<p>子育て・教育分野の実感度</p> 		

●Target NO.5「子育てしやすいまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目標値	説 明
66	学習支援・非常勤講師確保数	きめ細やかな学習支援事業講師人数(3小学校で3人増員)	6人	H20	—		6人	
			9人	H26				
			8人	H30				
			7人	R2				
67	出生数	年間の出生数。	74人	H18	28位		40人	
			40人	H26	—			
			40人	H30				
			29人	R2				
68	保育所入所待機児童数	保育所入所申し込みが市町村に提出され、かつ、入所要件に該当しているが、入所していない児童数	0人	19	—		0人	
			0人	26				
			0人	H30				
			0人	R2				
69	1日1回以上家族と楽しく食事ができる子供の割合	はとやま健康21プラン 町民健康生活アンケート調査結果からの推計	79.1	21	—		100%	まめで健康21プラン計画目標値(令和6年度)
			70.4	25				
			94.4%	R1				
70	学校におけるインターネット接続率(光ファイバー回線)		100%	R2	—		100%	
71	学校における教育用コンピューター1台を利用する生徒数	SDGs①質の高い教育をみんなにすべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	6.1人	R2	37位	GIGAスクールにより1人1台	1人	現況維持
			1人	R3	—			
72	小中学生1人当たりのトイレ数		0.13個	R2	—	トイレ86個、小中学生数533人	0.16個	現況維持
			0.16個	R3				

(6) Target NO.6

<p>文化創造・多文化共生のまちをつくりま す</p>	<p>8年後のイメージ</p>	
	<p>・文化芸術活動、(互いの教え合いなどの)生涯学習、生涯スポーツのサークル活動が活発で、生き甲斐創出・生涯活躍社会になっています。</p> <p>・自分と異なる人、考え方・価値観の違いを尊重する雰囲気があり、社会的に弱いとされる立場の人を理解し支え合い、町民・役場職員の相互理解が進んでいます。</p> <p>・多様な性の在り方に関わらず、自分らしく生きることが尊重される社会の実現に向かっていきます。</p> <p>・人やペットとの交流や絆があり、助け合っています。外国人との交流の場もあります。</p> <p>・町に不足するものを寄附する文化が形成されつつあります。</p> 	
<p>対応する実施計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳩山町教育振興基本計画 ・ 鳩山町高齢者福祉総合計画 ・ 鳩山町人権政策推進計画 ・ 鳩山町男女共同参画計画 ・ 鳩山町特定事業主行動計画 	
<p>第5次計画期間の実感度</p>	<p>関連するSDGsのゴール</p>	
<p>文化分野の実感度</p> 	 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>
	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>

●Target NO.6「文化創造・多文化共生のまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目 標 値	説 明
73	公民館主催事業の町民参加割合		30%	H20	—		30%	2029年時点、成人人口の約30%
			31%	H26				
			26%	H30				
			0%	R2				
74	文化財関係展示室等年間来場者数	文化財展示室で開催した催事の年間来場者数	800	21	—		600人	国指定史跡の普及啓発並びに常設展の充実化により
			833	26				
			565人	H31				
			109人	R2				
75	1人当たり年間図書貸出冊数	埼玉県図書館協会「埼玉の公立図書館」市町村図書館活動調査	5.02冊	R2	6位		6.52冊	新型コロナウイルス前の数値
76	審議会等における女性の委員の割合	SDGs⑤ジェンダーの平等ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	31.1%	R2	14位		40%	現況から10%の向上
77	女性活躍推進計画の策定の有無		策定済	R2	—		策定済	
78	農業経営主に占める女性の割合		6.1%	R2	—		6.2%	多少の増加
79	年少人口割合	SDGs⑩平和と公正をすべての人に持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	7.1%	R2	62位		6.6%	推計通りだと、 $579/11131 \div 5.2\%$ なのを $764/11500=6.6\%$ 増加目標の半数を年少人口とする。
80	財政力指数	SDGs⑪パートナーシップで目標を達成しよう持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	0.59	R2			0.56	現況より0.03の減に抑える
81	実質公債費比率		10.0	H20	23位		10.2	現況維持
			6.3	H26	7位			
			6.7	H28	47位			
			7.8	H29	54位			
			9.3	H30	20位			
	10.2	R2	4位					

2 6つの基本目標・評価指標一覧

【評価指標の説明】

- ① 評価指標は、「統計法等に基づく統計調査数値」、「各種の現状数値」、「町民意識調査に基づく数値」を基本として設定しています。

●Target NO.1「環境と共生するまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標		
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目 標 値	説 明	
1	有機農業に取り組む農家戸数	町で奨励している新規就農者を含む有機営農戸数	4	H21	—		9	現況維持	
			6	H26					
			9	H30					
			9	R2					
2	エコファーマー認定者数	環境保全型農業の取組計画を作成し認定された農業者数(都道府県知事認定)	0	H21	—		2	現況維持	
			0	H26					
			2	H30					
			2	R2					
3	特別栽培農産物認証面積	特別栽培農産物として認証された作付面積(都道府県知事認証)	1.3ha	H21	—		21	現況から多少の増加	
			12.9ha	H26					
			17.2ha	H30					
			20.5	R2					
4	第1次産業就業者数	総務省統計局「国勢調査」	306	H17	19位		213	現況維持	
			217	H22	19位				
			213	H27	18位				
5	都市公園の町域割合	町面積(25.73k㎡)に対する既存都市公園面積8.73haの合算割合	0.30%	H21	—		0.33%	現況維持	
			0.34%	H26					
			0.33%	H30					
			0.33%	R2					
6	町民参加で保全する山林	石坂地内、熊井地内、NT周辺緑地での保全箇所数	1箇所	H21	—		2箇所	現況維持	
			1箇所	H26					
			2箇所	H30					
			2箇所	R2					
7	空家率	H25住宅統計調査及び住宅・土地統計調査(総務省)	8.9%	R2	—		8.0%	割合の低下	
8	世帯当たりの太陽光発電(10kw未満)設置割合	SDGs ⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	3.4%	R2	—	10kw未満のFIT認定数と世帯数	4.0%	現況から約20%の向上(割合の増加)	
9	1人当たりのごみ排出量(年間)	環境省「日本の廃棄物処理」	SDGs ⑩つくる	316.5kg	H17	19位	一般廃棄物実態処理調査	265.4kg	現況から約20%の向上(数値の減少)
				304.6kg	H25	11位			

			責任 つかう 責任 持続 可能な 生産 消費 形態を 確保する	312.9kg	H30	46位			
				331.8kg	R1	49位			
10	ごみのリサイクル率	環境省「日本の廃棄物処理」全体のごみの量のうちリサイクル(資源)の占める割合		23.1%	H17	11位	23%	現況から約20%の向上(割合の増加)	
				21.7%	H25	16位			
				18.6%	H30	53位			
			19.1%	R1	49位				
11	有害ごみ及び不燃物のごみ総量に占める割合		6.0%	R2	—	埼玉西部環境保全組合による有害ごみと不燃ごみの合算数字	4.8%	現況から約20%の向上(割合の減少)	
12	温暖化対策計画における緩和策の策定の有無	SDGs⑩気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	有	R2	—	町役場の温暖化対策計画として「エコオフィスはとやま行動計画」を作成	有	「エコオフィスはとやま行動計画」の改定	
13	森林面積割合	SDGs⑤陸の豊かさを守ろう	34.7%	R2	—		34.7%	現況維持	
14	耕作放棄地面積割合	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	4.76%	R2	—		4.52%	現況から5%程度の減少に抑える	

●Target NO.2「健康に長生きできるまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現状値のみ)				2029年目標	
	指標名	説明	数値	年(度)	県内市町村順位	説明	目標値	説明
15	定期的な健(検)診受診率		80%	H21	—		90%以上	
			85%	H25				
			75%	R1				
16	ボランティア活動に参加している65歳以上の人の割合(年1回以上)	はとやま健康21プラン 町民健康生活アンケート調査結果からの推計	15.3%	H21	—		50%以上	まめで健康21プラン計画目標値(令和6年度)
			15.0%	H25				
			21.2%	R1				
17	障がい者相談支援事業相談件数	入間西障がい者相談支援センターが受けた相談件数	275件	H21	—		420人	20%増
			456件	H26				
			1162件	H30				
			352人	R2				
18			185人	H20			169人	

	高齢者の就労人数	第8期鳩山町高齢者福祉総合計画	138人 190人 201人	H26 H30 R2	—			
19	75歳以上就業率	75歳以上人口に占める就業者数の割合 総務省統計局「国勢調査」	17.5% 14.3% 11.2%	H17 H22 H27	—		11.2%	現況維持
20	要介護（要支援）認定率	65歳以上の者（第1号被保険者）に占める要介護（要支援）認定者割合	10.7%	R2	59位		13.4%	
21	生活保護率	人口に占める被保護人員の割合	0.48	R2	62位		0.48	現況維持
22	衛生費割合	SDGs ① 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	5.24%	R2	—		5.24%	現況維持
23	農業就業人口当たりの農業産出額	SDGs ② 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	335万円	R2	—	農業産出額 H18 4.8億円 H29 5.8億円	335万円	現況維持
24	農業就業人口当たりの耕地面積		2ha	R2	—		2.1ha	5%程度の増加
25	乳児死亡率（出生千対）	埼玉県健康指標	24.4	R1	—		—	目標値なし
26	15歳未満死亡率（人口10万対）		96.2	R1	—		—	目標値なし
27	死因別死亡割合（1位）悪性新生物		29.8	R1	—		—	目標値なし
28	死因別死亡割合（2位）心疾患（高血圧性を除く）		18.3	R1	—		—	目標値なし
29	死因別死亡割合（3位）老衰		9.4	R1	—		—	目標値なし
30	自殺率	SDGs ③ 全てのの人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	7.32	R2	3位	R3はコロナ禍上昇を予測	7.6	鳩山町いのち支える自殺対策行動計画（第2次）目標値（令和3年度～令和5年度平均）
31	人口10万人当たりの一般病院の病床数		2247.5	R2	3位		埼玉県保健医療計画に基づき、現状を維持しながら整備	
32	人口10万人当たりの医師数		65.3	R2	9位			
33	平均寿命（男）		81.2	R2	7位			
34	平均寿命（女）		87.5	R2	1位			
35	健康寿命（男）	16.98年 17.99年 19.12年 18.88年	H19 H25 H29 R2	2位 1位 1位 1位				県内トップクラス水準の維持

36	健康寿命（女）	19.93年	H19	5位		
		20.73年	H25	2位		
		21.27年	H29	2位		
		21.18年	R2	3位		

●Target NO.3「安全安心に暮らせるまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目標値	説 明
37	刑法犯認知件数	埼玉県警察「犯罪統計」	133件	H19	26位		24件以内	現況の20%減
			43件	H26	63位			
			37件	H30	71位			
			30件	R2				
			2件	R2				
38	デマンドタクシーの1日平均利用者数	デマンドタクシーの1日の平均利用者数	19.2人	H21	—		71.0人	コロナ前（平成30年度）の状況を目指す
			80.2人	H26				
			71.0人	H30				
			68.7人	R2				
39	交通事故発生件数	埼玉県警察「交通事故統計」	58件	H19	26位		20件以内	
			23件	H25	—			
			25件	H30	65位			
			23件	R2				
40	交通死亡事故発生件数	埼玉県警察「交通事故統計」	0件	R2	46		0件	交通死亡事故ゼロの継続
41	非水洗化人口	生活排水処理基本計画	559人	H17	24位		153人以下	現況の10%減
			314人	H26	—			
			170人	H29				
			170人	R2				
42	バリアフリー工事整備率	N T内100箇所の交差点歩道等の段差解消工事の進捗率	78%	H21	—		97%	
			93%	H26				
			93%	H30				
			93%	R2				
43	人口当たりの下水道費	SDGs⑥安全な水とトイレを世界中にすべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する 農業集落排水特会線出水道組合負担金/年度末住基人口	12,403円	H28		14,066人	14,686円	11,500人
			12,032円	H29				
			12,357円	H30				
			12,075円	R1				
			12,506円	R2				
44	人口増減率		△ 12.84%	R2	55位		△4.8%	総人口11,500人
45	人口自然増減率		△ 11.0%	R2	56位		△3.5%	総人口11,500人
46	人口社会増減率		△ 1.91%	R2	50位	【転出】 H19 661人 H26 469人 H30 351人 【転入】 H19 496人 H26 355人 H30 318人	△1.3%	総人口11,500人
47	廃棄物の最終処分割合		9.3%	R1	3位	令和元年度分一般廃棄	11.2%	現況の20%増

						物実態処理調査のごみの排出量と最終処分量から算出。最終処分を廃棄物に対する適切な措置と考え、最終処分率の最も高い市町村を1位とした。		
48	可住地面積当たりの図書館延面積割合		0.012%	R2	—	2049.54 m ²	0.012%	
49	可住地面積当たりの公民館延面積割合		0.012%	R2	—	1997.52 m ²	0.012%	
50	人口1人当たりの都市公園面積		5.98	R2	28位		7.28 m ²	83,700 m ² /11,500人
51	可住地面積当たりの公園面積		0.5%	R2	—	可住地面積：1642ha 公園面積：8.37ha	0.5%	

●Target NO.4「潤いのある生活ができるまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目標値	説 明
52	認定農業者の経営体数	認定農業者及び認定を志向する農業経営者の認定数	19 経営体	H20			22 経営体	農業経営の継承等により現況維持
			21 経営体	H26				
			25 経営体	H30	—			
			22 経営体	R2	—			
53	農業産出額	農林水産省「生産農業所得統計」	5.8 億円	H30		5.9 億円	現況維持	
			5.9 億円	R2	—			
54	事業所数	総務省統計局「事業所・企業統計調査」	456	H18	28位		419	現況維持
			439	H24	20位			
			424	H28	19位			
			419	R2	59位			
55	製造業従業者数	経済産業省「工業統計表」	274	H18	29位		260	現況維持
			265	H25				
			265	H30	—			
56	商業従業者数	経済産業省「商業統計表」	260	R2			3,500	現況維持
			453	16	28			
			307	24				
			13,702	H27	—			
57	はとやま祭参加団体数及び来場者数(人)	地域産業の振興と発展のために参加を呼び掛ける団体数	50 団体	H20	—	54 団体	新型コロナウイルス感染症前の数値に戻すことを目標とする。	
			3,500 人					
			53 団体	H26				4,300 人

			53 団体 4,000 人	H30				
			中止	R2				
58	商業事業所数	経済産業省「商業統計表」	72	H16	30 位	58	現況維持	
			67	H24	—			
			58	H28				
			58	R2				
59	昼間人口（人）	総務省統計局「国勢調査」	14,137	17	10 位	—	目標値なし	
			13,758	22	15 位			
			13,702	H27	14 位			
60	都市計画法第 34 条 11 号に基づく指定 区域内の建築件数	開発許可申請及び都市 計画法諸申請に基づく 件数	10 件	H30	—	17 件	現況維持	
			17 件	R2				
61	完全失業率	SDGs ⑤働きがいも経済 成長も包摂的かつ持続 可能な経済成長及びす べての人々の完全かつ 生産的な雇用と働きが いのある人間らしい雇 用（ディーセント・ワー ク）を促進する	5.44%	R2	3 位	4.44%	現況の 1%減	
62	従業者 1 人当 たりの製造業粗付 加価値額	SDGs ⑨産業と技術革新 の基盤をつくろう強靱 （レジリエント）なイン フラ構築、包摂的かつ持 続可能な産業化の促進 及びイノベーションの 推進を図る	1,151 万 円	R2	24 位	1,151 万 円	現況維持	
63	1 事業所当 たりの製造業粗付 加価値額		23.3 億 円	R2	62 位	24.4 億 円	現況の 5%増	
64	製造業労働者割 合	埼玉県統計年鑑の総従 業者数における工業従 業者数の割合	7.4%	R2		7.4%	現況維持	
65	土木費割合	全体の歳出予算に対す る土木費の割合	7%	R2		10%		

●Target NO.5「子育てしやすいまちをつくります」の評価指標

評価 指標 番号	指 標		数値の推移 (6 次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029 年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市 町村順 位	説 明	目 標 値	説 明
66	学習支援・非常 勤講師確保数	きめ細やかな学習支援 事業講師人数（3 小学校 で 3 人増員）	6 人	H20	—		6 人	
			9 人	H26				
			8 人	H30				
			7 人	R2				
67	出生数	年間の出生数。	74 人	H18	28 位		40 人	
			40 人	H26	—			
			40 人	H30				
			29 人	R2				
68	保育所入所待機 児童数	保育所入所申し込みが 市町村に提出され、か つ、入所要件に該当して いるが、入所していない 児童数	0 人	19	—		0 人	
			0 人	26				
			0 人	H30				
			0 人	R2				
69	1 日 1 回以上家 族と楽しく食事 ができる子供の 割合	はとやま健康 21 プラン 町民健康生活アンケ ート調査結果からの推計	79.1	21	—		100%	
			70.4	25				
			94.4%	R1				まめで健康 21 プ ラン計画目標値 (令和 6 年度)

70	学校におけるインターネット接続率（光ファイバー回線）	SDGs④質の高い教育をみんなにすべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	100%	R2	—		100%	
71	学校における教育用コンピューター1台を利用する生徒数		6.1人	R2	37位		1人	現況維持
			1人	R3	—	GIGAスクールにより1人1台		
72	小中学生1人当たりのトイレ数	0.13個	R2	—		0.16個	現況維持	
		0.16個	R3		トイレ86個、小中学生数533人			

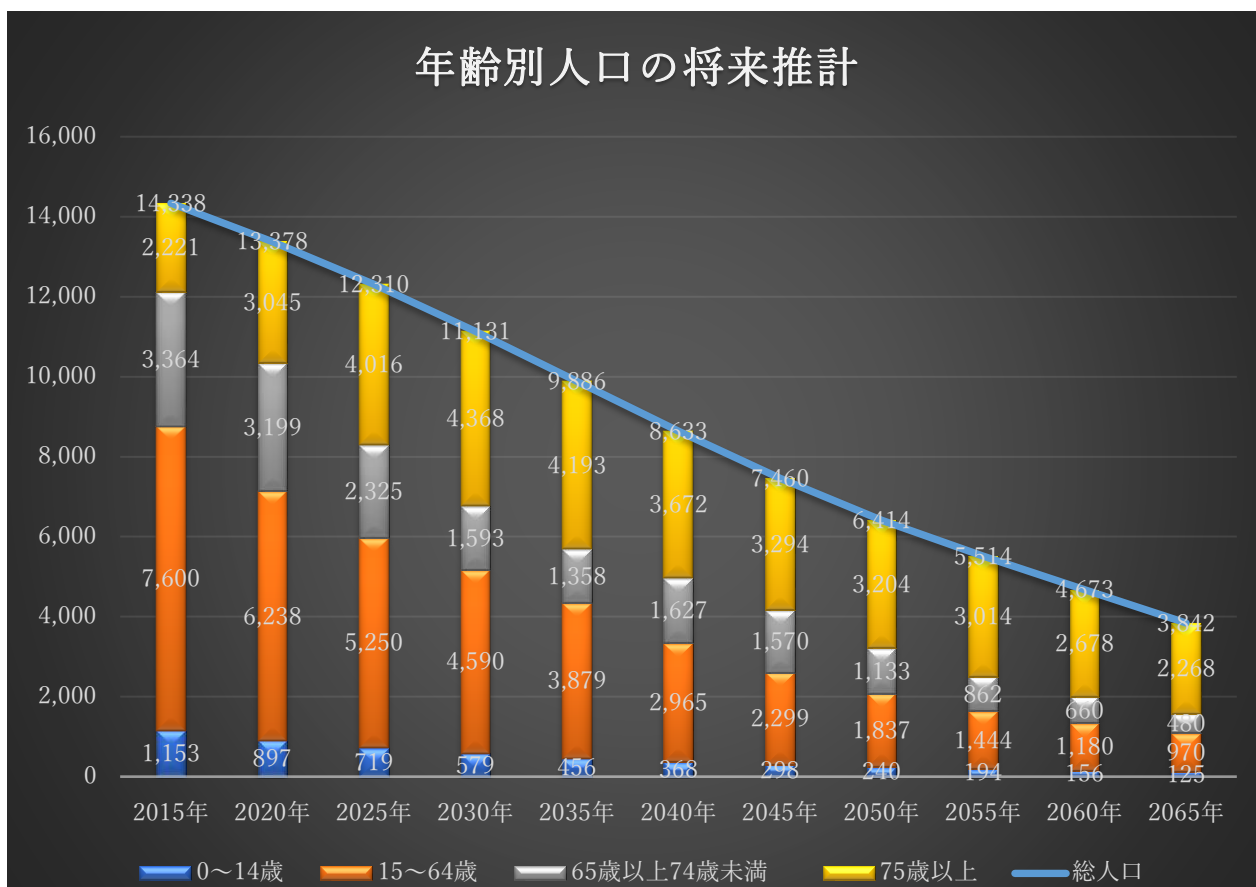
●Target NO.6「文化創造・多文化共生のまちをつくります」の評価指標

評価指標番号	指 標		数値の推移 (6次計画で新たに設定した指標は現況のみ)				2029年目標	
	指 標 名	説 明	数 値	年(度)	県内市町村順位	説 明	目 標 値	説 明
73	公民館主催事業の町民参加割合		30%	H20	—		30%	2029年時点、成人人口の約30%
			31%	H26				
			26%	H30				
			0%	R2				
74	文化財関係展示室等年間来場者数	文化財展示室で開催した催事の年間来場者数	800	21	—		600人	国指定史跡の普及啓発並びに常設展の充実化により
			833	26				
			565人	H31				
			109人	R2				
75	1人当たり年間図書貸出冊数	埼玉県図書館協会「埼玉の公立図書館」市町村図書館活動調査	5.02冊	R2	6位		6.52冊	新型コロナウイルス前の数値
76	審議会等における女性の委員の割合	SDGs⑤ジェンダーの平等ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	31.1%	R2	14位		40%	現況から10%の向上
77	女性活躍推進計画の策定の有無		策定済	R2	—		策定済	
78	農業経営主に占める女性の割合		6.1%	R2	—		6.2%	多少の増加
79	年少人口割合	SDGs⑩平和と公正をすべての人に持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	7.1%	R2	62位		6.6%	推計通りだと、 $579/11131 \approx 5.2\%$ なのを $764/11500 = 6.6\%$ 増加目標の半数を年少人口とする。
80	財政力指数	SDGs⑦パートナーシップで目標を達成しよう持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	0.59	R2			0.56	現況より0.03の減に抑える
81	実質公債費比率		10.0	H20	23位		10.2	現況維持
			6.3	H26	7位			
			6.7	H28	47位			
			7.8	H29	54位			
			9.3	H30	20位			
		10.2	R2	4位				

第4編 鳩山町まち・ひと・しごと創生 総合戦略

1 人口ビジョン

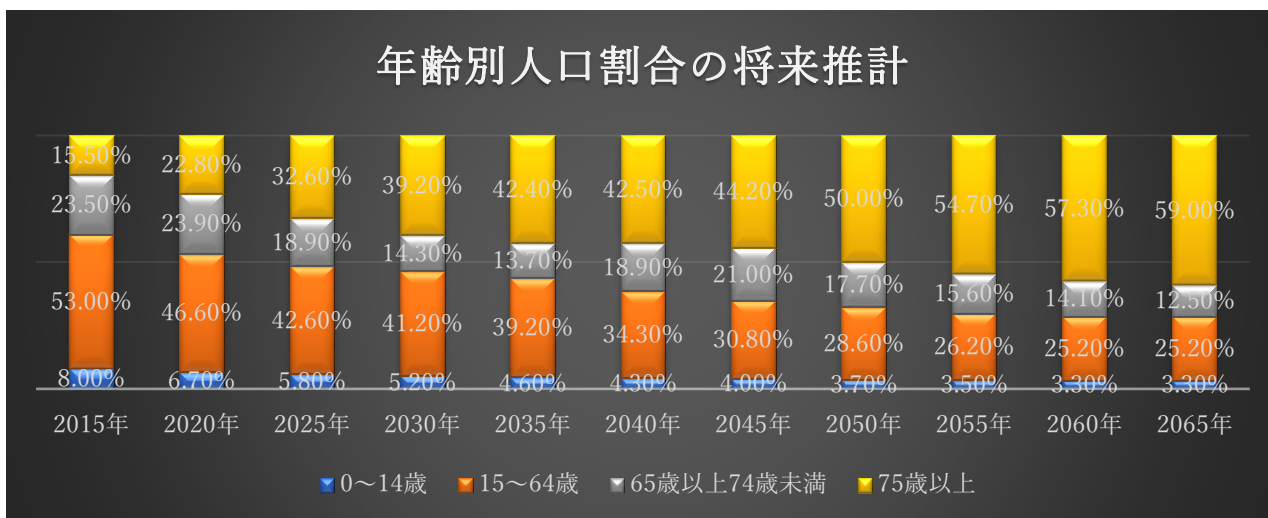
(1) 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による2015年国勢調査結果をもとにした推計
①年齢別人口の将来推計



2015年に行った、2010年の国勢調査をもとにした推計（2020年1万4,284人）と比べ、（2020年で906人）少なくなり、以後もその差が開く推計となっています。

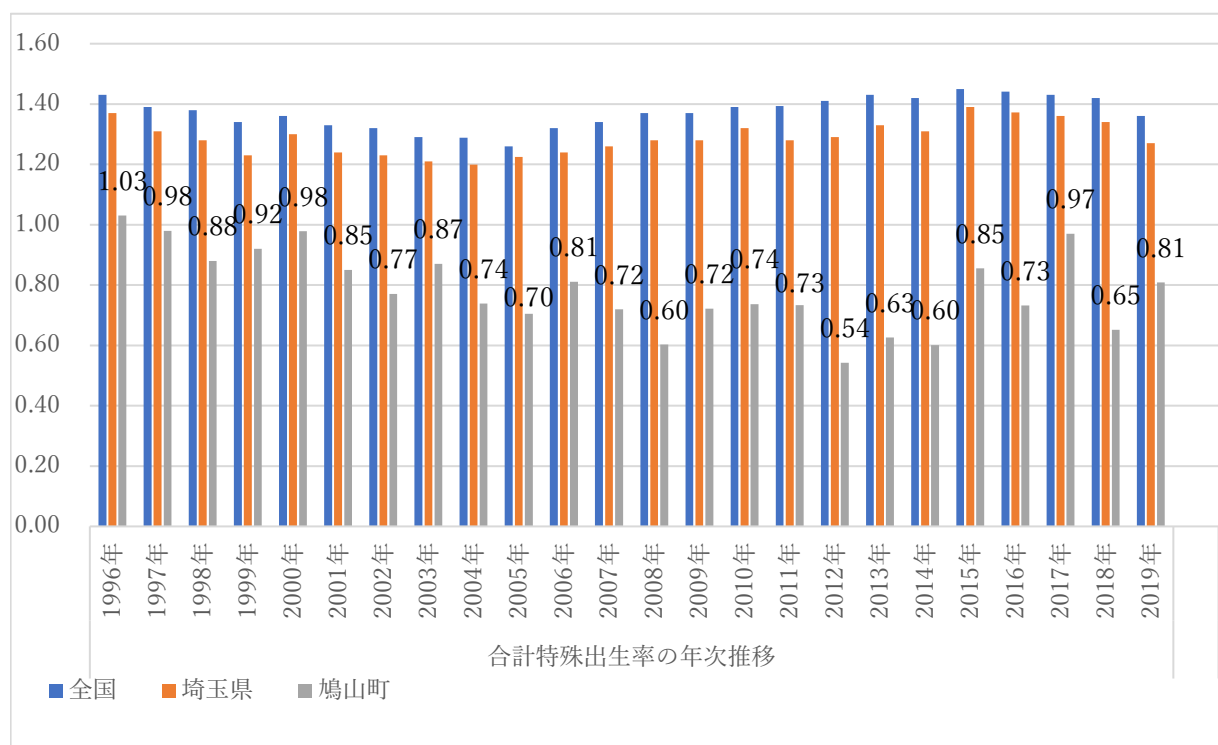
ただし、2020年の国勢調査結果の速報値は、今回の2015年の国勢調査をもとにした推計より200人多い1万3,506人となっています。

②年齢別人口割合の将来推計



2025年に高齢者の率が50%を超える当初から、75歳以上の後期高齢者の率が、65歳以上75歳未満の前期高齢者より多くなっています。

(2) 町の合計特殊出生率の推移



本町の合計特殊出生率は、全国平均、埼玉県平均より低く推移し、人口のピーク時から低下傾向にあります。また、直近の合計特殊出生率は0.81と極端に低いです。

合計特殊出生率は15歳～49歳までの女性の年齢別出生率の合計のため、令和3年1月1日の平均年齢が55.5歳であることを考慮すると、既存の住民のみを母数として出生率の向上の高い目標を掲げるのではなく、人口の増大には転入を促進する必要があると考えます。

(3) 町の目標

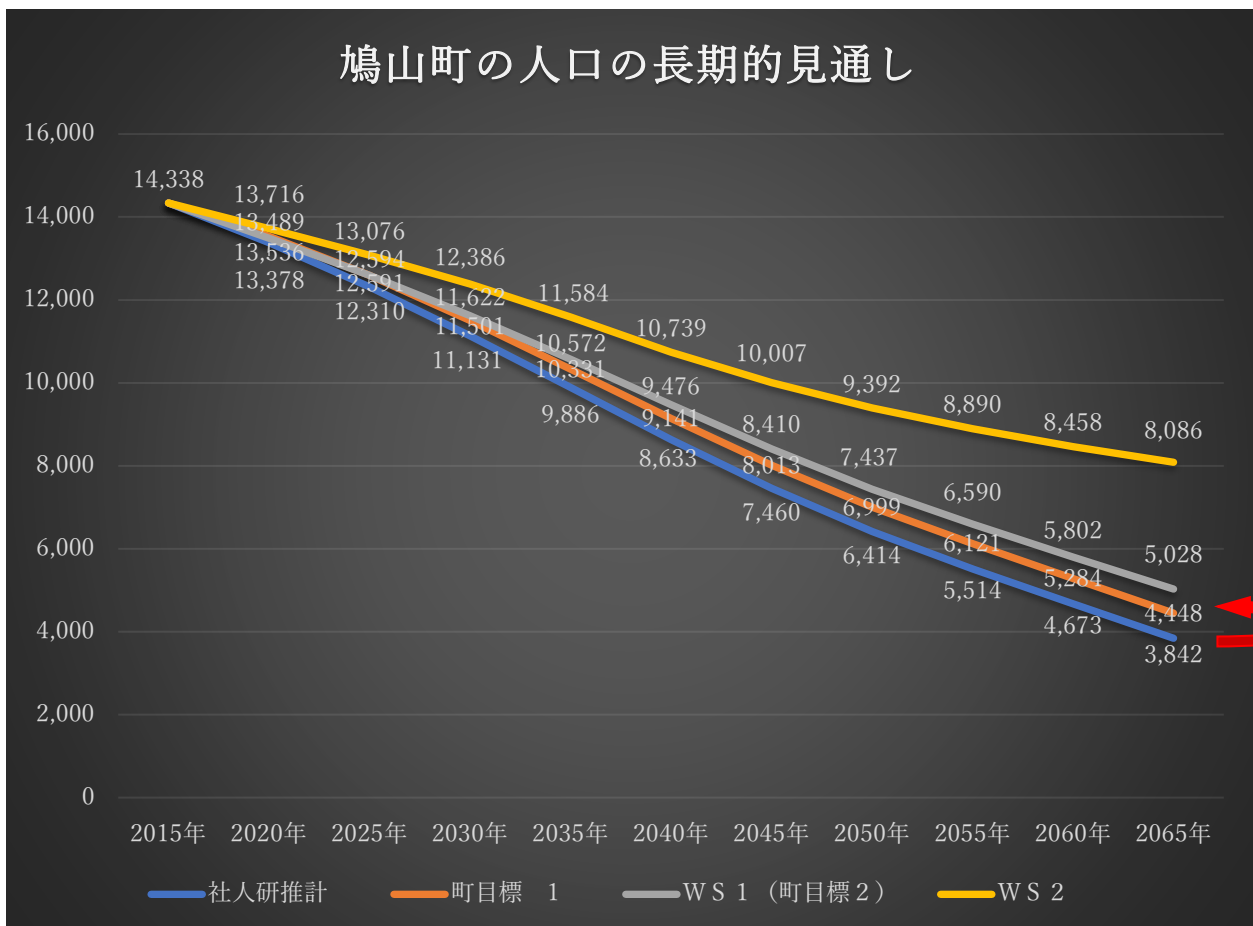
①目標 1

鳩山町は若年層で転入より転出が多い（純移動率がマイナスの）傾向があり、合計特殊出生率が 0.81 と極端に低く、平均年齢が高いことから、次のような考え方で国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計に上積みした目標を掲げます。

- 最初の 5 年の合計特殊出生率は 0.81 を堅持
- その後、（既存住民で）1 割増の 0.90 に上げる
- 子育て世代の移住を進め、25 歳～49 歳の移動均衡（純移動率±0：転出者と転入者の数が同じ）を目指す
- 15～24 歳の転出をやや抑える

②目標 2（ワンランク上の目標）

国から配布されたワークシートでは、社人研推計（出生率 0.89）を出生率 2.1 に修正した数字（下記 WS1）と、更に、純移動率±0（転出者と転入者の数が同じ）にした数字（WS2）が表示されます。先に示した理由により、どちらもかなりハードルは高いですが、45 年後に 5 千人を維持するため、WS1 をワンランク上の目標として設定します。



【国提供のワークシートでの 4 つの表示】

黄色	WS2	：	社人研推計+出生率 2.1+移動均衡（転出者数=転入者数）
灰色	WS1（町目標 2）	：	社人研推計+出生率 2.1
橙色	町目標 1	：	出生率 0.9+25～49 歳の移動均衡+15～24 歳の転出抑制
青色	社人研推計		

2 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（機能戦略の人口スキーム）

市町村の総合戦略は、国の総合戦略に加えて県の総合戦略も勘案の上、策定することとされているため、次のとおりとします。

<p>国の創生総合戦略</p> <p>基本目標と施策</p>	<p>県の創生総合戦略</p> <p>基本目標と施策</p>	<p>鳩山町</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>
<p>1. 稼ぐ地域を作るとともに安心して働けるようにする</p> <p>①地域の特性に応じた生産性が高く、稼ぐ地域の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域資源・産業を活かした地域の競争力強化 ○専門人材の確保・育成 <p>②安心して働ける環境の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保 	<p>1. 安定した雇用の創出～生産年齢人口減少期における経済活性化～</p> <p>①魅力的な雇創出する県内産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次世代産業・先端産業の振興、農林業の振興 ○県内中小企業の支援、サービス産業の振興 ○産業人材の確保・育成 <p>②生産年齢人口減少に対応した潜在的な人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性がいきいきと輝く社会の構築 ○高齢者等の就業支援と雇用の拡大 	<p>戦略 【1】雇用を生み出す基礎的インフラ等の整備</p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業誘致 ②就職支援 ③女性の活躍による6次産業化の推進 ④耕作放棄地・荒廃山林の再生 ⑤泉井・上熊井地区活性化取組方針の推進（整備したインフラの活用） ⑥起業支援 ⑦ふるさと納税返礼品製造推進事業 ⑧上熊井農産物直売所（ちょっくま）の活性化 ⑨地域ブランドの創出
<p>2. 地方とのつながりを築き地方への新しい人の流れをつくる</p> <p>①地方への移住・定着の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地方移住の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生テレワークの推進 ○若者の修学・就業による地方への定着の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある地方大学の実現と地域産業の創出・拡大 <p>②地方とのつながりの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係人口の創出・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン関係人口など新たな関係人口の創出・拡大 ○地方への資金の流れの創出・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税（人材派遣型）の創設 	<p>2. 県内への新しい人の流れをつくる～東京都区部への一極集中の克服～</p> <p>①埼玉県からの人材の流出の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年者を中心とした就業支援 <p>②埼玉県への人の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てに魅力を感じるまちづくりの推進 ○教育の充実と地域連携の推進 ○埼玉県の魅力発信と観光の推進 ○移住の推進 ○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ 2019™等を契機とした地域の活性化 	<p>戦略 【2】来訪者の拡大と多様な就労環境の創出</p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中山間地域における「多世代交流・多機能型」拠点の形成 ②既存ストックや各種資源を活用した多様な交流の創出 ③農業・スポーツ・文化芸術を楽しむ交流人口の拡大 ④衛星やICT等を利活用した魅力的な情報の発信と活用 ⑤鳩山町からの流出人口の減少 ⑥鳩山町への移住・Uターン推進 ⑦（移住推進のための）子育て支援、待機児童ゼロのPR ⑧（移住推進のための）特色ある教育 ⑨ふるさと納税の推進 ⑩企業版ふるさと納税、クラウドファンディングの推進（企業のCSR/SDGsへの訴求） ⑪上熊井農産物直売所（ちょっくま）の

		<p>活性化（再）</p> <p>⑫コワーキングスペース・サテライトオフィスの増大</p> <p>⑬学生シェアハウスの拡大</p> <p>⑭空き家バンクの活性化</p> <p>⑮居住誘導区域における老朽住宅の取り壊し補助、移住優遇制度</p> <p>⑯住民との協働によるPR動画作成</p> <p>⑰ふるさと納税、交流人口拡大のための仮称鳩山応援クラブ設立</p> <p>⑱ふるさと教育</p> <p>⑲スポーツによる町の活性化</p>
<p>3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>①結婚・出産・子育てしやすい環境の整備</p> <p>○結婚・出産・子育ての支援</p> <p>○仕事と子育ての両立</p> <p>○地域の実情に応じた取組の推進</p>	<p>3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>～少子社会からの転換～</p> <p>①結婚・出産・子育てへの支援</p> <p>○結婚・出産への支援</p> <p>○子育て支援の充実</p> <p>○ワークライフバランスの推進</p> <p>○若年層の生活安定の支援</p> <p>○虐待防止体制の強化</p>	<p>戦略 【3】 結婚・出産・子育ての包括支援</p> <p>【施策】</p> <p>①子育て世代包括支援システムの整備・広域連携による結婚支援</p> <p>②三世同居（二世帯住宅）・近居（町内同居）等の推進</p> <p>③きめ細やかな学習支援の推進</p> <p>④ワークライフバランスの推進</p> <p>⑤待機児童ゼロの継続</p> <p>⑥子育て環境の改善、子育て支援</p> <p>⑦学童保育所の整備充実</p> <p>⑧情報教育</p> <p>⑨英語教育、特色ある教育の推進</p>
<p>4. ひとが集う安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</p> <p>①活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保</p> <p>○質の高い暮らしのためのまちの機能の充実</p> <p>○地域資源を活かした個性あふれる地域の形成</p> <p>○安心して暮らすことができるまちづくり</p>	<p>4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る</p> <p>～異次元の高齢化への挑戦～</p> <p>①健康長寿と医療・福祉サービスの連携・充実</p> <p>○生涯を通じた健康の確保</p> <p>○誰もが快適で暮らしやすいまちづくり</p> <p>○共助社会づくりと地域連携の推進</p> <p>②くらしやすいまちづくりの推進</p> <p>○高齢者が安心して暮らせる社会づくり</p>	<p>戦略 【4】 住民と町の協働による地域活性化</p> <p>【施策】</p> <p>①福祉・健康複合施設を核とした多様な連携と活性化の推進</p> <p>②都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成</p> <p>③公共インフラの長寿命化と維持管理の適正化</p> <p>④地域分散型エネルギーシステムの研究</p> <p>⑤公共交通の充実（町外拠点への延伸）</p> <p>⑥健康づくり事業の推進</p> <p>⑦生きがいくくり</p> <p>⑧防災環境の整備</p> <p>⑨サロン事業の充実</p> <p>⑩地域共生社会の実現（重層的支援体制整備事業の推進）</p>

3 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（機能別戦略の人口スキーム）の指標

●まちひとしごと創生総合戦略の指標

番 評価 指標 号	指 標		現 状 値				2024 年目標	
	名 称	説 明	数 値	年度	県内市 町村順 位	説明	目標値	説明
1	泉井人口	町民健康課資料：丁字 別人口と世帯1月1日 現在	462	H26	—	減少傾向	455	現況維持
			461	H28				
			462	H30				
			456	R2				
2	上熊井人口	町民健康課資料：丁字 別人口と世帯	152	H26	—	減少傾向	125	現況維持
			142	H28				
			139	H30				
			127	R2				
3	亀井小学校児 童数	教育委員会資料	87	H26	—	各年度末（3 月時点）児童 数（減少傾 向）	75	現況維持
			79	H28				
			77	H30				
			73	R2				
4	農業生産法人 数	農業委員会資料：農地所 有適格法人報告書	0	H26	—	農地所有適 格法人のう ち町内の法 人	1	現況維持
			0	H28				
			1	H30				
			1	R2				
5	実質公債費比 率		10.0	H20	23位		10.2	現況維持
			6.3	H26	7位			
			6.7	H28	47位			
			7.8	H29	54位			
			9.3	H30	20位			
			10.2	R2	4位			
6	将来負担比率		60.0%	H26			106.5%	
			78.1%	H28				
			106.5%	H29				
			119.2%	R2				
7	若年者（20～34 歳）の就業率	統計からみた埼玉県市 町村のすがた 2020	70.9%	H26		現況維持	73.5%	現況維持
			72.6%	H28				
			73.5%	H30				
			73.5%	R2	54位			
8	市町村内総生 産(第2次産業)	統計からみた埼玉県市 町村のすがた 2020	37億 7,200万 円	H26		減少傾向	40億 7,100万 円	現況維持
			48億 8,500万 円	H28				
			48億 8,500万 円	H30				
			40億 7,100万 円	R2	62位			
9	耕作放棄地面 積	統計からみた埼玉県市 町村のすがた 2020	168ha	H26		現況維持	166ha	減少傾向を抑制
			167ha	H28				
			167ha	H30				
			167ha	R2	31位			

10	市町村内総生産（第1次産業）	統計からみた埼玉県市町村のすがた 2020	3億 3,200万円	H26	増加傾向	3億900万円	現況維持	
			2億 7,300万円	H28				
			2億 7,300万円	H30				
			3億900万円	R2				53位
11	市町村内総生産（第3次産業）	統計からみた埼玉県市町村のすがた 2020	246億 1,600万円	H26	増加傾向	248億 3,500万円	増加した令和2年度の状況を維持	
			240億 4,100万円	H28				
			240億 410万円	H30				
			248億 3,500万円	R2				54位
12	女性（30～39歳）の就業率	統計からみた埼玉県市町村のすがた 2020	66.9%	H26	73.1%	現況維持		
			72.6%	H28				
			73.1%	H30				
			73.1%	R2			11位	
13	あんず生産量		60kg	H26	3500kg	現況維持		
			300kg	H28				
			1000kg	H30				
			3500kg	R2				
14	経営耕地面積	統計からみた埼玉県市町村のすがた 2020	262ha	H26	増加傾向	239ha		
			216ha	H28				
			216ha	H30				
			238ha	R2				45位
15	多世代交流・多機能型拠点への総来訪者数	コミュニティマルシェ来館者数	0人	H26	—	平成29年度オープン	33,888人	令和2年度の25%増
			0人	H28				
			22,745人	H30				
			27,111人	R2				
16	民営事業所数	統計からみた埼玉県市町村のすがた 2020	449件	H26	現況維持	424件	現況維持	
			416件	H28				
			424件	H30				
			424件	R2				59位
17	学生用住宅への転用件数		0件	H26	学生用シェアハウスの運営数	2件	令和2年4月の現状値から倍増	
			0件	H28				
			1件	H30				
			1件	R2				
18	多世代交流・多機能型拠点における地元産品売上高	コミュニティマルシェまちおこしカフェにおける物品販売売上額	0円/年	H26	—	618万円/年	平成30年度、令和元年度、令和2年度の年間売上の平均の15%増	
			0円/年	H28				
			581万円/年	H30				
			476万円/年	R2				
19	デジタルサイクルマップ閲覧者数		0人	H26	—	「バーチャル資料館」	592人	現況（令和2年度）から10%増
			577人	H28				
			522人	H30				


			538 人	R2		ページのアクセス数		
20	ふるさと納税額		0 円	H26			33,164 千円	現況(令和2年度)から20%増
			6,476 千円	H28				
			5,853 千円	H30				
			27,637 千円	R2				
21	婚姻率(人口千対)		2.0	H27			2.3	現況維持
			2.8	H29				
			2.1	H30				
			2.3	R1	32 位			
22	人口10万人当たり医師数		78.4	H26			埼玉県地域保健医療計画に基づき、現状維持又は現状を下回らないように整備	
			78.6	H28				
			70.6	H30				
			65.3	R2	9 位			
23	保育所入所待機児童数	保育所入所申し込みが市町村に提出され、かつ、入所要件に該当しているが、入所していない児童数	0	H26			0	現況維持
			0	H28				
			0	H30				
			0	R2				
24	3世代世帯の割合		9.0%	H26			7.2%	現況維持
			7.2%	H28				
			7.2%	H30				
25	1世帯当たりの人員		2.8 人	H26			2.2 人	現況維持
			2.6 人	H28				
			2.6 人	H30				
			2.2 人	R2				
26	学習支援・非常勤講師確保数		6	H26			6	現況維持
			6	H28				
			7	H30				
			7	R2				
27	児童・生徒・園児数	鳩山町の教育に関するデータ	911	H26		減少傾向	610	減少傾向を止める
			787	H28				
			751	H30				
			661	R2				
28	福祉・健康複合施設利用者数	地域の交流スペース利用者数	0	H26		新型コロナウイルス感染症感染拡大等により施設を閉館したため、利用者減少	24,500 人	新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者数へ戻すことを目標
			0	H28				
			23,940 人/年	H30				
			4,199 人/年	R2	-			
29	犯罪率(人口千対)		3.67	H26			1.76	令和2年度の20%減少を目指す
			4.10	H28				
			2.70	H30				
			2.20	R2				

30	要介護（要支援）認定率	統計からみた埼玉県市町村のすがたより。率は少ない方が良く、少ない方からの順位	10.7%	H26	2位	13.4%	
			10.6%	H27	2位		
			10.2%	H28	2位		
			10.7%	R30	2位		
31	交通事故（人身事故）発生率（人口千対）		2.68	H26		1.34	令和2年度の20%減少を目指す
			2.26	H28			
			1.81	H30			
			1.68	R2			
32	人口千人当たり普通自動車保有数		457.9	H26		393.3	10%減
			462.5	H28			
			446.1	H30			
			437.8	R2	23位		
33	人口千人当たり軽自動車保有数		303.2	R2	23位	272.8	10%減
34	公共的な自然エネルギー設備設置箇所数		5	H26		7	令和2年度の20%向上
			6	H28			
			6	H30			
			6	R2			
35	温室効果ガス排出量	県環境科学国際センター提供の数字（提供はR3年度末まで）	91.2千t-co2	H26		58.9千t-co2	現況の20%減少
			96.8千t-co2	H28			
			73.7千t-co2	H30			
36	入込観光客数	全国共通基準の観光入込客統計調査	224,316	H30		224,316	新型コロナウイルス感染前の数値に戻すことを目標
			171,382	R2			
37	ふるさと納税件数		969件	R2		1,160件	現況（令和2年度）から20%増
38	ふるさと納税収入		3,949千円	R2		4,739千円	現況（令和2年度）から20%増
39	上熊井農産物直売所売上	月平均の売上	オープン月800万円	R3	—	750万円/月	客単価1,500円増（30%増）を目指す
40	上熊井農産物直売所購入件数（来所者数）	月平均	オープン月の購入件数7千人	R3	—	10,000人/月	
41	町営路線バス乗客数		17,845人	R2	—	36,881人	コロナ前の値（令和元年度）を維持



第6次総合計画 別添資料



Target 1 

1 鳩山町森林整備計画【平成 30 年度～令和 9 年度】

都市近縁部に残された貴重な森林を、生活環境の保全及び保健休養機能等の公益的機能を高める視点を軸に保全・整備を進めるもの。

2 鳩山町緑の基本計画【平成 13 年度～ 】


都市公園等の整備など都市計画に基づく施策のみならず、公共公益施設の緑化や緑化に対する意識の普及啓発など緑の保全と創出に関わる施策を総合的に推進する計画であり、緑豊かなまちづくりの指針となるもの。次期都市計画マスタープラン策定時に、都市計画マスタープランに包含される予定

3 鳩山町空家等対策計画【平成 31 年度～令和 5 年度】

国の「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく鳩山町空家等対策計画を策定し、効果的かつ効率的に空家等に関する施策を推進するとともに、もって公共の福祉の増進と地域振興に寄与するため策定したものの。

4 エコオフィスはとやま行動計画 第 4 次計画【平成 30 年度～令和 4 年度】

総合振興計画に定める「環のまち はとやま」を創造するための行動計画であり、かつ、地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条に基づき策定した計画。

Target 2 

5 まめで健康 21 プラン（第 2 次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画）

【令和 2 年度～令和 6 年度】

「壮年期死亡の減少・健康寿命の延伸・生活の質（QOL）の向上」を目指して国が策定した「健康日本 21（21 世紀の国民健康づくり運動）」を受け、町の健康課題 9 分野について具体的な数値目標等を掲げ、「子どもも大人も まめで健康 生きがいくくり」の基本理念のもと、町民・関係機関・団体、行政が一体となって、ライフステージに合わせた健康づくりに取り組むための計画。

6 鳩山町特定健康診査等実施計画【平成 20 年度～令和 5 年度】

特定健康診査及び特定保健指導の受診率の向上を目指し、重症化予防対策や生活の質（QOL）の維持・向上、医療制度を将来にわたって持続可能なものとするため医療費の伸びを適正化するために策定したものの。

7 鳩山町保健事業実施計画（データヘルス計画）【平成 28 年度～令和 5 年度】

被保険者の健康維持増進に資することを目的として、保険者等が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査等の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCA サイクルにより運用するもの。

8 第 8 期鳩山町高齢者福祉総合計画【令和 3 年度～令和 5 年度】

老人福祉法第 20 条の 8 第 1 項に規定する「市町村老人福祉計画」及び介護保険法第 117 条に規定する「市町村介護保険事業計画」を一体化したものととして策定。急速に進展する高齢化にともなう諸課題に対応するため、町としての基本的政策目標の設定と、その実現のために取り組むべき具体的方策を明らかにすることを目的とする。

Target 3 

9 第 2 次鳩山町地域福祉推進プラン【平成 31 年度～令和 5 年度】

地域で支えあう福祉のまちづくりの実現に向け、住民が「我が事」ととらえて主体的に取り組むとともに、複数の課題、多様な課題に「丸ごと」対応・支援できるよう、誰もが生きがいをもち、相互に助け合いながら暮していく「地域共生社会」目指し、地域福祉を推進するために策定した計画。

10 第 6 期鳩山町障がい者福祉計画【令和 3 年度～令和 5 年度】

障害のある人もない人も住み慣れた地域社会で共生し、安心して暮らすことができるよう、「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」の基本理念のもと、「ふれあいと支えあいのある安心して暮らせるまち」を目指すための計画。

11 鳩山町のち支える自殺対策行動計画 第2次計画【令和4年度～令和6年度】

自殺対策基本法第13条第2項の規定により、自殺対策の総合的な推進と、町民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的に、町の実情に応じた自殺対策の基本的な方向や具体的な施策等を定めたもの。

12 鳩山町国土強靱化地域計画【令和4年度～】

強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（平成25年法律第95号）第13条に基づく国土強靱化地域計画として、本町における地域強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画

13 鳩山町地域防災計画【平成26年度～】

鳩山町の地域に係る自然災害等（地震・風水害・噴火・大規模な火災など）について、住民の生命、身体及び財産を保護することを目的として、必要な事項を定めたもの。

14 鳩山町国民保護計画【平成24年度～】

国民保護法の施行により、都道府県及び市町村は国民保護計画を作成することが義務づけられたことに伴い、策定した計画。武力攻撃や大規模テロなどの発生において、国の方針に基づき国、県、他の市町村、関係機関等と連携・協力し、住民の迅速な避難や救援活動が実施できるよう、定めたもの。

15 鳩山町危機管理指針【平成18年度～】

町の危機対応に関する基本的な考え方を定め、危機管理体制を強化するとともに危機への対処施策を推進し、町民の生命、身体及び財産の保護並びに町民生活の安定を図り、安心・安全なまちづくりに役立てることを目的とするもの。

16 第11次鳩山町交通安全計画【令和3年度～令和7年度】

交通安全対策基本法第26条第1項の規定に基づき、市町村の交通安全に関する施策の大綱を定めたもの。この交通安全計画に基づき、地域の実情と交通状況に即した、交通安全に関する施策を具体的に定め、実施する。

17 鳩山町情報セキュリティポリシー【平成17年度～】

鳩山町が保有する情報資産に係る機密性、完全性及び可用性を維持するための対策を総合的、体系的かつ具体的に定めることにより、町民の財産、プライバシー等の保護及び安定的な行政事務の運営を図るとともに、高度な電子自治体を構築することを目的とするもの。

Target 4

18 鳩山町都市計画マスタープラン【平成13年度～令和4年度】

都市計画法第6条の2に基づく「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して定めるもの。
次期都市計画マスタープラン策定時に、緑の基本計画を一体的に策定する予定

19 鳩山町立地適正化計画【平成29年度～令和22年度】

人口の急激な減少や高齢化の進展を踏まえ、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す、居住や都市機能立地、公共交通の充実等に関する包括的な計画。医療や福祉施設などの都市機能を誘導する区域、また居住を促進する区域を設定するとともに、公共交通等の各分野との連携を図りながら、行政と住民さらには民間事業者が一体となって「コンパクトなまちづくり」の取組を推進するため、策定したもの。概ね5年ごとに必要に応じて見直し予定。（平成29年3月策定）

20 鳩山町農業振興地域整備計画【平成10年度～】

「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき農業の健全な発展を目指し、農用地の効率的な利用を図るため、優良な農地を保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に実施するために定める総合的な農業振興計画。

21 鳩山町農村環境計画【平成16年度～】

「鳩山町地域農業マスタープラン（平成12年度～平成16年度）」に示される施策の基本方向の実現にあたり、環境保全の視点からその方向性を示したもの。町内における農業農村整備事業の実施にあたって、それらの地域資源の保全・管理を通じた新たなコミュニティの形成を念頭に置き、その方針を示すことにより、環境資源に対する認識を広く共有することを目指したもの。

22 鳩山町交通基本計画【令和6年度～】

地域公共交通確保維持改善事業としてデマンドタクシーを運行する計画

Target 5

23 第2期鳩山町子ども・子育て支援事業計画【令和2年度～6年度】

「次代を担う子どもを育み 未来へつなぐ 子育てのまち・鳩山」を基本理念として、子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法など、関連法令の目的や内容を踏まえつつ、鳩山町の次代を担う子どもたちが自分らしく健やかに成長していくための環境づくりや将来親になる世代が希望を持って子どもを生ま育てることのできる環境づくりを地域全体で推進していくことを目指し、第1期計画の基本理念を引き続き掲げ、子ども・子育て支援施策を総合的に推進する計画。

24 第2期鳩山町教育振興基本計画【令和4年度～】

教育を取り巻く社会の動向や前期の「鳩山町教育振興基本計画」の成果と課題などを検証・分析した上で、重点的に取り組む基本計画・施策・事業の体系を示したものの。

25 鳩山町特定事業主行動計画【令和2年度～令和7年度】

次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍に関する法律に基づき、次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ、子育てしやすい環境を整備し、女性の職業生活における活躍を図り、全ての職員が働きやすく能力を十分に発揮することができるよう、策定したものの。

Target 6

再 第2期鳩山町教育振興基本計画【令和4年度～】

教育を取り巻く社会の動向や前期の「鳩山町教育振興基本計画」の成果と課題などを検証・分析した上で、重点的に取り組む基本計画・施策・事業の体系を示したものの。

再 第8期鳩山町高齢者福祉総合計画【令和3年度～令和5年度】

老人福祉法第20条の8第1項に規定する「市町村老人福祉計画」及び介護保険法第117条に規定する「市町村介護保険事業計画」を一体化したものととして策定。急速に進展する高齢化にともなう諸課題に対応するため、町としての基本的政策目標の設定と、その実現のために取り組むべき具体的方策を明らかにすることを目的とする。

26 鳩山町人権政策推進計画【平成30年度～令和9年度】

多様かつ複雑な人権問題に対応するため、総合的な人権施策の体系化を図るとともに、分野別人権施策の方向性を明らかにし、人権施策を効果的かつ効率的に実現するための計画。

27 鳩山町男女共同参画計画【平成30年度～令和4年度】

町の男女共同参画社会の実現に向けた様々な取り組みの指針となるものであり、男女が対等なパートナーシップにより支えあい、誰もがいきいきと暮らすことができるまちづくりを進めるため、町全体に「男女共同参画」という考えを根づかせ、町民の皆さんとともに推進していくための総合的な計画。

再 鳩山町特定事業主行動計画【令和2年度～令和7年度】

次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍に関する法律に基づき、次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ、子育てしやすい環境を整備し、女性の職業生活における活躍を図り、全ての職員が働きやすく能力を十分に発揮することができるよう、策定したものの。

目 次

調査の概要…… 1 P

1 あなた自身についてお伺いします…… 2 P

- 問 1. あなたの性別はどちらですか。
- 問 2. あなたの年齢を教えてください。(令和 2 年 12 月 1 日現在)
- 問 3. あなたのお住まいの地域を教えてください。
- 問 4. 鳩山町内での居住年数を教えてください。(町内で転居されたことのある方は、通算の年数をお願いいたします)
- 問 5. あなたの出身地を教えてください。
- 問 6. 同居されている家族構成を教えてください。
- 問 7. あなたのご家族のなかに、「未就学」または「小学生以上 18 歳未満」のお子さんがいますか。
- 問 8. あなたの職業を教えてください。
- 問 9. 問 8 で職業があると答えた方にお尋ねします。一日あたりの平均的な就業時間は、どのくらいですか？
- 問 10. 配偶者がいらっしゃる方にお尋ねします。配偶者の職業を教えてください。
- 問 11. あなたの世帯全体の年間収入はボーナスを含めておおよそどれくらいですか。
- 問 12. あなたのお住まいは次のどれに当たりますか。
- 問 13. あなたは次のことについて主にどこに出かけますか？
- 問 14. あなたは町政の動きや町の仕事、行事などについて、主に何から情報を得ていますか。
- 問 15. あなたは町政以外の情報を、主に何から得ていますか。

2 鳩山町についてお伺いします…… 3 P

- 問 16. あなたは、鳩山町に「自分の町として」愛着を感じていますか。
- 問 17. あなたは鳩山町にお住まいになって、どのように感じていますか。
- 問 18. あなたは鳩山町に住んでみてどのような点が魅力だと思いますか。
- 問 19. あなたは鳩山町に住んでみてどのようなところが魅力に欠けると感じますか。
- 問 20. あなたは、これからも鳩山町に住み続けたいとお考えですか。
- 問 21. あなたのお住まい(資産)を今後どのようにする予定ですか？

3 町政についてお伺いします…… 4 P

- 問 22. 生産年齢人口の減少により、町民サービスの財源である町税が減少傾向にあり、これまで事業の見直しや町職員の削減等により対応してきました。今後、高齢化が 5 割を超え、収入減と支出増が進むと考えた時、行政サービスのあり方や方向性について、あなたの考えに近いものをお選びください。
- 問 23-1. 問 22 で行政サービスの水準が下がるのは困ると回答した方へお尋ねします。行政サービスの水準を維持するには皆さんの負担の増大が必要ですが、次のうちどれを選択しますか？
- 問 23-2. 問 22 で行政サービスの水準が下がるのは困ると回答した方へお尋ねします。行政サービスの水準を維持するには 23-1 でも不足すると考えられますが、さらに行うこととして、次のうちどれを支持しますか？

4 SDGs についてお伺いします…… 5 P

問 24. 持続的な開発目標[SDGs]についてどう感じていますか。

5 今後の計画づくりのため、項目ごとの実感度等をお伺いします…… 5 P

問 25. 次のそれぞれの項目の実感度をお選びください。また、あなたの幸せにとって特に重要な項目を3つ選び、第1位から第3位までの順位をお付けください。

6 現在の幸福度や今後幸せを感じるために必要なことをお伺いします。…… 8 P

問 26. あなたは今幸せだと感じますか。あなたの実感に最も近いもの一つに○を付けてください。

問 27. 次の7つの分野について、今後あなたが幸せとを感じるために重要な順に1～6の順位を付けてください。

問 28. あなたは8年後鳩山町がどのようになっていると幸せに感じますか？また、それを実現するためには行政や町民がどのようにすればよいと思いますか？自由にご記入ください。

第1 調査の概要

1 調査目的

- (1) 『第6次総合計画（将来像、土地利用、優先すべき施策、指標）』、中・長期的に必要となる重点施策を定める『まち・ひと・しごと創生総合戦略』及び『都市計画マスタープラン』の策定や計画の推進にあたり、町民の意識、幸福度、ニーズを把握するため
- (2) 人口及び財源が縮小し、消滅可能性都市に挙げられているなど、町を取り巻く環境が一層厳しい中、町政経営、サービスの担い手としての町民参加に関する町民の意向を確認するため
- (3) 住まいの状況を把握し、空家の流通に活かすため

2 調査内容

- (1) 回答者の基本属性
性別、年齢、居住地域、居住年数、家族構成、子供の状況、職業、世帯年数、住まい、外出先、情報を得る手段
- (2) 鳩山町について
- (3) 町政について
- (4) SDGs について
- (5) 今後の計画づくりのため、項目ごとの実感度等
- (6) 現在の幸福度や今後幸せを感じるために必要なこと

3 調査設計

- (1) 調査地域 鳩山町全域
- (2) 調査対象 鳩山町住民基本台帳に登録の令和2年12月1日現在で18歳以上90歳未満の町民
- (3) 標本数 2,000 サンプル
- (4) 総人口（令和2年12月1日現在） 13,470 人（母集団）
- (5) 抽出方法 無作為抽出
- (6) 調査方法 郵送による調査票の送付及び回収
- (7) 調査期間 令和2年12月22日から令和3年2月18日（1月8日までだったのを延長）
- (8) 調査機関 鳩山町役場政策財政課

4 回収結果

発送数	2,000 件
回収数	965 票
無効票数	0 票
有効回収数 (N)	965 票※総人口の 7.16%
有効回収率	48.25%
信頼レベル	95%
誤差	1.6%

※信頼レベル 95%、誤差 5%の調査が一般的で、それを上回る

- 母集団（総人口 13,470）に対するサンプル数の割合（7.16%）で計算すると、信頼レベル 95%、誤差 1.6%に必要なサンプル数は 928.74 (<965)
- 最初のサンプル 965 で幸福を感じている人が 30%いたとすると、サンプルを 100 回入れ替えた場合、95 回は幸福を感じている人の率が 28.4~31.6 に収まるということ。

5 調査票の点検

調査期間は令和 2 年 12 月 22 日から令和 3 年 1 月 8 日としたが、「調査票の内容確認に期間が必要なこと」及び「少しでも多くの回答者の意思を尊重すること」などにより、有効期限を令和 3 年 2 月 18 日までとした。

また、調査票の点検は次の基準に基づき行った。

① 無効調査票

すべての質問に回答の記入がない場合、無効の調査票とする。（意見欄のみの記入も無効調査票として取り扱う。）

② 内容の確認

質問は選択する回答数が次のとおり異なるので、必要な処理をする。

ア 1 つだけ選ぶ質問

- ・ 1 つも選んでなかったら、そのままとする。
- ・ 2 つ以上選んであったら、どれか 1 つを生かして、それ以外は○の上に×をつけて該当外とする。（どれをいかにするかは、規則性がないようにする。例えば、常に最初を選ぶということをせずに、バラバラに選択する。）

イ 3 つまで選ぶ質問

- ・ ゼロ、1 個、2 個選んであるときは、そのままとする。4 個以上選んである場合、アの方法に準じて、2 つに絞り込む。

ウ A 選択肢を選んだ方が回答する設問

- ・ A 選択肢を選ばずに回答した場合は、無効データとする。

エ 順位をつける質問

- ・ 同順位の場合は、先頭優先で訂正（例：2, 1, 2→2, 1, 3へ変更）
（例：3, 2, 2→3, 1, 2へ変更）
- ・ 欠番の場合は、指定順位内で繰り上げ（例：1, 3→1, 2へ変更）
（例：2, 3→1, 2へ変更）
- ・ 指定順位を超えている場合は、指定順位最下位へ訂正（例：432,2→2, 1へ変更）

6 集計・分析に当たって

実感度及び順位における平均点の算出方法については、下表に示すように項目の各選択肢に点数を付け、回答者数を乗じたものの合計値を全体の回答者数で除して算出した。ただし、「わから

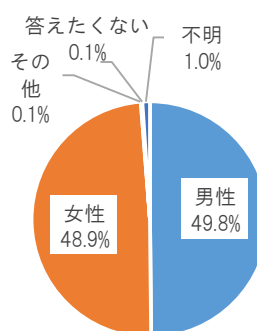
ない」「無回答」の回答者については対象から除外した。

【1】実感度	点数	【2】重要度（順位）	点数
大いに感じる	6点	1位	10点
少し感じる	5点	2位	9点
どちらでもない	4点	3位	8点
あまり感じない	3点		
全く感じない	2点		
分からない	1点		

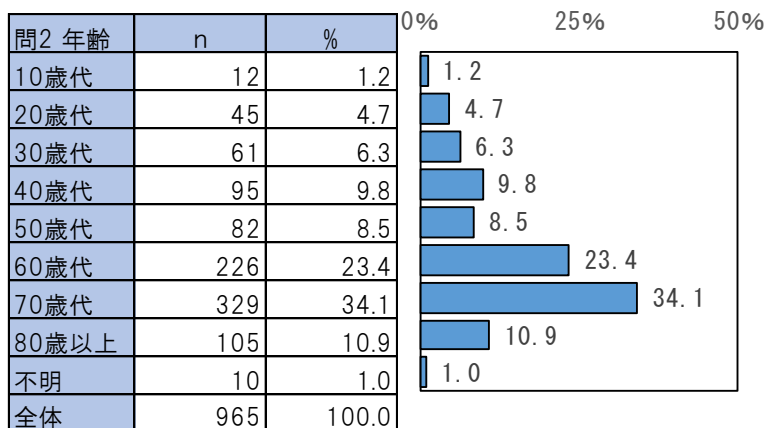
1 あなた自身についてお伺いします

問1. あなたの性別を教えてください。

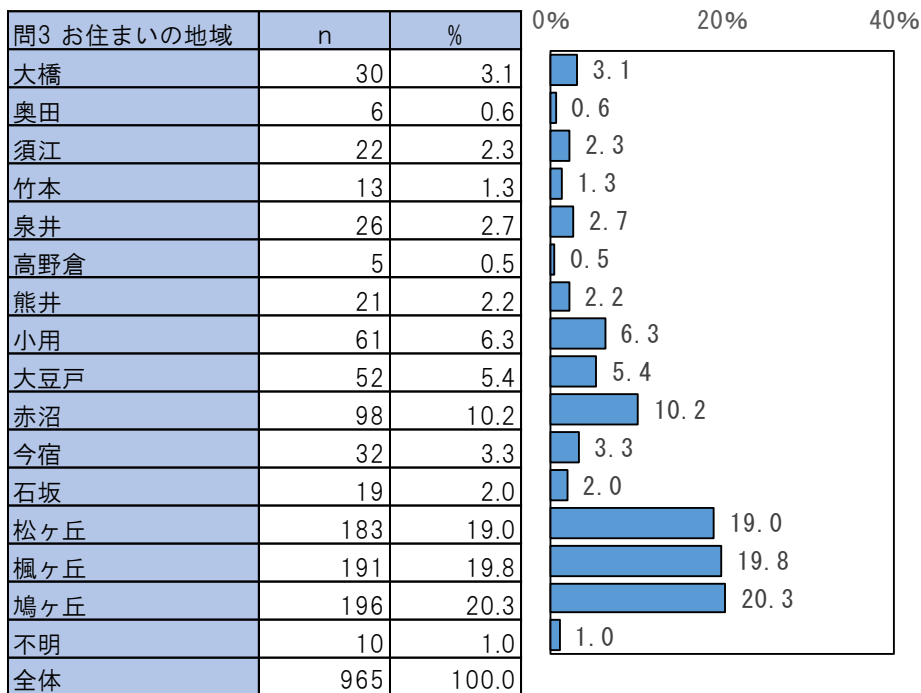
問1 性別	n	%
男性	481	49.8
女性	472	48.9
その他	1	0.1
答えたくない	1	0.1
不明	10	1.0
全体	965	100.0



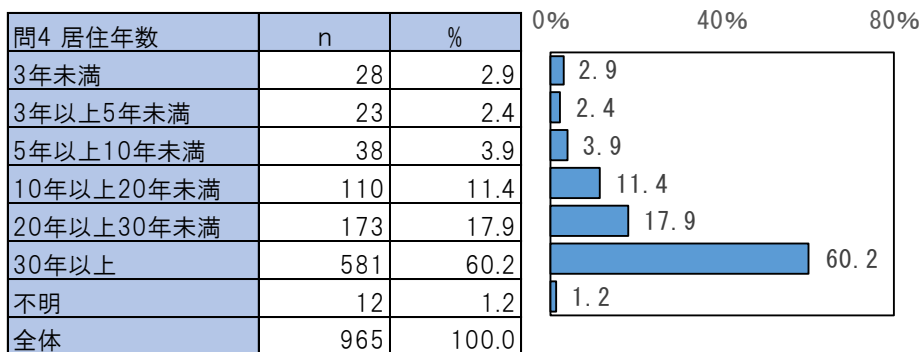
問2. あなたの年齢を教えてください。



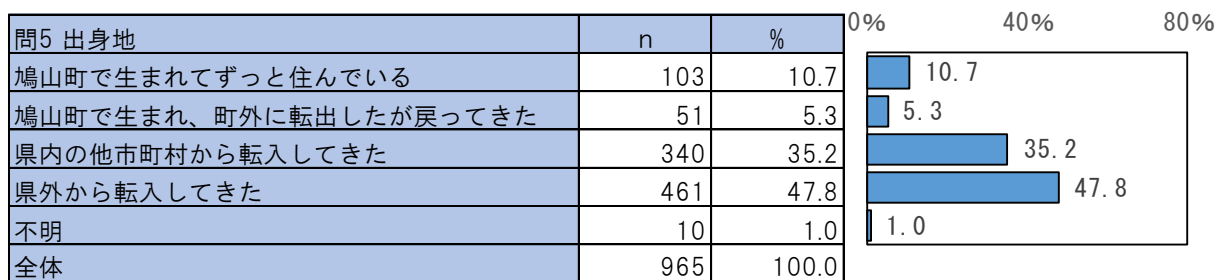
問3. あなたのお住まいの地域を教えてください。



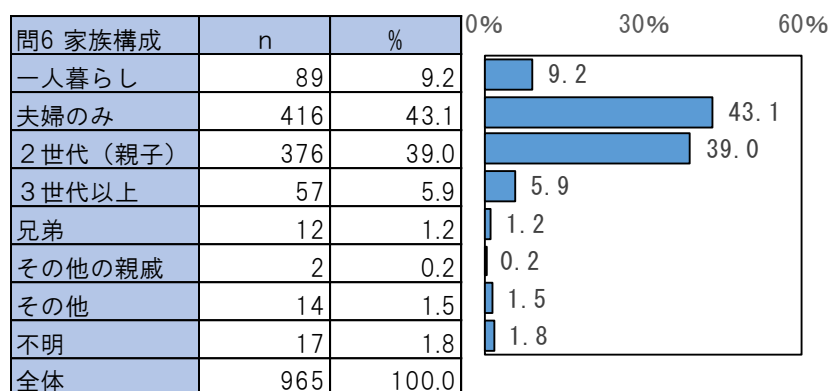
問4. 鳩山町内での居住年数を教えてください。



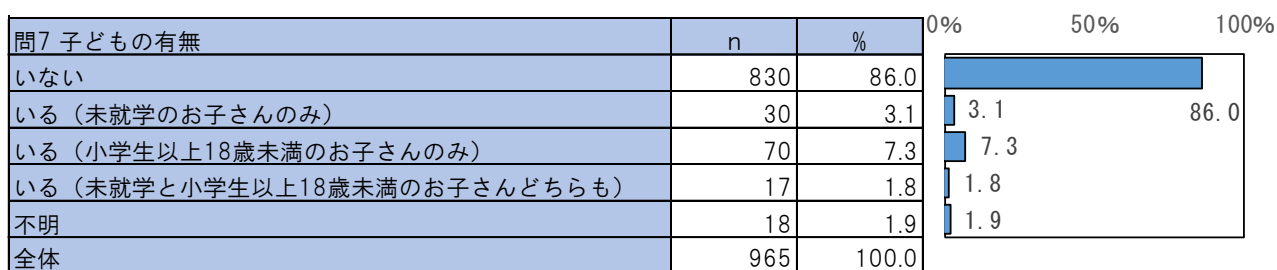
問5. あなたの出身地を教えてください。



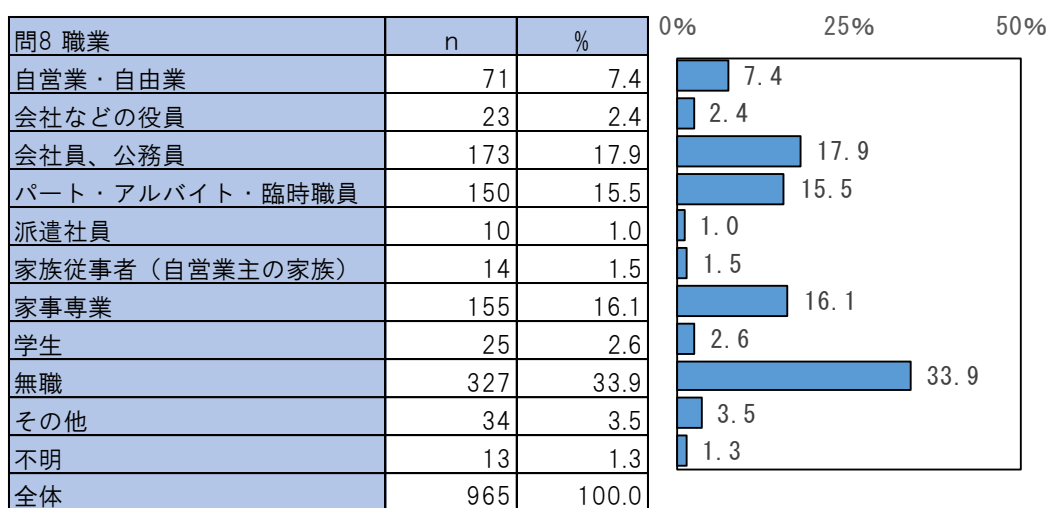
問6. 同居されている家族構成を教えてください。(複数回答)



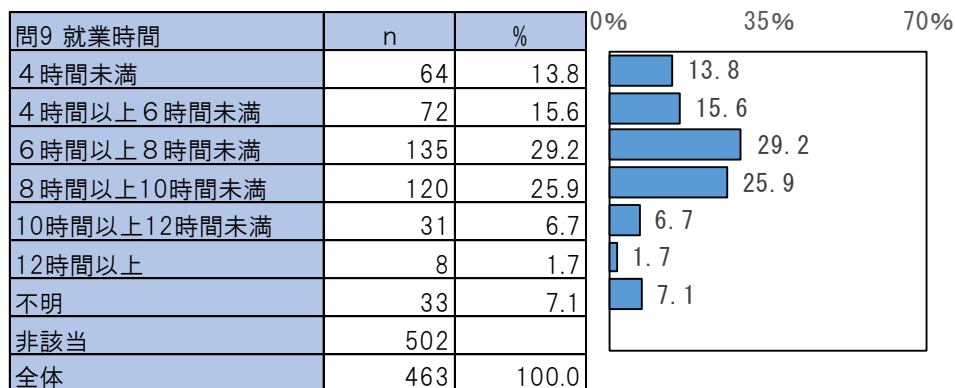
問7. あなたのご家族のなかに、「未就学」または「小学生以上18歳未満」のお子さんがいますか。



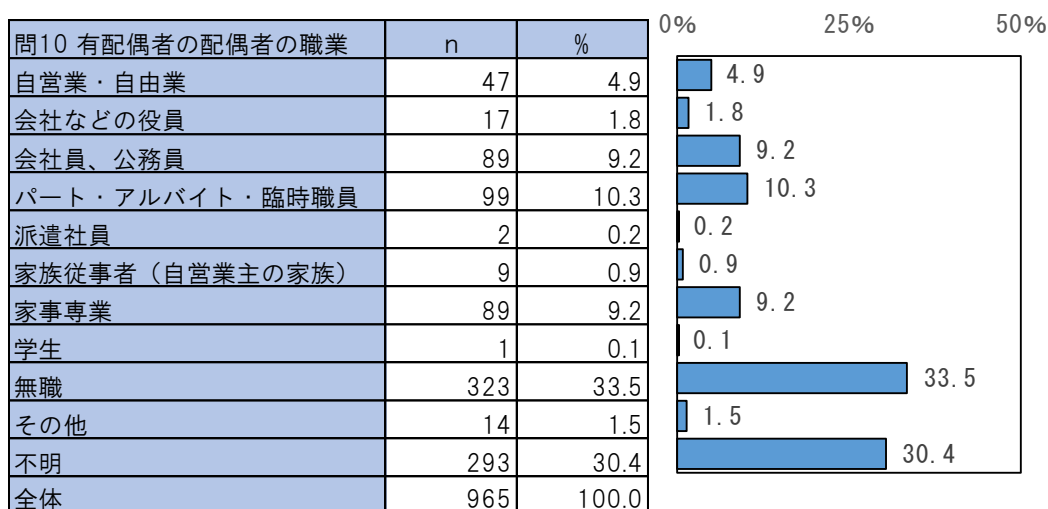
問8. あなたの職業を教えてください。(複数回答)



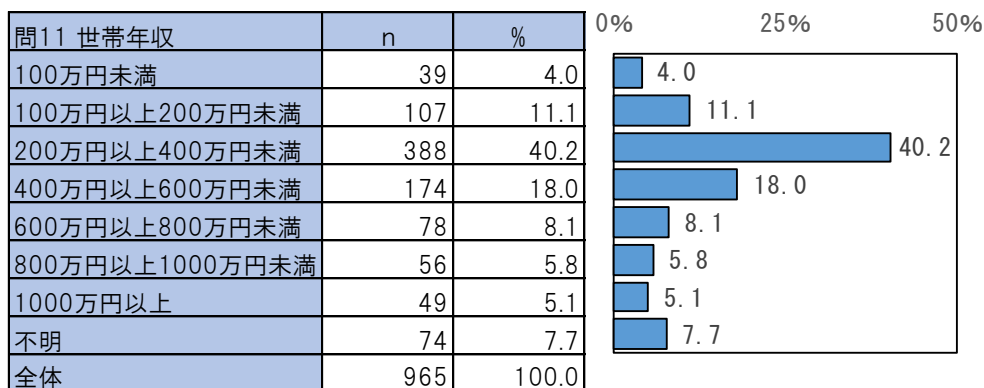
問9. 問8で1～6と答えた方にお尋ねします。一日あたりの平均的な就業時間は、どのくらいですか？



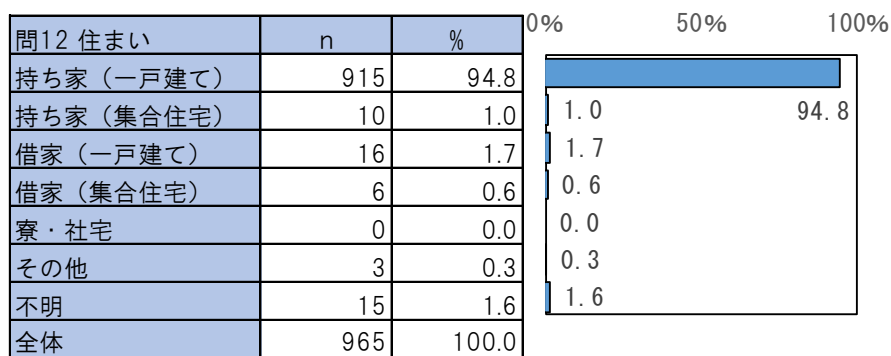
問10. 配偶者がいらっしゃる方にお尋ねします。配偶者の職業を教えてください。(複数回答)



問11. あなたの世帯全体の年間収入はボーナスを含めておよそどれくらいですか。

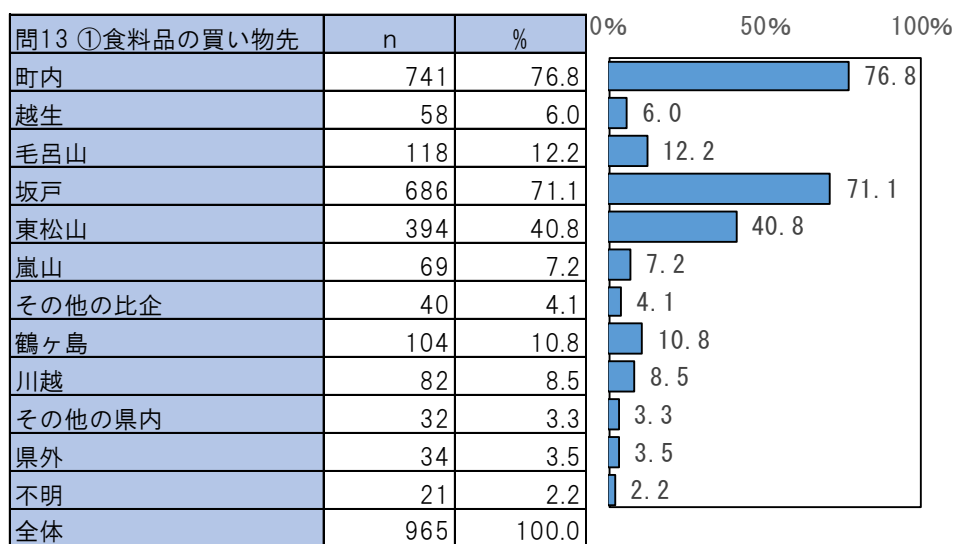


問12. あなたのお住まいは次のどれに当たりますか。

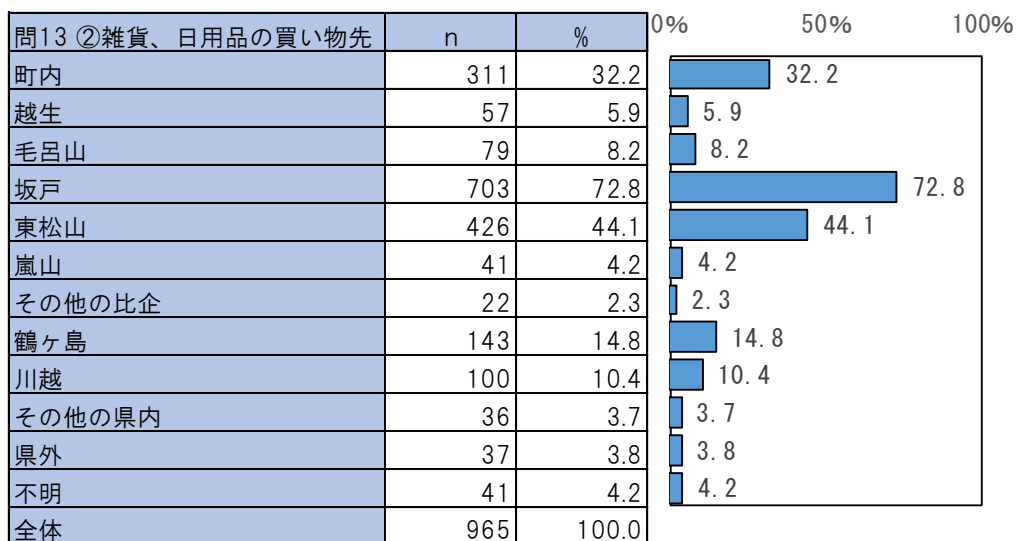


問13. あなたは次のことについて主にどこに出かけますか？

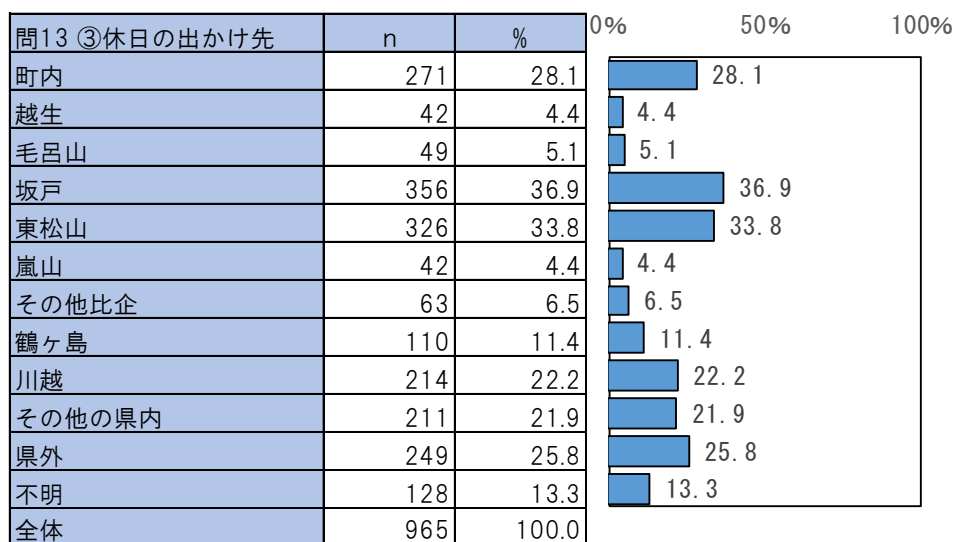
【①食料品の買い物先】（複数回答）



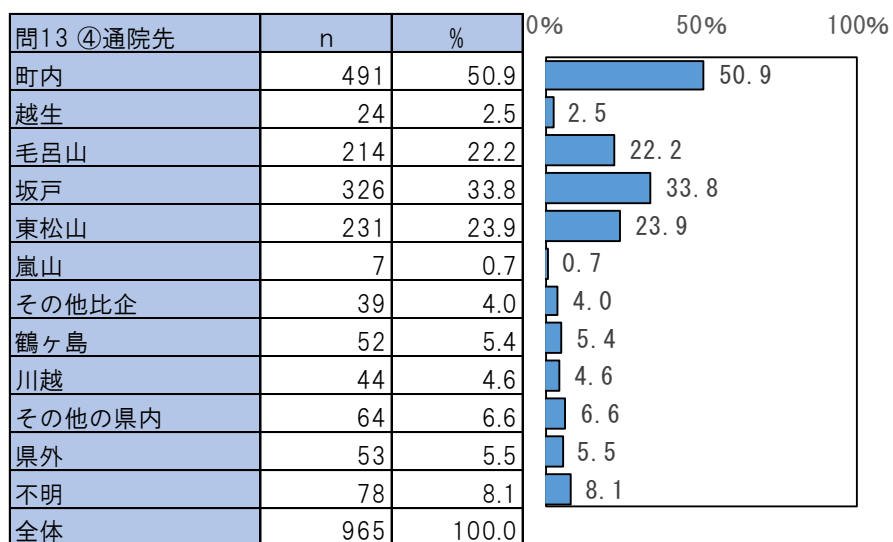
【②雑貨、日用品の買い物先】（複数回答）



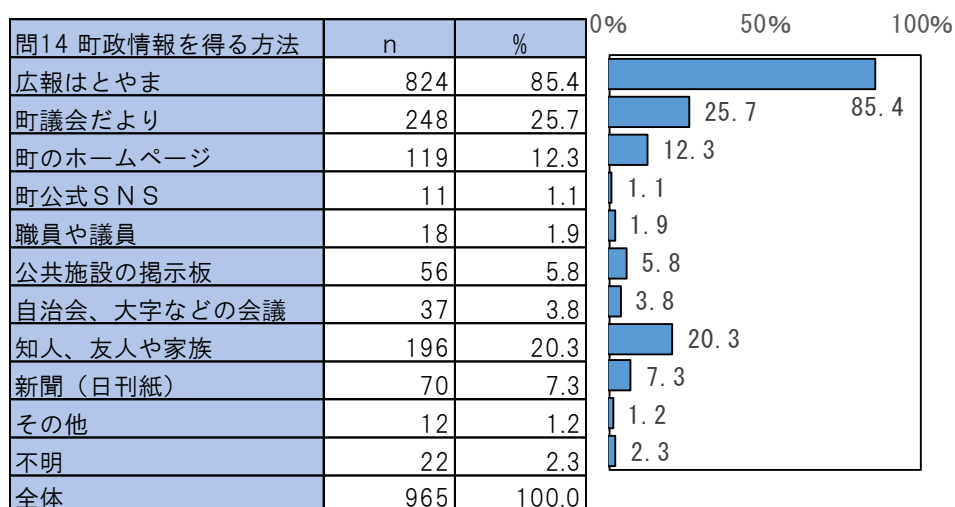
【③ 休日の出かけ先】（複数回答）



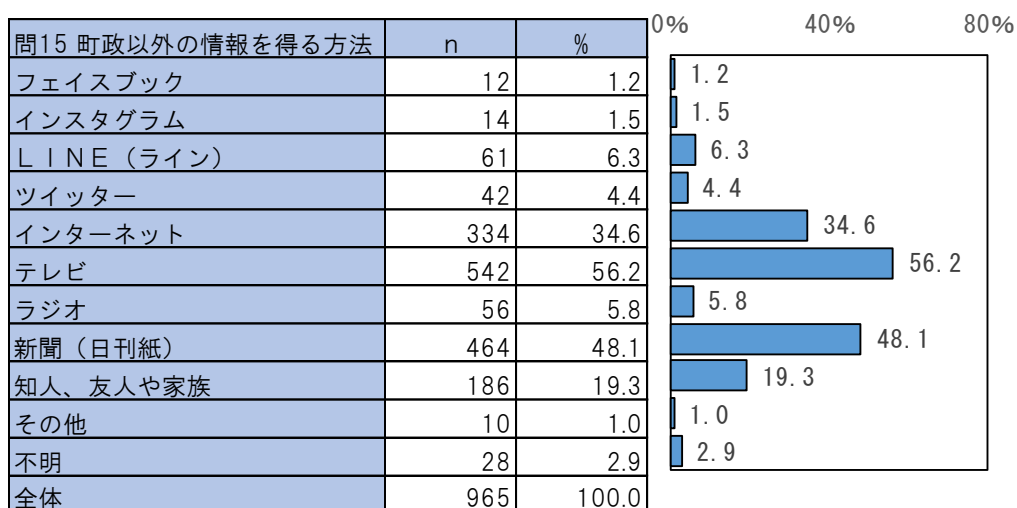
【④ 通院先】（複数回答）



問14. あなたは町政の動きや町の仕事、行事などについて、主に何から情報を得ていますか。
 (複数回答)

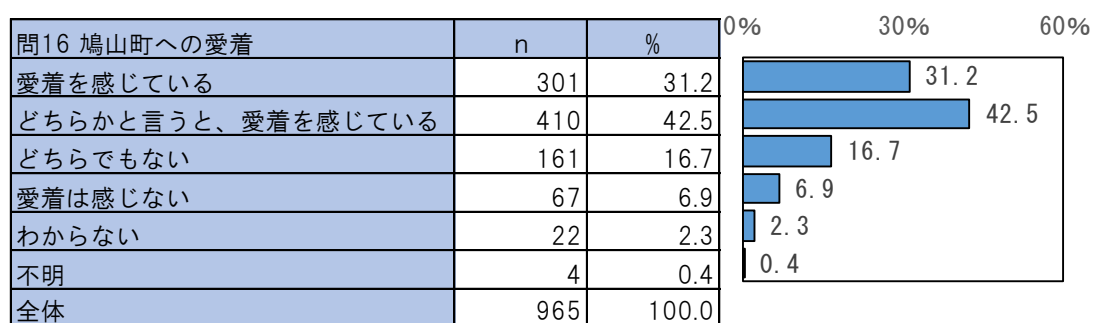


問15. あなたは町政以外の情報を、主に何から得ていますか。(複数回答)

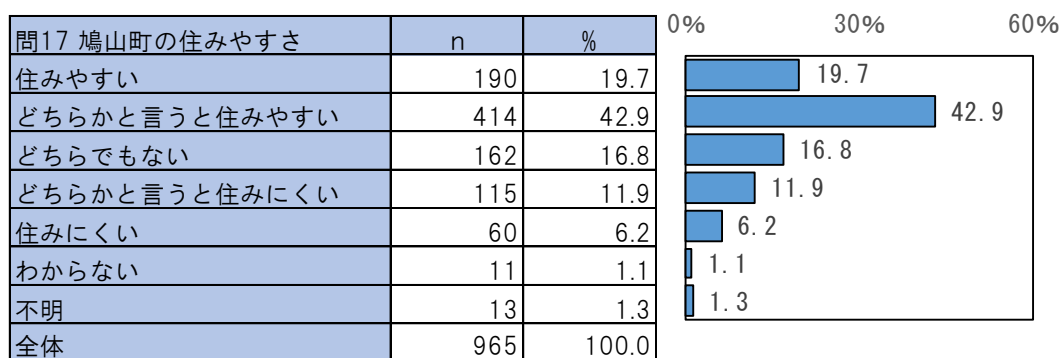


2 鳩山町についてお伺いします

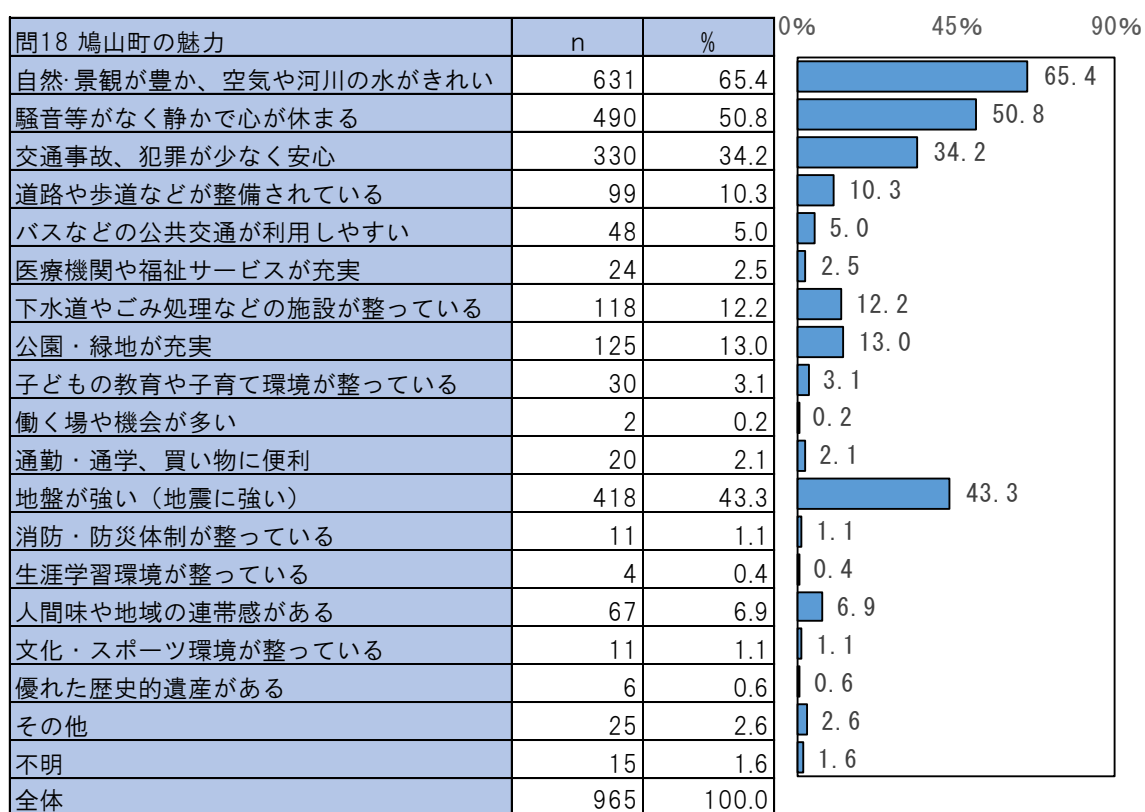
問16. あなたは、鳩山町に「自分の町として」愛着を感じていますか。



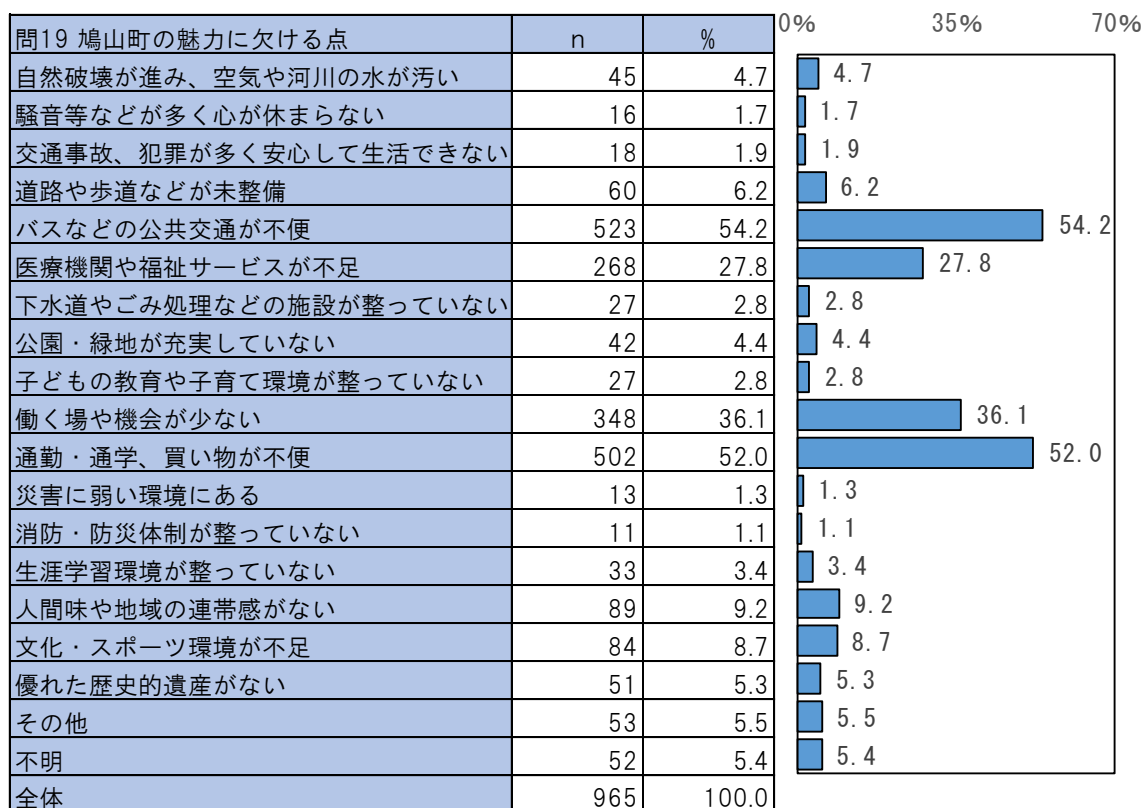
問17. あなたは鳩山町にお住まいになって、どのように感じていますか。



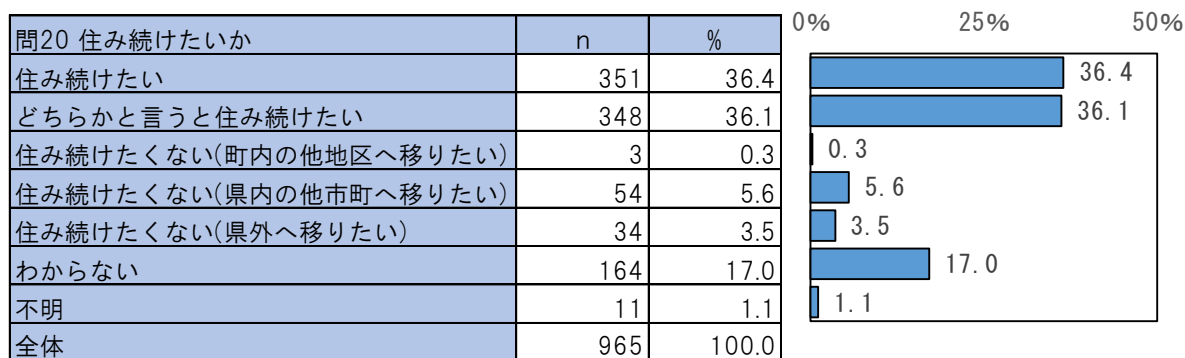
問18. あなたは鳩山町に住んでみてどのような点が魅力だと思いますか？（複数回答）



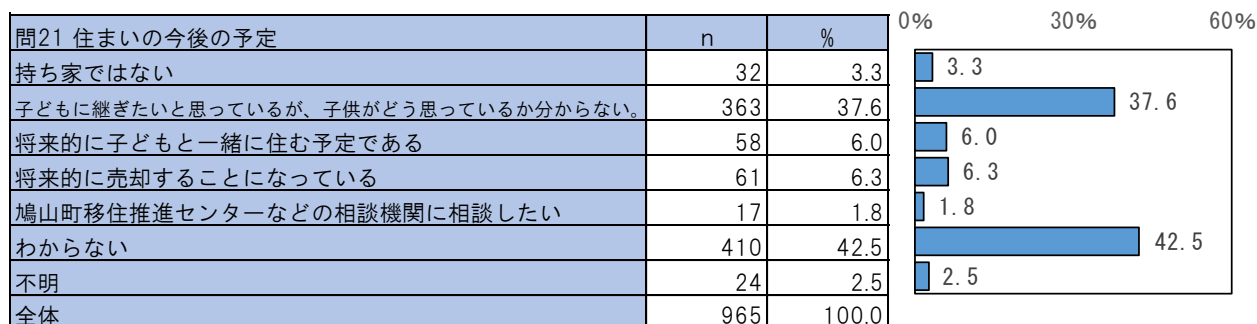
問19. あなたは鳩山町に住んでみてどのようなところが魅力に欠けるとお考えですか？
（複数回答）



問20. あなたは、これからも鳩山町に住み続けたいとお考えですか。

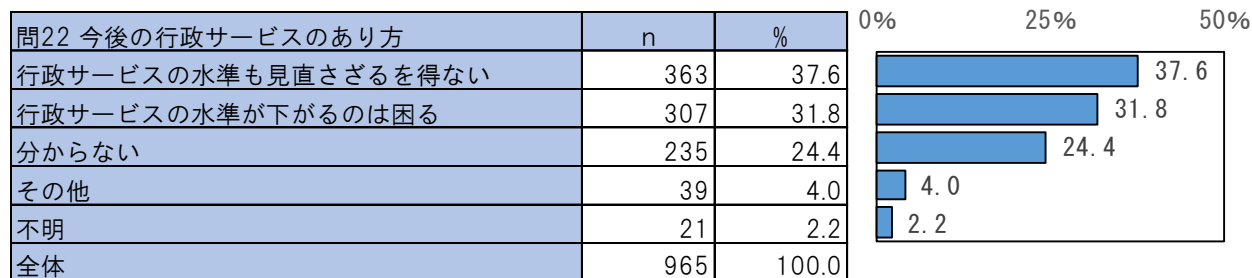


問21. あなたのお住まい（資産）を今後どのようにする予定ですか？

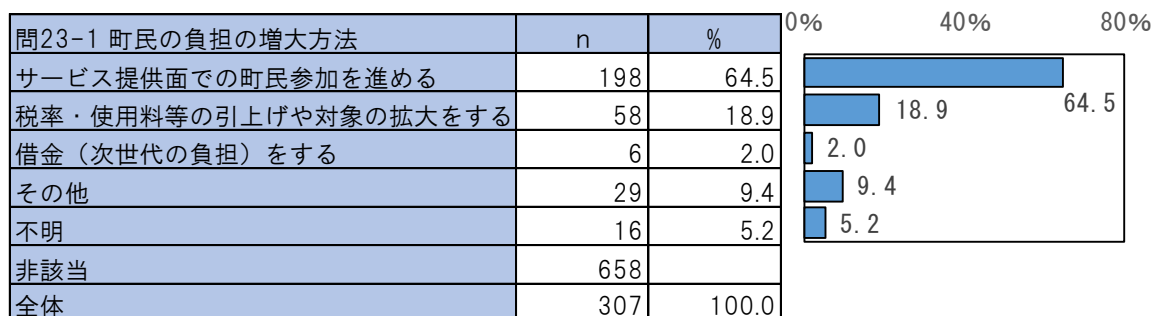


3 町政についてお伺いします

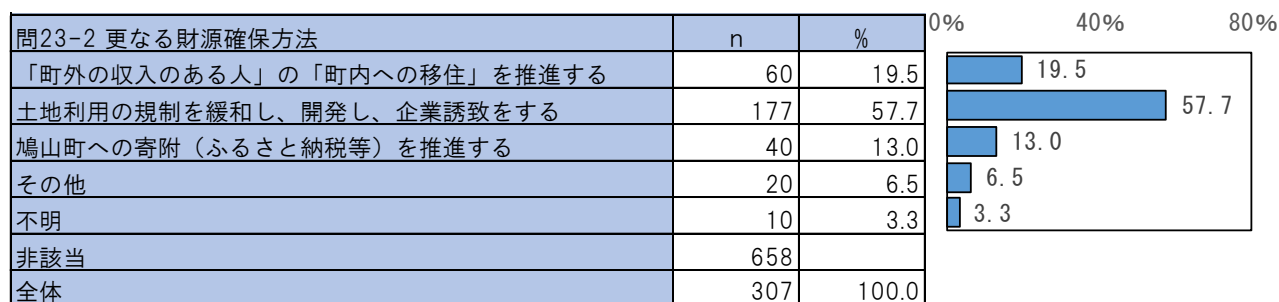
問22. 生産年齢人口の減少により、町民サービスの財源である町税が減少傾向にあり、これまで事業の見直しや町職員の削減等により対応してきました。今後、高齢化率が5割を超え、収入減と支出増が進むと考えた時、行政サービスのあり方や方向性について、あなたの考えに近いものをお選びください。



問23-1. 行政サービスの水準を維持するには皆さんの負担の増大が必要ですが、次のうちどれを選択しますか？

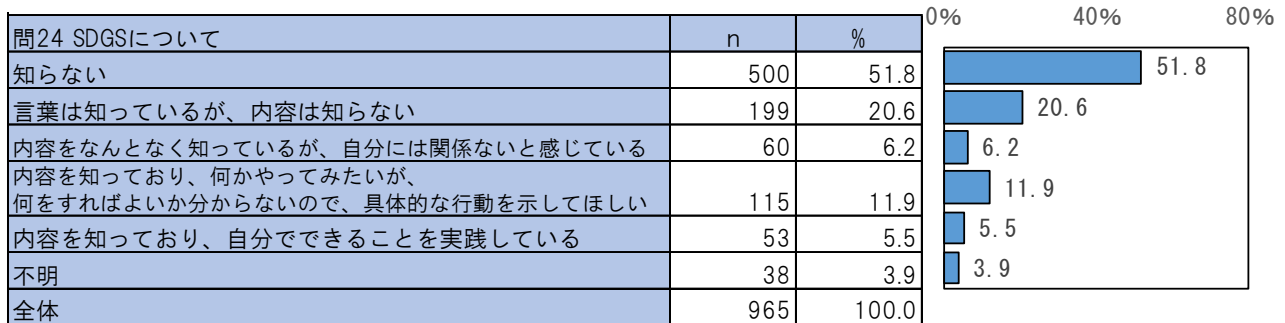


問23-2. 行政サービスの水準を維持するには23-1でも不足すると考えられますが、更に行うこととして、次のうちどれを支持しますか？



4 SDGsについてお伺いします

問 2 4. 持続的な開発目標[SDGs]についてどう感じていますか



5 今後の計画づくりのため、項目ごとの実感度等をお伺いします

問 2 5. 次のそれぞれの項目の実感度をお選びください（1つに○）。また、あなたの幸せにとって特に重要な項目を3つ選び、第1位から第3位までの順位をお付けください。

■集計方法

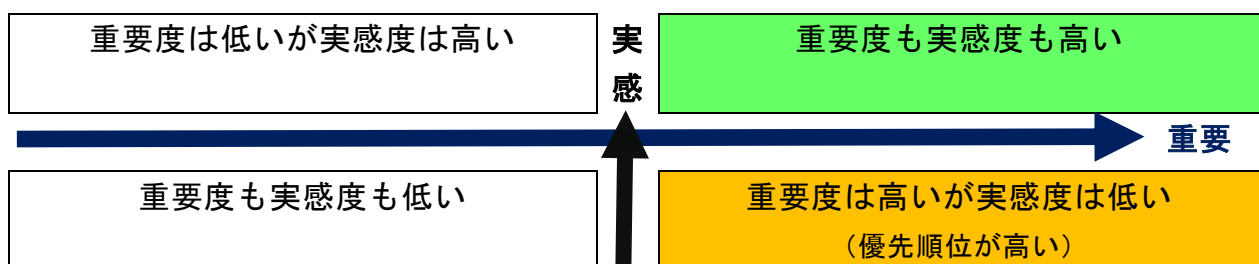
実感度及び順位における平均点の算出方法については、下表に示すように項目の各選択肢に点数を付け、回答者数を乗じたものの合計値を全体の回答者数で除して算出した。ただし、「わからない」「無回答」の回答者については対象から除外した。

【1】実感度	点数	【2】重要度（順位）	点数
大に感じる	6点	1位	10点
少し感じる	5点	2位	9点
どちらでもない	4点	3位	8点
あまり感じない	3点		
全く感じない	2点		
分からない	1点		

散布図について：

縦軸は【1】実感度の平均値、横軸は【2】重要度（順位）の平均値である。
図の右下（オレンジ色囲い）に位置する項目は、「重要度が高く、実感度が低い」となり、優先順位が高い項目となる。

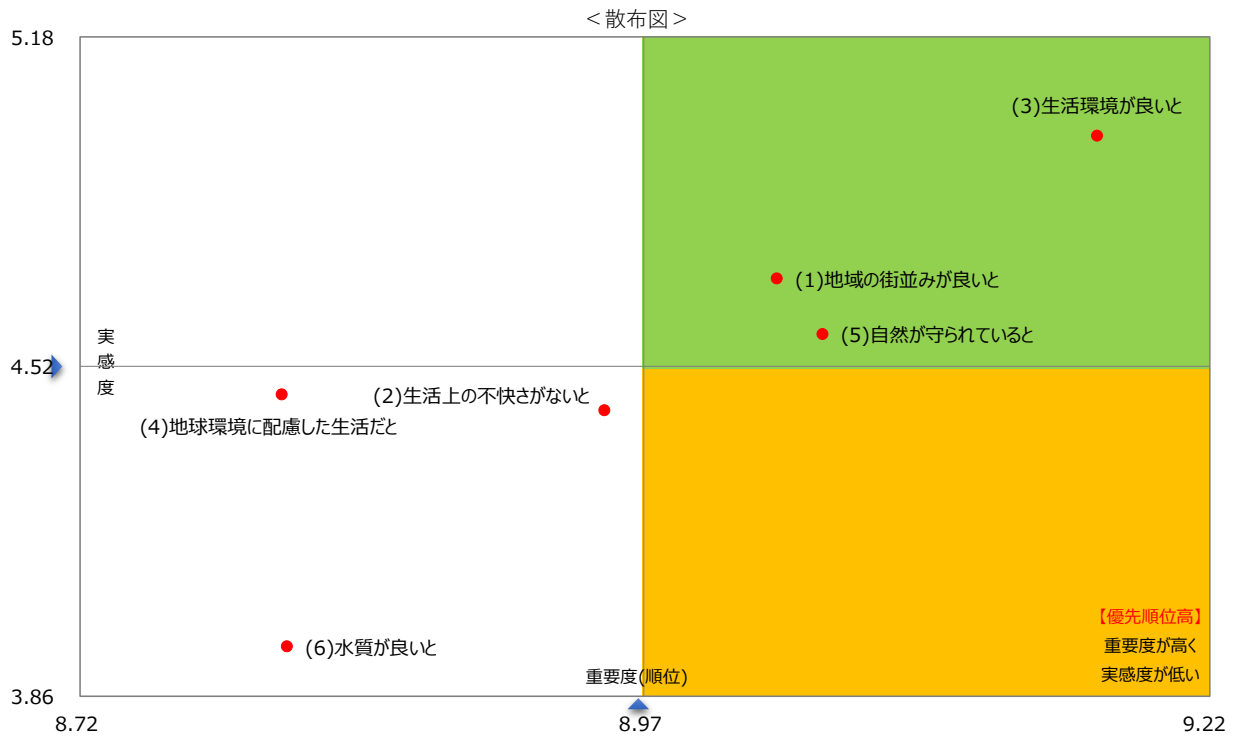
図の右上（緑色囲い）に位置する項目は、「重要度が高く、実感度も高い」項目であり、現状を維持に努める項目となる。



問 25 - 1. 環境分野

項目	【1】実感度								【2】重要度(順位)					
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明	平均	1位	2位	3位	不明	平均	
	6点	5点	4点	3点	2点	1点			10点	9点	8点			
環境分野	(1)地域の街並みが良いと	232	389	118	131	28	10	57	4.70	144	115	134	572	9.03
	(2)生活上の不快感がないと	178	336	151	181	47	8	64	4.44	111	193	133	528	8.95
	(3)生活環境が良いと	344	348	110	77	24	5	57	4.99	232	153	144	436	9.17
	(4)地球環境に配慮した生活だと	126	380	232	121	9	25	72	4.47	50	68	90	757	8.81
	(5)自然が守られていると	184	401	165	103	23	29	60	4.59	144	102	127	592	9.05
	(6)水質が良いと	95	266	243	182	40	76	63	3.96	44	91	86	744	8.81
		9.8	27.6	25.2	18.9	4.1	7.9	6.5		4.6	9.4	8.9	77.1	

(上段：回答数 下段：%)



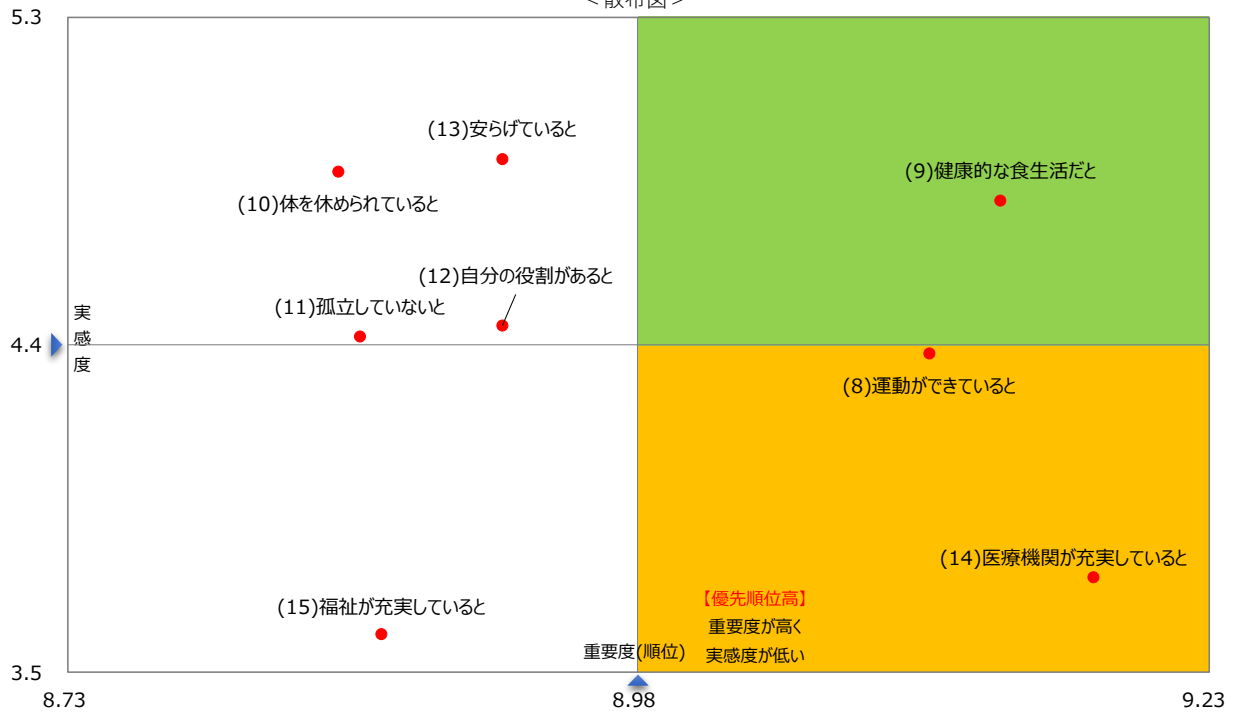
項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(1)地域の街並みが良いと	4.70	9.03
(2)生活上の不快感がないと	4.44	8.95
(3)生活環境が良いと	4.99	9.17
(4)地球環境に配慮した生活だと	4.47	8.81
(5)自然が守られていると	4.59	9.05
(6)水質が良いと	3.96	8.81
平均	4.52	8.97

問25-2. 健康・福祉分野

項目		【1】実感度							【2】重要度(順位)					
		大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明	平均	1位	2位	3位	不明	平均
		6点	5点	4点	3点	2点	1点			10点	9点	8点		
健康・福祉分野	(8) 運動ができていると	165	337	156	190	49	10	58	4.38	116	69	87	693	9.11
		17.1	34.9	16.2	19.7	5.1	1.0	6.0	12.0	7.2	9.0	71.8		
	(9) 健康的な食生活だと	222	422	159	76	15	15	56	4.79	140	134	90	601	9.14
		23.0	43.7	16.5	7.9	1.6	1.6	5.8	14.5	13.9	9.3	62.3		
	(10) 体を休められていると	242	416	137	73	15	9	73	4.86	47	82	78	758	8.85
		25.1	43.1	14.2	7.6	1.6	0.9	7.6	4.9	8.5	8.1	78.5		
	(11) 孤立していないと	187	294	215	142	46	16	65	4.43	64	62	95	744	8.86
		19.4	30.5	22.3	14.7	4.8	1.7	6.7	6.6	6.4	9.8	77.1		
	(12) 自分の役割があると	214	294	180	120	55	28	74	4.46	43	43	54	825	8.92
	22.2	30.5	18.7	12.4	5.7	2.9	7.7	4.5	4.5	5.6	85.5			
(13) 安らげていると	251	428	140	67	13	8	58	4.90	99	95	124	647	8.92	
	26.0	44.4	14.5	6.9	1.3	0.8	6.0	10.3	9.8	12.8	67.0			
(14) 医療機関が充実していると	71	228	194	278	111	18	65	3.80	151	122	87	605	9.18	
	7.4	23.6	20.1	28.8	11.5	1.9	6.7	15.6	12.6	9.0	62.7			
(15) 福祉が充実していると	45	233	253	208	41	117	68	3.65	49	101	79	736	8.87	
	4.7	24.1	26.2	21.6	4.2	12.1	7.0	5.1	10.5	8.2	76.3			

< 散布図 >

(上段：回答数 下段：%)

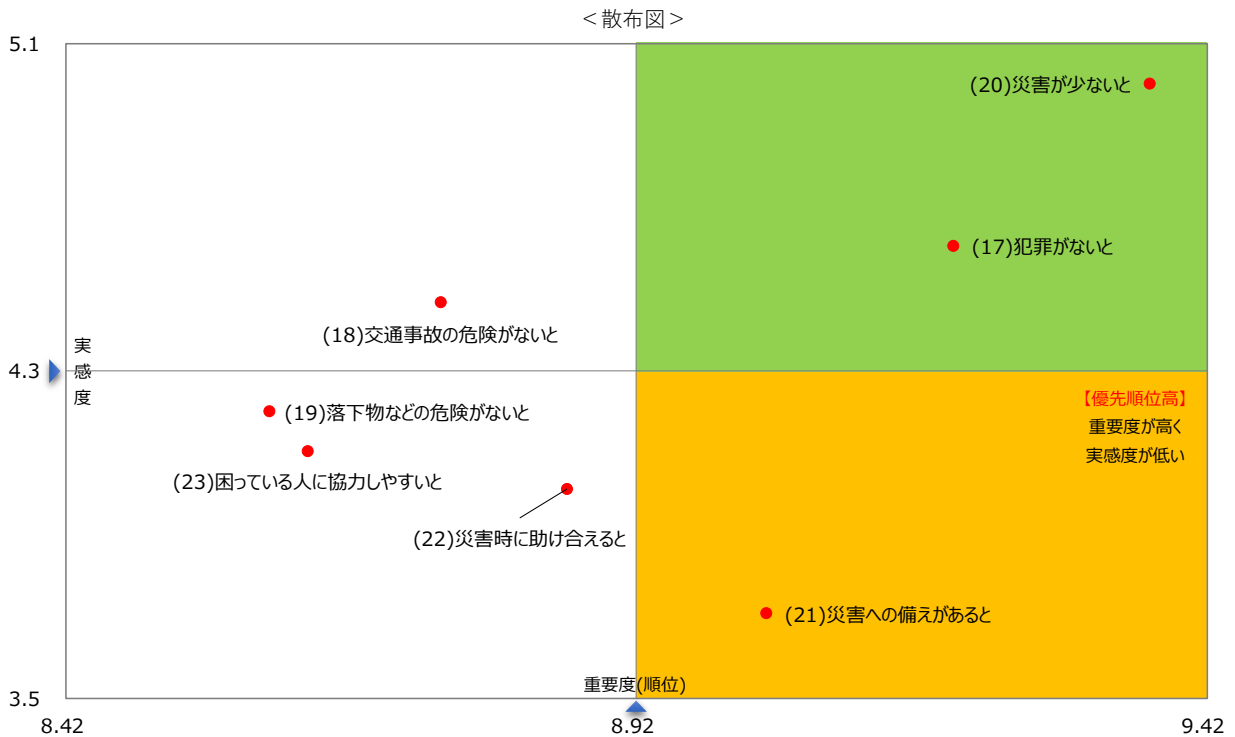


項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(8) 運動ができていると	4.38	9.11
(9) 健康的な食生活だと	4.79	9.14
(10) 体を休められていると	4.86	8.85
(11) 孤立していないと	4.43	8.86
(12) 自分の役割があると	4.46	8.92
(13) 安らげていると	4.90	8.92
(14) 医療機関が充実していると	3.80	9.18
(15) 福祉が充実していると	3.65	8.87
平均	4.41	8.98

問25-3. 安全・安心分野

項目	【1】実感度								【2】重要度(順位)					
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明	平均	1位	2位	3位	不明	平均	
	6点	5点	4点	3点	2点	1点			10点	9点	8点			
安全・安心分野	(17) 犯罪がないと	180	410	192	84	13	28	58	4.64	204	156	112	493	9.19
	(18) 交通事故の危険がないと	150	370	215	113	23	23	71	4.49	35	118	98	714	8.75
	(19) 落下物などの危険がないと	121	313	269	88	13	81	80	4.22	15	27	53	870	8.60
	(20) 災害が少ないと	312	435	108	33	5	22	50	5.04	224	86	81	574	9.37
	(21) 災害への備えがあると	67	221	306	143	26	137	65	3.72	111	98	101	655	9.03
	(22) 災害時に助け合えると	91	299	238	154	51	66	66	4.03	72	130	117	646	8.86
	(23) 困っている人に協力しやすいと	82	332	249	152	35	54	61	4.12	36	80	124	725	8.63
		8.5	34.4	25.8	15.8	3.6	5.6	6.3		3.7	8.3	12.8	75.1	

(上段：回答数 下段：%)

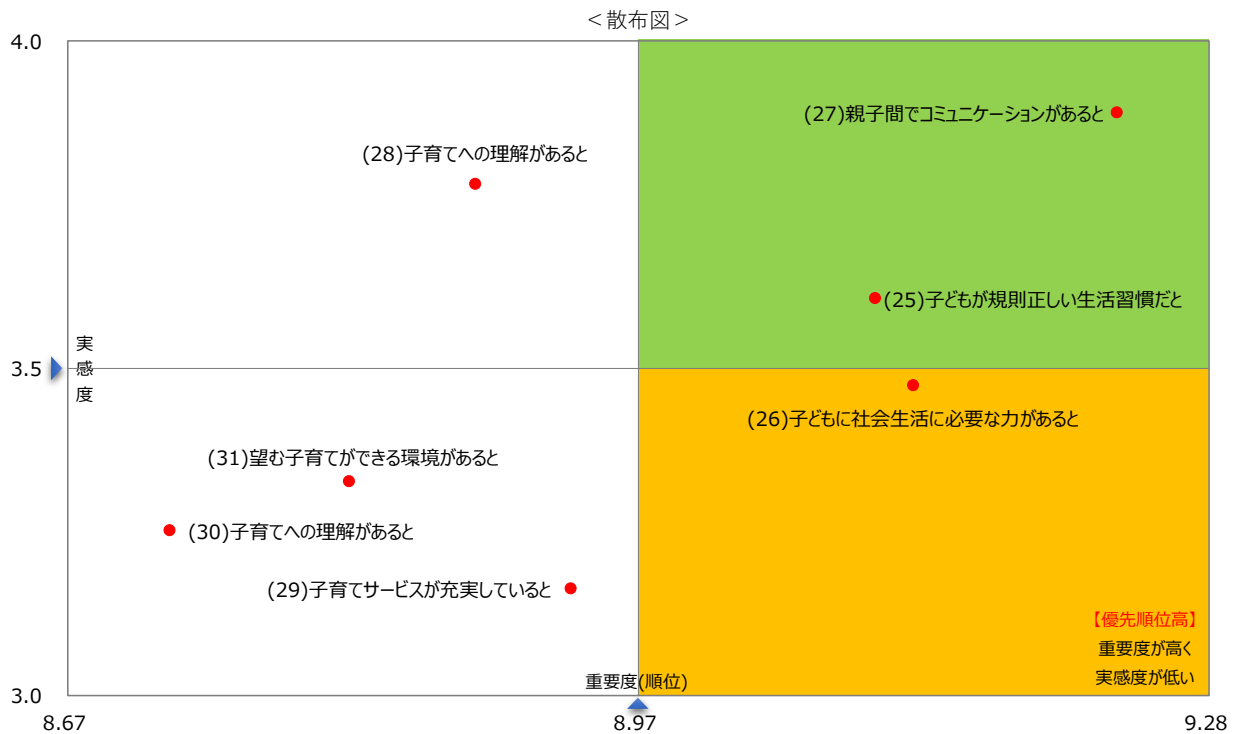


項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(17) 犯罪がないと	4.64	9.19
(18) 交通事故の危険がないと	4.49	8.75
(19) 落下物などの危険がないと	4.22	8.60
(20) 災害が少ないと	5.04	9.37
(21) 災害への備えがあると	3.72	9.03
(22) 災害時に助け合えると	4.03	8.86
(23) 困っている人に協力しやすいと	4.12	8.63
平均	4.32	8.92

問25-4. 教育・子育て分野

項目	【1】実感度								【2】重要度(順位)					
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明	平均	1位	2位	3位	不明	平均	
	6点	5点	4点	3点	2点	1点			10点	9点	8点			
教育・子育て分野	(25) 子どもが規則正しい生活習慣だと	76	273	192	56	11	229	128	3.59	107	69	81	708	9.10
		7.9	28.3	19.9	5.8	1.1	23.7	13.3		11.1	7.2	8.4	73.4	
	(26) 子どもに社会生活に必要な力があると	65	236	213	68	10	239	134	3.47	131	125	89	620	9.12
		6.7	24.5	22.1	7.0	1.0	24.8	13.9		13.6	13.0	9.2	64.2	
	(27) 親子間でコミュニケーションがあると	130	256	198	41	5	195	140	3.85	136	90	68	671	9.23
		13.5	26.5	20.5	4.2	0.5	20.2	14.5		14.1	9.3	7.0	69.5	
	(28) 子育てへの理解があると	119	237	206	43	6	207	147	3.75	35	70	53	807	8.89
		12.3	24.6	21.3	4.5	0.6	21.5	15.2		3.6	7.3	5.5	83.6	
(29) 子育てサービスが充実していると	32	158	239	135	27	235	139	3.19	94	97	113	661	8.94	
	3.3	16.4	24.8	14.0	2.8	24.4	14.4		9.7	10.1	11.7	68.5		
(30) 子育てへの理解があると	34	184	243	114	15	238	137	3.27	36	94	100	735	8.72	
	3.5	19.1	25.2	11.8	1.6	24.7	14.2		3.7	9.7	10.4	76.2		
(31) 望む子育てができる環境があると	43	184	253	84	22	227	152	3.34	46	43	76	800	8.82	
	4.5	19.1	26.2	8.7	2.3	23.5	15.8		4.8	4.5	7.9	82.9		

(上段：回答数 下段：%)



項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(25) 子どもが規則正しい生活習慣だと	3.59	9.10
(26) 子どもに社会生活に必要な力があると	3.47	9.12
(27) 親子間でコミュニケーションがあると	3.85	9.23
(28) 子育てへの理解があると	3.75	8.89
(29) 子育てサービスが充実していると	3.19	8.94
(30) 子育てへの理解があると	3.27	8.72
(31) 望む子育てができる環境があると	3.34	8.82
平均	3.50	8.97

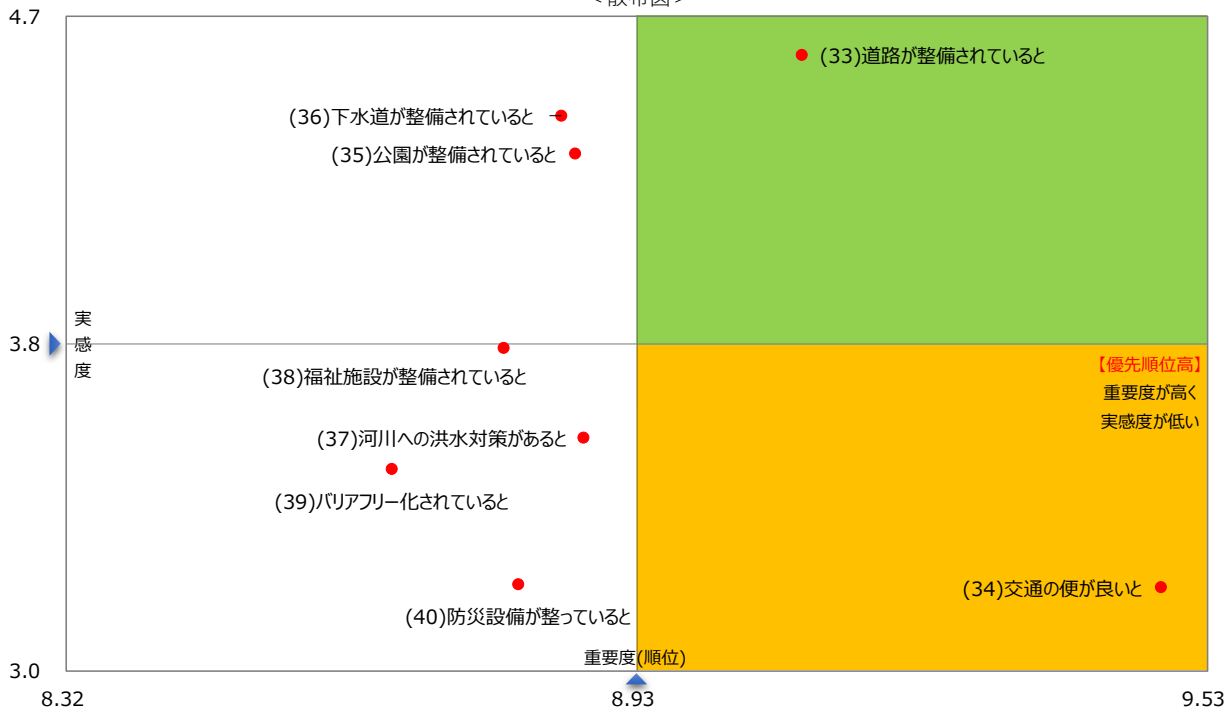
問25-5. 土地利用・まちづくり分野

項目	【1】実感度							平均	
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明		
	6点	5点	4点	3点	2点	1点			
土地利用・まちづくり分野	(33) 道路が整備されていると	152	412	156	120	28	11	86	4.58
		15.8	42.7	16.2	12.4	2.9	1.1	8.9	
	(34) 交通の便が良いと	35	105	159	308	263	17	78	3.20
		3.6	10.9	16.5	31.9	27.3	1.8	8.1	
	(35) 公園が整備されていると	122	346	200	152	58	12	75	4.32
		12.6	35.9	20.7	15.8	6.0	1.2	7.8	
	(36) 下水道が整備されていると	186	354	159	85	23	75	83	4.42
		19.3	36.7	16.5	8.8	2.4	7.8	8.6	
	(37) 河川への洪水対策があると	49	256	229	142	31	171	87	3.59
	5.1	26.5	23.7	14.7	3.2	17.7	9.0		
(38) 福祉施設が整備されていると	66	293	224	149	31	125	77	3.82	
	6.8	30.4	23.2	15.4	3.2	13.0	8.0		
(39) バリアフリー化されていると	45	229	247	142	36	180	86	3.51	
	4.7	23.7	25.6	14.7	3.7	18.7	8.9		
(40) 防災設備が整っていると	27	164	274	147	33	234	86	3.21	
	2.8	17.0	28.4	15.2	3.4	24.2	8.9		

【2】重要度(順位)					平均
1位	2位	3位	不明		
10点	9点	8点			
110	106	80	669	9.10	
11.4	11.0	8.3	69.3		
279	91	67	528	9.49	
28.9	9.4	6.9	54.7		
44	77	71	773	8.86	
4.6	8.0	7.4	80.1		
61	63	95	746	8.84	
6.3	6.5	9.8	77.3		
48	82	75	760	8.87	
5.0	8.5	7.8	78.8		
45	105	99	716	8.78	
4.7	10.9	10.3	74.2		
13	45	49	858	8.66	
1.3	4.7	5.1	88.9		
67	92	124	682	8.80	
6.9	9.5	12.8	70.7		

(上段：回答数 下段：%)

< 散布図 >

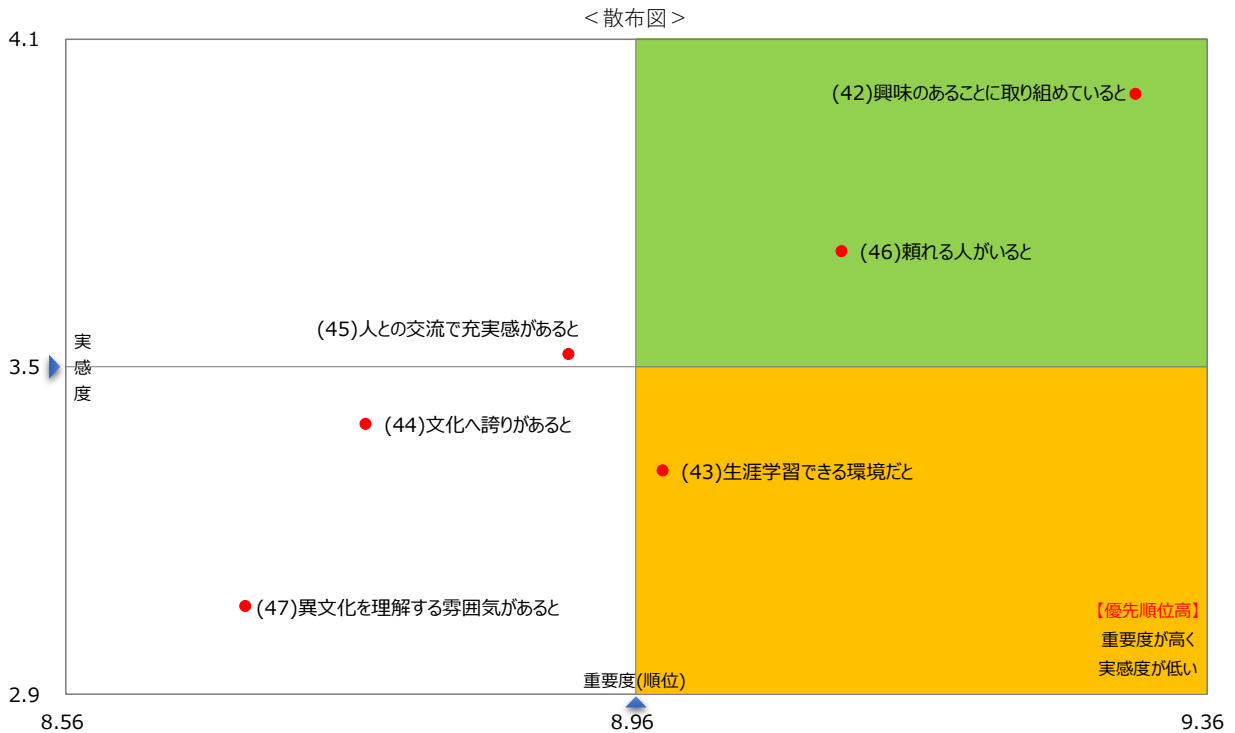


項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(33)道路が整備されていると	4.58	9.10
(34)交通の便が良いと	3.20	9.49
(35)公園が整備されていると	4.32	8.86
(36)下水道が整備されていると	4.42	8.84
(37)河川への洪水対策があると	3.59	8.87
(38)福祉施設が整備されていると	3.82	8.78
(39)バリアフリー化されていると	3.51	8.66
(40)防災設備が整っていると	3.21	8.80
平均	3.83	8.93

問25-6. 文化・人権分野

項目	【1】実感度								【2】重要度(順位)					
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明	平均	1位	2位	3位	不明	平均	
	6点	5点	4点	3点	2点	1点			10点	9点	8点			
文化・人権分野	(42) 興味のあることに取り組んでいると	103	275	234	164	46	64	79	4.04	236	100	102	527	9.31
		10.7	28.5	24.2	17.0	4.8	6.6	8.2		24.5	10.4	10.6	54.6	
	(43) 生涯学習できる環境だと	28	149	260	242	56	140	90	3.35	82	158	90	635	8.98
		2.9	15.4	26.9	25.1	5.8	14.5	9.3		8.5	16.4	9.3	65.8	
	(44) 文化へ誇りがあると	26	156	279	235	79	104	86	3.43	63	63	120	719	8.77
		2.7	16.2	28.9	24.4	8.2	10.8	8.9		6.5	6.5	12.4	74.5	
	(45) 人との交流で充実感があると	38	197	261	213	91	89	76	3.56	89	125	119	632	8.91
	3.9	20.4	27.0	22.1	9.4	9.2	7.9		9.2	13.0	12.3	65.5		
(46) 頼れる人がいると	59	240	228	206	72	76	84	3.75	118	103	87	657	9.10	
	6.1	24.9	23.6	21.3	7.5	7.9	8.7		12.2	10.7	9.0	68.1		
(47) 異文化を理解する雰囲気があると	20	118	275	179	80	201	92	3.10	34	62	94	775	8.68	
	2.1	12.2	28.5	18.5	8.3	20.8	9.5		3.5	6.4	9.7	80.3		

(上段：回答数 下段：%)

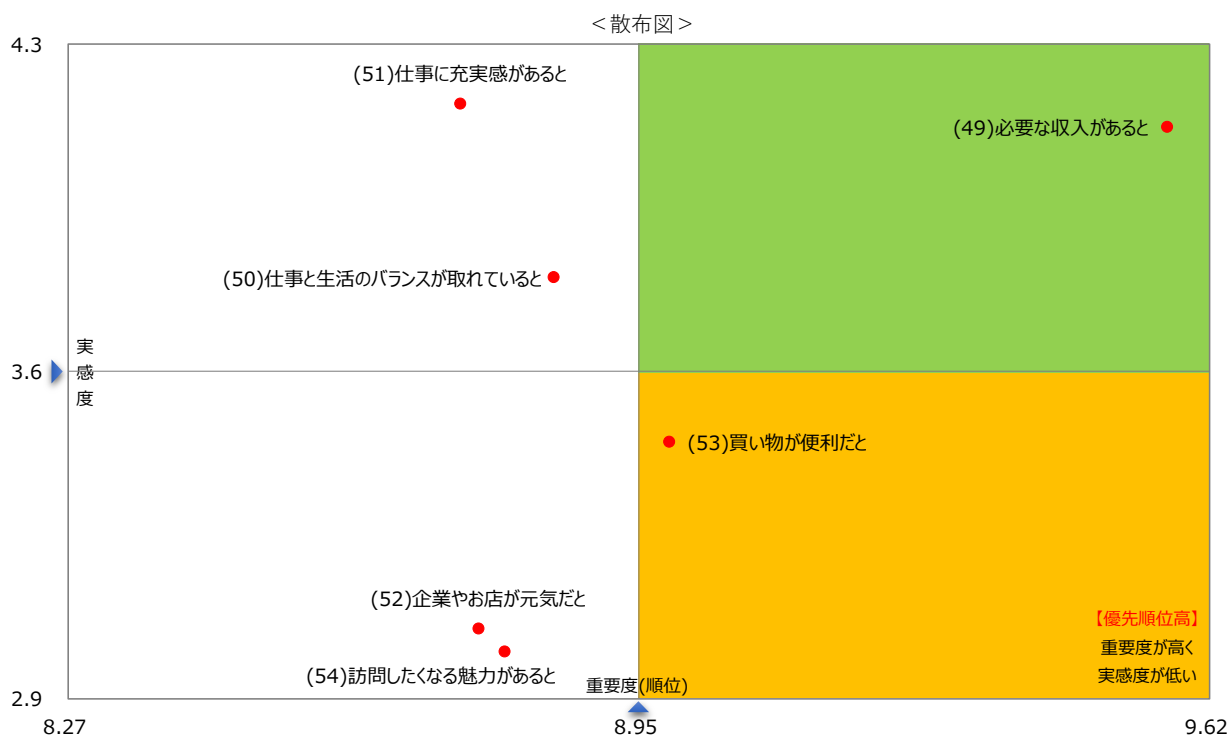


項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(42) 興味のあることに取り組んでいると	4.04	9.31
(43) 生涯学習できる環境だと	3.35	8.98
(44) 文化へ誇りがあると	3.43	8.77
(45) 人との交流で充実感があると	3.56	8.91
(46) 頼れる人がいると	3.75	9.10
(47) 異文化を理解する雰囲気があると	3.10	8.68
平均	3.54	8.96

問25-7. 産業・労働・活力分野

項目	【1】実感度								【2】重要度(順位)					
	大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明	平均	1位	2位	3位	不明	平均	
	6点	5点	4点	3点	2点	1点			10点	9点	8点			
産業・労働・活力分野	(49) 必要な収入があると	90	325	214	147	73	37	79	4.11	313	75	58	519	9.57
		9.3	33.7	22.2	15.2	7.6	3.8	8.2		32.4	7.8	6.0	53.8	
	(50) 仕事と生活のバランスが取れていると	65	252	242	146	59	97	104	3.80	49	144	93	679	8.85
		6.7	26.1	25.1	15.1	6.1	10.1	10.8		5.1	14.9	9.6	70.4	
	(51) 仕事に充実感があると	93	292	286	110	37	51	96	4.16	47	98	116	704	8.74
		9.6	30.3	29.6	11.4	3.8	5.3	9.9		4.9	10.2	12.0	73.0	
	(52) 企業やお店が元気だと	16	69	182	368	180	66	84	3.06	49	114	117	685	8.76
	1.7	7.2	18.9	38.1	18.7	6.8	8.7		5.1	11.8	12.1	71.0		
(53) 買い物 convenientだと	38	171	173	296	190	18	79	3.45	100	143	106	616	8.98	
	3.9	17.7	17.9	30.7	19.7	1.9	8.2		10.4	14.8	11.0	63.8		
(54) 訪問したくなる魅力があると	16	94	164	298	240	73	80	3.02	73	51	126	715	8.79	
	1.7	9.7	17.0	30.9	24.9	7.6	8.3		7.6	5.3	13.1	74.1		

(上段：回答数 下段：%)



項目	【1】実感度 平均値	【2】重要度 平均値
(49)必要な収入があると	4.11	9.57
(50)仕事と生活のバランスが取れていると	3.80	8.85
(51)仕事に充実感があると	4.16	8.74
(52)企業やお店が元気だと	3.06	8.76
(53)買い物が便利だと	3.45	8.98
(54)訪問したくなる魅力があると	3.02	8.79
平均	3.60	8.95

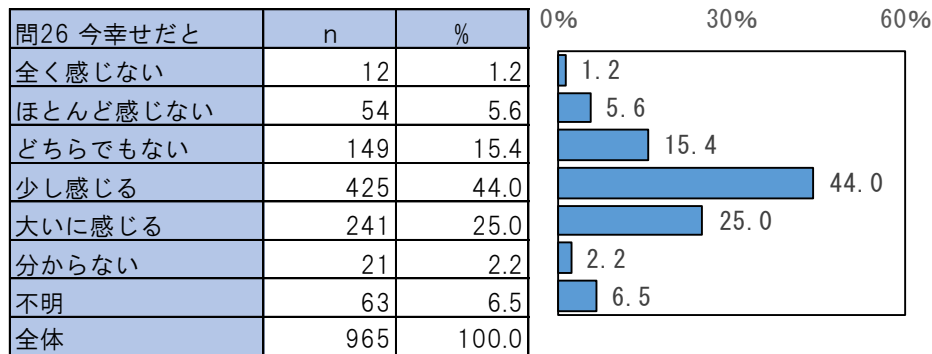
問25-8. 総合な評価（実感度）

項目		【1】実感度							平均	
		大いに感じる	少し感じる	どちらでもない	あまり感じない	全く感じない	分からない	不明		
		6点	5点	4点	3点	2点	1点			
各分野総合	(7) 総合的に暮らしやすい生活環境だと	177	419	157	86	21	3	102	4.74	1位
		18.3	43.4	16.3	8.9	2.2	0.3	10.6		
	(16) 総合的に健康的な生活が送れていると	150	396	182	71	9	17	140	4.67	2位
		15.5	41.0	18.9	7.4	0.9	1.8	14.5		
	(24) 総合的に安全・安心だと	114	405	215	65	8	38	120	4.52	3位
		11.8	42.0	22.3	6.7	0.8	3.9	12.4		
	(32) 総合的に子どもが健やかに成長していると	85	247	181	42	7	160	243	3.84	5位
		8.8	25.6	18.8	4.4	0.7	16.6	25.2		
(41) 総合的によいまちづくりだと	34	266	254	149	26	89	147	3.84	4位	
	3.5	27.6	26.3	15.4	2.7	9.2	15.2			
(48) 総合的に、文化やふれあいが充実していると	34	172	234	197	62	84	182	3.57	7位	
	3.5	17.8	24.2	20.4	6.4	8.7	18.9			
(55) 総合的に、経済的な不安なく便利な生活だと	55	190	222	234	103	24	137	3.74	6位	
	5.7	19.7	23.0	24.2	10.7	2.5	14.2			

(上段：回答数 下段：%)

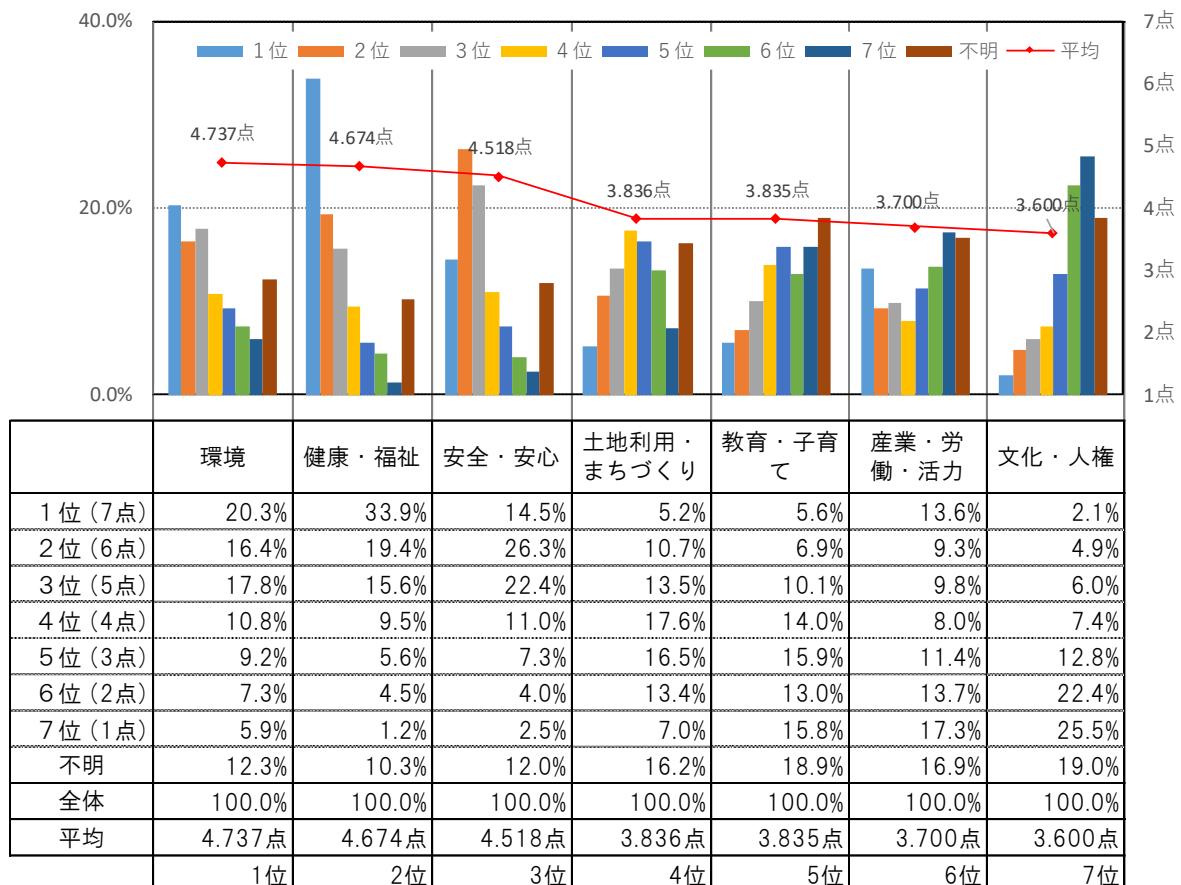
6 現在の幸福度や今後幸せを感じるために必要なことをお伺いします

問26. あなたは今幸せだと感じますか？あなたの実感に最も近いもの一つに○を付けてください。



問27. 次の7つの分野について、今後あなたが幸せとを感じるために重要な順に1～7の順位を付けてください。

問27. 幸せに必要な順



(A) 回答者が多かった属性

(単純推計で強く表れるので、クロス集計で少数の属性を要把握)

- ・ 鳩山ニュータウンの持ち家に 30 年以上在住。
- ・ 年齢は 60 歳代以上。
- ・ 職業は無職。
- ・ 18 歳以上の子供はおらず、夫婦のみか、成人した子供と 2 世代で居住。
- ・ 町への愛着が高く、住みやすく、今後も住み続けたいと感じている。
- ・ 世帯年収は、200 万円以上 400 万円未満。
- ・ 町外の生活圏は、坂戸、東松山の順。
- ・ 情報を得る手段 (複数選択) は、広報はとやまが圧倒的に多く、次に、議会だより、知人友人家族からの話の順に多い。

(B) 幸福度 (今回初めて質問した)

- ・ 約 7 割の町民が今幸せと感じている。(大いに感じる 25% + 少し感じる 44% = 69%)
- ・ 幸せを感じていないのは 6.8% (全く感じない 1.2% + ほとんど感じない 5.6%) と僅か。
- ・ どちらでもないが 15.4%

⇒ (幸せ度の) クロス集計**【地区別】**

- ・ 少し感じる + 大いに感じるは、鳩ヶ丘 (76.5%)、楓ヶ丘 (74.4%)、大豆戸 (73.1%) 地区の順に高い。
 - ・ 大いに感じるは、大豆戸 (30.8%)、泉井 (30.8%)、鳩ヶ丘 (30.6%)、松ヶ丘 (30.1%) の順に高い。
- ※ 楓ヶ丘は、少し感じるが 55.0% と最多。松ヶ丘は少し感じるが 37.2%

【年齢別】

- ・ 少し感じる + 大いに感じるでは年齢が上の方が高い傾向。
- (60 歳代で 77.0%、50 歳代で 70.8%、30 歳代で 70.5%、70 歳代で 70.2%、10 歳代で 66.6%、20 歳代で 57.8%、40 歳代及び 80 歳代以上で 60%)
- ・ 大いに感じるは、若者の方が高い傾向。
- (10 歳代で 33.3%、60 歳代で 30.5%、20 歳代で 28.9%、40 歳代で 27.4%、70 歳代で 24.9%、50 歳代で 22.0%、30 歳代で 18.0%、80 歳代以上で 16.2%)
- ・ 30 歳代以降は「少し感じる」が最多。

⇒コメント

・幸福実感都市を掲げる東京都内の区の幸せ実感度は51.6%（大いに感じる15.9%＋少し感じる35.7%＝51.6%）であり、本町の69%はこれより17.4%も高く、町政の方向性が概ね良いことが確認できた。

・次のステップとして考えられることは、

- ・クロス分析により、幸せを感じていない人の要因を把握しフォロー
- ・クロス分析により、大豆戸、泉井、鳩ヶ丘、松ヶ丘地区の幸せの要因を把握し、他地区へ展開

(C) 分野別実感度 と 今後幸せと感ずるために重要な分野

実感度が高い順	今後あなたが幸せと感ずるために重要な順	分析
1. 暮らしやすい生活環境 2. 健康的な生活 3. 安全・安心 ※1～3の実感度は高い。	1. 環境 2. 健康・福祉 3. 安全・安心 ※1～3の支持率は高い。 ※最も重要との回答の第1位は健康・福祉。	・このままの暮らしが続くことを望んでいると思われる。 （実際、今の暮らしのままが良いという自由記述が散見） ・今幸せと感ずっている人が69%いるのもこれを裏付けている。 ⇒町の強みであり、現状維持に努める
4. よいまちづくり 5. 子供が健やかに成長 6. 経済的な不安なく、便利な生活 7. 文化やふれあいが充実	4. 土地利用・まちづくり 5. 教育・子育て 6. 産業・労働・活力 7. 文化・人権	・弱点強化として、重点的に取り組む必要がある

⇒分析

分野別実感度と、今後幸せと感ずるために重要な分野が一致している。

⇒コメント

・現行の町政を維持しつつ、弱点を強化していく必要がある。

⇒注

幸せに重要な順は、他自治体では、「安全・安心」が年代を問わずトップ、次に現役世代を中心に「産業」。若い世代で順位の高い「子育て・教育」が、年代が上がるほど「健康」にウェイトが移っていく。

⇒コメント

・本町の、「環境」の重要度が高く「産業」の重要度が低い点は特徴的と言える。
 ⇒本町で、「健康」の重要度が高く、「子育て」の重要度が低いのは、高齢者が多く、現役世代や子供が少ない構成のためと思われ、子育て施策も必要。

(D) 分野別実感度の評価が高い人（クロス集計結果）

1. 暮らしやすい生活環境だと感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、10歳代、 ・NT在住、集合住宅にお住まい ・兄弟や子供とお住まい ・職業は派遣職員、自営業者の家族
2. 健康的な生活だと感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、10歳代・70歳代 ・誰かと一緒に住んでいる（兄弟＞夫婦＞3世代＞親子） ・職業は、学生＞家事専業＞自営業者の家族
3. 安全・安心だと感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、10歳代、竹本・泉井在住、集合住宅にお住まい ・兄弟とお住まい、自営業者の家族とお住まい ・職業は学生 ・年収が高いほど高評価
4. よいまちづくりだと感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・男性 ・10歳代が高い、30歳代40歳代はどちらでもない方が最多。あまり感じないのは50歳代、30歳代、60歳代の順。 ・泉井、NT、今宿、小用の順。 ・あまり感じないのは熊井、竹本、石坂、須江の順。 ・兄弟とお住まい＞夫婦でお住まい＞一人暮らしの順 ・子供がいる ・職業は、会社員・公務員＞主婦＞無職＞学生 ・集合住宅にお住まい
5. 子供が健やかに成長していると感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・女性 ・10歳代が特に高いが、40歳代まで肯定的（高齢になるほど「分からない」の率が高まる） ・泉井・高野倉・竹本在住 ・3世代以上でお住まい＞2世代でお住まい＞ ・子供がいる ・職業は学生 ・年収800～1千万円の世帯 ・集合住宅にお住まい
6. 経済的な不安なく、便利な生活だと感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・女性 ・10歳代は感じ、20歳～40歳代は苦しく、50歳～70歳代は感じ、80歳代から苦しい。60歳代70歳代は苦しい人も多く、二極化。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉井・小用・今宿・NT・石坂在住 ・ 低いのは奥田・須江・竹本在住 ・ 兄弟とお住まい>夫婦のみでお住まい ・ 子供がいる ・ 全く感じないが多い職業は派遣職員 ・ 年収が多い方が肯定的 ・ 一戸建て（持ち家）
7. 文化やふれあいが充実していると感じている人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性 ・ 10歳代は高く、20歳～50歳代までは低く、60歳代以上は改善 ・ 泉井・熊井・奥田・竹本在住 ・ 兄弟とお住まい、子供がいる ・ 職業は、自営業主の家族、家事専業 ・ 一戸建てにお住まい

⇒分析

女性、10歳代、兄弟や子供とお住まい、自営業者の家族が高評価

⇒コメント

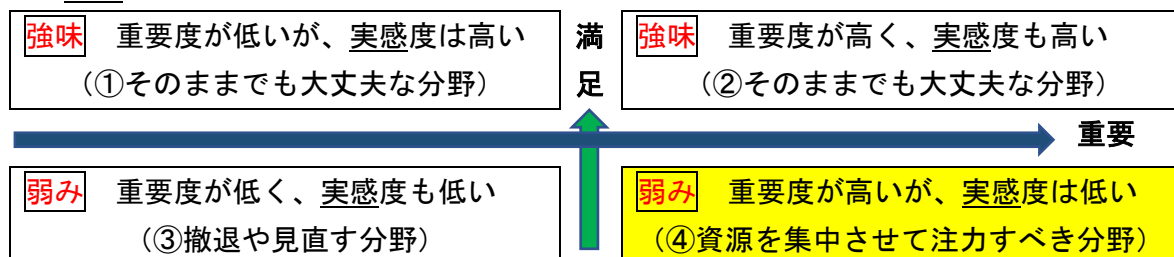
・ 実感していない年齢層や地域への事業を展開することが考えられる。

⇒注

・ 他の複数の自治体の調査における「幸せを感じやすい人」の共通項は、「女性、専業主婦、学生、会社役員、配偶者有、子供有、高収入、他人とでなく理想の自分と比較する、人とのつながりが強い、健康、生活にゆとりがある、悩みや心配事がない、社会貢献している、ワークライフバランスがとれている」だったので、分析の下線部分は特徴的と言える。

(E) 項目別実感度と重要度

・ プロダクトポートフォリオマトリックスにヒントを得た、重要度、実感度マトリックス（重要度と実感度を尺度とした二次元マップ）は、下記のとおりだが、



・アンケートの結果（カッコ内はクロス集計結果）は、下記のとおりだった。

<p>強味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の安らぎがある。 ・自分の役割がある、孤立していない。 ・交通事故の危険がない。 ・子育てへの理解がある。 ・下水道・公園が整備されている。 ・人との交流により充実している。 ・仕事が充実。 ・仕事と生活のバランスがとれている。 	<p>満足</p> 	<p>強味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食生活を送っている。 ・災害や犯罪が少ない。 ・親子間でコミュニケーションがある。 ・子供が規則正しい生活習慣である。 ・道路が整備されている。 ・興味のあることに取り組んでいる。 ・頼れる人がいる。 ・必要な収入がある。
		<p>重要</p> 
<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質が良くない。※水道を当然と認識？ ・福祉が未充実、福祉施設が未整備 ・生活が快適でない。 ・地球環境に配慮した生活でない。 ・落下物などの危険がある。 ・困っている人に協力しやすすくない。 ・災害時に助け合えない。 <p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望む子育て環境でない。 (子供がいる世帯、特に未就学児がいる世帯を除き、「どちらでもない」が多い。10歳代でも「どちらでもない」が最多。) ・地域に子育てへの理解・協力ががない。 (子供がいる世帯、特に未就学児がいる世帯を除き、「どちらでもない」が多い。10歳代や20歳代は「理解・協力があると感じる」が多い。) <p>子育てサービス・施設が未充実。 (子供がいる世帯は「充実していると少し感じる」が最多。10歳代や20歳代は肯定的だが、10歳代でも「どちらでもない」が最多。居住年数が長い程、「どちらでもない」が多く、家族がいたり、3世代同居の方が「充実している」と回答)</p>		<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が出来ていない。 (竹本・小用・今宿地区) ・医療機関が充実していない。 (奥田・須江・高野倉・熊井・石坂地区) <p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便 (10歳代・20歳代、高野倉・奥田・須江・泉井地区) ・交通が不便 (10歳代・20歳代、熊井・高野倉地区) ・災害への備えがない。 (熊井・奥田・今宿・須江地区) ・子供に社会生活に必要な力がない (竹本・石坂地区) ・生涯学習環境が整っていない。 (奥田・須江・竹本地区)

※子育て世代での評価は低くないが、高齢者が多い母集団のため、身近でない子育て関係の重要度も実感度も低くなりがち。

- ・ 河川の洪水対策、防災設備が不備
- ・ バリアフリー化が不備
- ・ 文化への誇り、異文化への理解がない
- ・ 企業や店が元気でない。
- ・ 訪問したくなる魅力に乏しい

満足

⇒コメント

・「資源を集中させて注力すべき分野」に挙げられている事項について、かっこ内の人を意識した事業に努めることが考えられる。

(F) まちの魅力

自然景観が豊か、静かで心が休まる、地震に強い、治安が良い

⇒コメント

・ 将来像などに活かす。

(G) まちの魅力に欠ける点

交通が不便、通勤・通学・買い物が不便、働く場や機会が少ない、医療機関や福祉サービスが不足

⇒コメント

・ 前述のとおり、クロス集計により低評価の属性への対策を検討

(H) 町税減収と高齢化による支出増への対策

- ・ 「町民サービス水準の見直さざるを得ない」を選択した人が最多（37.6%）の一方で、「行政サービスの水準が下がるのは困る」が次に多かった（31.8%）。
- ・ 「行政サービスの水準を維持するには町民の負担が必要ですがどれを選択しますか？」の設問については、「サービス提供面での町民参加が最多（64.5%）」で、「税率等の引上げ」は18.9%、「その他」が9.4%いた。
- ・ しかし、その他の内訳は町民負担でなく、企業誘致、事業縮小（無駄の削減）、人口増加、議・職員の削減、市町村合併、サービスを選択制に、特産品開発、観光収入、ふるさと納税、循環バス見直しなど。
- ・ 更なる財源確保としては、企業誘致（57.7%）、収入のある人の移住（19.5%）、ふるさと納税（13.0%）の順に多く、その他は、市町村合併、移住推進、議員・職員の報酬・給料削減、太陽光発電施設建設。

⇒コメント

・ サービス提供面での町民参加案を検討する。

【問28（あなたは8年後鳩山町がどのようになっていると幸せに感じますか）のまとめ】

⇒コメント

・将来像作成に活かす。

1. 自然・住環境に関すること

- ・ 良い意味で変わらない町
- ・ 自然豊かで静かな町
- ・ 美しい街並み、美しい自然が残る里山
- ・ 緑豊かな景観に囲まれ、誰もが健やかに気持ちよく暮らせる町
- ・ ゆったり過ごせ、老いも若きも各々の生活を楽しめる町
- ・ 豊かな自然環境に恵まれ、人間らしい安心して日々の暮らしが出来る環境に恵まれた町
- ・ (⇒クオリティ・オブ・ライフが高い町)
- ・ ワークライフバランスがとれている町
- ・ 緑が多く、外から人がリフレッシュに来る美しい町
- ・ 都内や近隣から遊びに行ける町
- ・ 風光明媚なりモートワークに適した町
- ・ 歩いてほっとする町
- ・ 豊かな自然が維持され、人々が明るく心豊かに生きられる町
- ・ 豊かな緑や清流のある自然環境のもと若い人が居住を求めて集まってくる町、
- ・ 住みやすい町
- ・ (災害時も) 安心、安全、豊かな環境で生活できる街
- ・ 高齢者にも子育て世代にも住みやすい・暮しやすい町

2. 高齢者に関すること

- ・ 老後をゆっくり過ごせる町
- ・ 介護を要しても自宅で過ごせる町
- ・ 高齢者も元気で暮らせ活発で安全な町
- ・ 日本一元気な高齢者が多い町

3. 人に関すること

- ・ 人と人との絆がある町
- ・ 誰もが協働し、助け合える協力しあえる豊かな町
- ・ 他からの人々を受け入れる多様性のある町
- ・ 努力する町民がいる町

4. 子供・若者に関すること

- ・ 子育てしやすく住むのに良い町
- ・ 子供の声が聞こえる町

- ・若者にも受け入れられる町
- ・自然と共存しながら子育て世代が伸び伸びと生き生き暮らせる町
- ・未来を任せる子供たちが心豊かに生活し成長していける町

5. 利便性・活気に関すること

- ・交通も買い物も便利な町
- ・適度に賑わいがある豊かな町
- ・便利で福祉が充実した町
- ・活気のある町

6. 町の規模に関すること

- ・小規模ながらキラキラの美しく住みやすい町
- ・小さいながら頑張っている町
- ・少人数でも静かで人情豊かな里山

7. その他に関すること

- ・納税者が増える町

【問 28（それを実現するには行政や町民がどうすればよいと思いますか）のまとめ】

⇒コメント

・ 事業に活かす。

1. 自然・住環境に関すること

- ・自然を楽しめるイベント、自然を生かした教育を行う
- ・安易な開発禁止
- ・工場誘致反対
- ・今のまま、良い意味で変わらない。
- ・自然とアートの融合
- ・自然との交流共存
- ・ESG企業の誘致

⇒コメント

・ ESG経営（人権・ワークライフバランス・多様性・情報開示）

2. 高齢者に関すること

- ・心身共に健康（健康維持のためのイベント参加者へポイントの提供）
- ・（無人）移動販売を導入
- ・医療介護の充実、在宅ケア在宅医療、訪問看護、食事配送の充実（⇒終の棲家の位置付）
- ・老人活用ボランティア（遊歩道・遊び場をシニアが整備、健康な老人に除草を任せる）

の拡充

- ・ 70 歳以上で働ける場の創出、シルバー世代の収入確保対策、シルバー事業の立ち上げ
- ・ 高齢者に優しい事業の実施
- ・ 老人の居場所・メンター創出、老人への、老人のやりがい創出
- ・ 子供や孫と住めるようにする
- ・ 老人と若い人との交流事業実施
- ・ 認知症になっても住めるようにする
- ・ 専門医の医療機関の誘致
- ・ 元気で健康で自立した生活ができるように
- ・ ウォーキングや軽い運動が出来る施設の整備
- ・ 安全・安心・福祉に重点を置く
- ・ 高齢者向け集合住宅の整備
- ・ 福祉サービスの向上

3. 人に関すること

- ・ 行政と住民がともに住み良い町を作っていこうという気持ちを持つ
- ・ 思いやり感謝協力の心の育成
- ・ 生き甲斐、充実感の創出
- ・ 近隣の方とコミュニケーション促進（コミュニティの充実）
- ・ 町民同士が助け合うようにする。
- ・ 町民が 1 年準備する必要があるイベントを実施し、町民同士のつながりが感じられるようにする
- ・ 町民は広く町民全体の幸せを考えることで自分自身の幸せに繋がることに目覚め、使用料を受益者負担する
- ・ 自分で努力する
- ・ ご近所 100 円助け合いサポートセンターを作る
- ・ 各種テーマでの学習機会を持つ
- ・ 町民が町を綺麗にする活動をする
- ・ 住民が愛着をもてる取組を行う
- ・ 入り過ぎず遠くから見守る
- ・ 何時でも行ける寄合所の整備

4. 子供・若者に関すること

- ・ 若者視点、若い人が興味を持つことをやる
- ・ 大学生シェアハウスを作る
- ・ 子供（人々）の個性・自由が尊重されている社会にする
- ・ 出生お祝金や出生費用援助制度を作る
- ・ おむつ代やミルク代の補助
- ・ 若い人が住めるマンションを整備（誘致）

- ・ゴルフ場を教育産業基地化
- ・学生に鳩山に住んでもらう
- ・小児科や皮膚科の誘致
- ・プレーパーク・公園の整備
- ・広い公園、児童館、託児所、町立幼稚園の3年化、習い事の充実
- ・(子供の) 貧困を無くす

5. 利便性・活気に関すること

- ・上熊井直売所を集客できるようにするとともに、直売所付近にフルーツ狩り、カフェ、レストランを作り人が呼べるように
- ・農村公園内にカフェ
- ・(農村) 公園の遊具の整備
- ・空家をカフェや雑貨屋に、休耕地に花を、町民に協力を求める
- ・マルシェ付近の空きテナントを埋める
- ・IT企業の誘致
- ・チェーン展開しているコーヒーショップ、レストランの誘致、
- ・大型商業施設を誘致し、ショッピングの充実
- ・飲食店の募集
- ・ドラッグストアの誘致
- ・蔦屋誘致
- ・物流企業の誘致
- ・マルシェを他に1、2箇所作り、年齢を問わず町おこしに参加できるようにする
- ・衣料品店、100円ショップの誘致
- ・店舗の充実
- ・ニュータウン商店街の充実
- ・マルシェのようなものを空き家を活用して他の場所に
- ・各町内会への駐車場整備
- ・休耕地での新規農業に優遇策、鳩山の寒暖差の多い気候に適した農産物の指導、集団農場化してレストラン整備
- ・ニュータウン⇄入西經由北坂戸駅、坂戸駅への路線バス導入、バスよりデマンド
- ・町内に衣類・雑貨店がないのでコモディイイダまで週1~2回バスが来て欲しい
- ・バスの最終便の繰り下げ
- ・高坂駅からの深夜の乗合バス
- ・通勤・通学者の補助
- ・交通網の充実
- ・バス増便
- ・循環バスを廃止し、デマンドの台数を増やす。値上げする
- ・にっさいへの買い物や専門病院に行けるように
- ・デマンドは隣町の医療機関や公民館へも行けるように

(川越観光のニュータウン線の、につさい経由、若葉へ延伸)

- ・川越観光の坂戸行きバスを10分に1本間隔に
- ・バスの早朝夜間の充実
- ・毛呂駅へのバス
- ・ピオニまでの直通便
- ・バス路線・デマンドは費用対効果を(30代女性)
- ・NT内徒歩で便利に生活できるように
- ・コモディイダ坂戸から「とくし丸」が来ているが、もっと価格面サービスが充実した引き売り業者の誘致
- ・7つの分野の実感度を高める
- ・ニュータウンと今宿以外の地域を便利に
- ・オープンガーデン巡りを報奨金を出して実施
- ・町内に働く場が欲しい
- ・空家を解体し町営駐車場にする
- ・病院誘致
- ・ふるさと納税の返礼品の拡大
- ・シンボルを作る
- ・ゴルフ場の利用促進
- ・土地利用の規制緩和を求める
- ・独居高齢者住宅を買い取り、若者に販売するとともに、一部を集合住宅にし高齢者を集め、ボランティアが手伝う
- ・農産物直売所も参加型のイベントを
- ・規制緩和を求め大規模開発
- ・6次産業の発展
- ・町内で収入が得られる場を作る
- ・地形を生かしたアスレチック
- ・くつろげる場所を作る
- ・施設・観光ツアー
- ・ゴルフ場の休みの日にゴルフ場を開放
- ・役場の仕事を町民へテレワークで分けて

6. 町の規模に関すること

- ・スマートシティ、AIによる防犯、高齢者の見守り、
- ・収支バランスをとる
- ・身の丈に合った、
- ・鳩山町のみでの行政では無理がある。市町村の枠を越えた協力、広域連携、市町村合併
- ・鳩山町は頑張っている
- ・ムダなこと(人が通らない歩道の整備)に金を使わない
- ・メリハリあるカネの使い方

- ・小さな行政、スリム化
- ・リストラしボランティアが担う
- ・議員数・職員数、特別職・議員・職員報酬を削減
- ・必要のない箱物を処分して身軽になる

7. 移住推進に関すること

- ・水が美味しく広い庭があることのアピール
- ・災害が少ないことをアピールし、被災者に移住を進める
- ・空家の更地化、耐震化の補助をする
- ・親から相続した家に住んでいない子の移住推進
- ・優先付けした予算配分（高齢者支援・税制面での優遇による移住推進）

⇒コメント

・地価が安いのに加え、都市計画税が無く、税が安い町のアピールによる移住推進

- ・住環境の宣伝
- ・企業誘致と誘致企業の従業員の住宅取得に優遇策
- ・テレワークの場としての企業誘致
- ・若者の転入促進
- ・土地が安く、交通も不便ではなく、つくば市より良い環境なのでリモートワークの出来る企業の職員誘致
- ・空家の近隣大学生への貸し出し、食事付きの学生寮を整備
- ・空き地の仲介をする
- ・教育の充実、子育て世代への補助、家賃〔持ち家〕補助、移住補助、出生祝金
- ・他にはない子育て環境をクラウドファンディングで資金を集めて実施
- ・自然環境、災害の少なさ、社会インフラ（下水・道路・公園）が安く得られることをアピール
- ・Uターン推進
- ・大学生の入居の推進
（～住民票を移さない場合が少なくないため、交付税にも税収にも繋がらない？）
- ・ニュータウンをヒルズタウンに改称
- ・NT建築協定を見直す
- ・字内の仕事を減らす
- ・ドッグラン整備
- ・災害・犯罪が少ないことのアピール
- ・住民税が高すぎるので引き下げ

⇒コメント

・鳩山の住民税は標準税率で、市街化区域内に都市計画税を課しておらず、むしろ住民税が安いことをアピール

- ・ 文化的な催しを行う
- ・ 人口増加を目指す
- ・ 医療の充実

8. その他に関すること

- ・ 財政収支を重視

(亀井地区は市街化調整区域で住宅が建ちにくいですが路線バスが空で走っている。新設した学童も利用者が少ない。農業する方も少ない。よって有効活用が必要)

- ・ 収入確保としては、長期的に企業誘致、短期的にふるさと納税
- ・ 特産品開発を行い収入を増やす
- ・ 今の鳩山町が好きなので町外からの移住を第一に考えるべきでない

鳩山町総合計画審議会条例

(昭和 48 年 4 月 5 日条例第 11 号)

(目的)

第 1 条 この条例は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、鳩山町総合計画審議会の設置、組織及び運営に関する事項を定めることを目的とする。

(設置)

第 2 条 町長の諮問に応じ、町の総合計画に関し、必要な調査及び審議を行うため、鳩山町総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 25 人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、それぞれ当該各号に定める数の範囲内において町長が任命する。

- (1) 町の議会の議員 2 人
- (2) 町の教育委員会の教育長又は委員 2 人
- (3) 町の農業委員会の委員 2 人
- (4) 町内の公共的団体等の役員及び職員 10 人
- (5) 識見を有する者 2 人
- (6) 公募による委員 7 人

(会長及び副会長)

第 4 条 審議会に会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第 5 条 委員の任期は 2 年とし、再任されることを妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員は、前任者の残任期間とする。

(部会)

第 6 条 審議会は、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 委員が属する部会は、会長が指名する。

第 7 条 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によって、これを定める。

2 部会長は、部会の事務を掌理する。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 8 条 審議会又は部会の会長は、それぞれ会長又は部会長が招集する。

2 審議会又は部会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会又は部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長又は部会長の決するところによる。

(庶務)

第 9 条 審議会の庶務は、政策財政課において処理する。

(その他)

第 10 条 この条例の施行に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和 60 年 3 月 26 日条例第 6 号)

この条例は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年 3 月 22 日条例第 11 号)

この条例は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 11 年 6 月 28 日条例第 12 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 15 年 3 月 18 日条例第 8 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 3 月 13 日条例第 1 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 旧教育長が在職する場合においては、第 4 条の規定による改正後の鳩山町総合振興計画審議会条例の規定は適用せず、同条の規定による改正前の鳩山町総合振興計画審議会条例の規定は、なおその効力を有する。

附 則(令和 2 年 3 月 11 日条例第 2 号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償等の支給条例の一部改正)

2 非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償等の支給条例(昭和 30 年条例第 18 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

鳩山町総合計画審議会委員名簿

(敬称略・五十音順)

選 出 区 分	氏 名	任 期	備 考
町の議会の議員 (2名)	森 利 夫	R02.03.26～R04.03.25	
	石 井 徹	R02.03.26～R04.03.25	
町の教育委員会の委員 (2名)	小 峰 洋	R02.03.26～R04.03.25	
	伊 藤 絵 里 子	R02.03.26～R04.03.25	
町の農業委員会の委員 (2名)	石 井 憲 司	R02.03.26～R04.03.25	
	岩 田 忠 昌	R02.03.26～R04.03.25	
町内の公共的団体の 役員及び職員 (10名)	大 澤 正 弘	R02.03.26～R04.03.25	埼玉中央農業協同組合
	日 坂 和 久	R02.03.26～R04.03.25	鳩山町商工会
	山 下 安 正	R02.05.27～R03.03.31	鳩山町区長・自治会長・ 町内会長会
	高 橋 恵 美 子	R03.04.07～R04.03.25	
	小 田 慎 一 郎	R02.03.26～R03.03.31	鳩山町社会福祉協議会
	島 田 広	R03.04.01～R04.03.25	
	田 島 重 美	R02.03.26～R04.03.25	鳩山町スポーツ協会
	根 岸 京 子	R02.03.26～R03.03.31	女性団体(亀井婦人会)
	若 林 康 子	R02.07.01～R04.03.25	行政書士会
	西 埜 寿 之	R02.03.26～R04.03.25	鳩山町老人クラブ連合会
	丞 村 知 美	R02.03.26～R03.03.31	鳩山町PTA連絡協議会
	眞 田 眞 貴 子	R03.05.14～R04.03.25	
	尾 山 孝 枝	R02.03.26～R04.03.25	鳩山町食生活改善推進協 議会
持 田 か お る	R02.03.26～R04.03.25	ひばりゆりかご保育園	
識見を有する者 (2名)	江 川 香 奈	R02.03.26～R04.03.25	東京電機大学理工学部
	藤 村 龍 至	R02.03.26～R04.03.25	東京藝術大学美術学部
公募による委員 (7名)	岩 澤 葉 子	R02.03.26～R04.03.25	
	木 村 益 久	R02.03.26～R04.03.25	
	羽 根 吉 恵 子	R02.03.26～R04.03.25	
	齊 藤 英 治	R02.03.26～R04.03.25	
	永 野 眞 理	R02.03.26～R04.03.25	
	中 谷 秀 子	R02.03.26～R03.04.20	
	園 田 裕 貴	R02.03.26～R04.03.25	

鳩山町総合計画審議会への諮問・答申

鳩政財第880号
令和2年11月18日

鳩山町総合計画審議会
会長 小峰 洋 様

鳩山町長 小峰 孝雄

第6次鳩山町総合計画について（諮問）

下記事項について、貴審議会の意見を求めます。

記

第1号 第6次鳩山町総合計画策定方針について
第2号 第6次鳩山町総合計画案について
(計画案の策定後、計画案を添えて改めて諮問します。)

鳩政財第975号
令和3年11月24日

鳩山町総合計画審議会
会長 小峰 洋 様

鳩山町長 小峰 孝雄

第6次鳩山町総合計画について（諮問）

本町の新しい総合計画を策定するにあたり、令和2年11月18日付で貴審議会に「第6次鳩山町総合計画策定方針」を諮問し、ご意見を頂戴しながら、第6次鳩山町総合計画基本構想・骨子案を経て、第6次鳩山町総合計画基本構想（素案）を作成しました。

つきましては、鳩山町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

記

諮問事項 第6次鳩山町総合計画素案について

鳩 総 審 第 7 号
令和 4 年 1 月 28 日

鳩山町長 小峰孝雄 様

鳩山町総合計画審議会
会長 小峰 洋

第 6 次鳩山町総合計画案について(答申)

令和 3 年 11 月 24 日付鳩政財第 975 号により本審議会に諮問された第 6 次鳩山町総合計画案について、慎重に審議を行った結果、次のとおり意見がまとまりましたので答申いたします。

答 申

第 5 次鳩山町総合計画は、国を上回るスピードで少子高齢化が進むなか、行財政改革に取り組みながら、重要政策に重点的に財源を投入する選択と集中による町政運営を、町民と行政の協働により推進することを目的に平成 22 年 6 月に策定されました。

そして、平成 15 年 4 月に施行された「鳩山町まちづくり基本条例」等に基づき、住民参加を基調としたまちづくりが進められてきました。

しかし、第 5 次総合計画期間中に高齢化率が埼玉県内でトップとなるなど、町を取り巻く環境が一層厳しくなるなか、取組の進化が必要です。

本審議会では、このような現状認識に立って、諮問に対し 5 回の会議を開催し審議を行いました。

その結果、第 6 次鳩山町総合計画案について、概ね妥当であるとの結論を得ましたので、ここに答申いたします。

なお、本審議会としての意見を別紙のとおり付しますので、第 6 次鳩山町総合計画案の最終決定の決定に際し、可能な限り反映されますよう付言いたします。

(別紙)

第 6 次鳩山町総合計画案に関する審議会意見

土地利用構想図の凡例 2「⑥土地利用転換想定箇所」の文言について、状況によって土地利用の転換を検討する箇所（状況によって土地利用の転換が可能な箇所）と解することができるような文言に改められたい。

第 6 次鳩山町総合計画策定経過

年月日	内 容
令和元年 11月28日	政策会議 ・第6次鳩山町総合計画策定方針について
12月11日	議員全員協議会（第1回） ・第6次鳩山町総合計画策定方針を説明
令和2年 2月12日	議員全員協議会（第2回） ・総合振興計画審議会条例改正について説明
2月13日	無作為抽出型公募委員案内を町民200人に郵送（応募者8名）
3月4日	公開抽選により7名の公募委員が当選
3月12日	総合計画審議会条例改正
3月19日	鳩山町総合計画策定本部会議（第1回） (1) 第6次総合計画策定方針の一部改定について (2) 第5次計画評価・意識調査について
3月26日	鳩山町総合振興計画審議会（新型コロナ感染拡大防止に伴う開催延期）
4月9日	鳩山町総合計画策定本部会議（第2回） (1) 第6次総合計画策定に伴う町民意識調査について
5月1日	鳩山町総合計画策定本部会議（新型コロナ対策に伴う開催延期）
10月1日	鳩山町総合計画策定本部会議（第3回） (1) 第6次鳩山町総合計画の策定スケジュールの見直しについて
10月13日	議員全員協議会（第3回） ・第6次鳩山町総合計画の策定スケジュールの見直しについて
11月2日	鳩山町総合計画策定本部会議（第4回） (1) 第6次総合計画策定スケジュール及び第5次総合計画期間の延長について

11月18日	鳩山町総合振興計画 <u>審議会</u> （第1回） (1) 総合計画と審議会について (2) 会長、副会長選出 (3) 諮問事項について (4) 策定方針及びスケジュールについて (5) 町民意識調査について
11月25日	鳩山町総合計画策定本部会議（第5回） (1) 第6次総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた町民意識調査の実施について (2) 鳩山町の人口推計について
12月22日 ～令和3年 2月18日	第6次総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた町民意識調査 ・対象者数 18歳以上の町民2,000人 ・回収 12月22日～令和3年2月18日（1月8日までだったのを延長） ・有効回答 965人（有効回答率 48.25%）※総人口の7.16% ・信頼レベル95% ・誤差1.6%
1月～2月	町民意識調査票965人分を入力、集計
3月	町民意識調査結果の分析
7月15日	議員全員協議会（第4回） ・第6次鳩山町総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた町民意識調査の結果を説明
8月2日	鳩山町総合計画策定本部会議（第6回） (1) 第6次総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた町民意識調査の結果について (2) 第6次総合計画素案骨子の決定について
9月2日	鳩山町総合振興計画 <u>審議会</u> （第2回） (1) 第6次総合計画・都市計画マスタープラン策定に向けた町民意識調査の結果について (2) 第6次総合計画素案骨子について
10月	人口推計分析
10月15日	議員全員協議会（第5回） ・第6次総合計画素案骨子作成にあたって及び素案骨子を説明

10月28日	鳩山町総合振興計画 ^{審議会} （第3回） (1) あなたが町長だったらグループワーク (2) 委員からの意見
11月14日	鳩山町の幸せな未来を考える第1回まちづくりワークショップ開催 ・鳩山町の魅力（良い所や好きな所）や幸せだと感じることについて考える ・自分が町長だったら8年後の町民の幸せのためにどのような施策や事業をするかについて考える。 ・地域包括ケアセンター 地域の交流スペース 参加者34名
11月15日	鳩山町総合計画策定本部会議（第7回） (1) 第6次鳩山町総合計画素案の決定について
11月22日	議員全員協議会（第6回） ・第6次総合計画素案（パブリックコメント案）を説明
11月24日	鳩山町総合振興計画 ^{審議会} （第4回） (1) 鳩山町の幸せな未来を考える第1回まちづくりワークショップの概要について (2) 第6次鳩山町総合計画素案（パブリックコメント案）について
12月1日	第6次総合計画素案に関するパブリックコメント実施 ・実施期間／令和3年12月1日（水）～令和4年1月5日（水） ・意見提出者数／8名（持参4名、メール4名） ・意見件数／47件 ・周知方法／鳩山町ホームページ、広報はとやま12月号
12月19日	鳩山町の幸せな未来を考える第2回まちづくりワークショップを地域包括ケアセンター 地域の交流スペースで開催（参加者31名） (1) 鳩山町の魅力や幸せを感じたエピソード等について一緒に考える。 (2) 第6次鳩山町総合計画の素案について説明し、重点事業等を一緒に考える。
12月～令和4年1月	第6次総合計画指標現状値、目標値調査
1月17日	鳩山町総合計画策定本部会議（第8回） (1) 第6次鳩山町総合計画素案へのパブリックコメントの結果及びパブリックコメントへの町の考え方の決定について (2) 第6次鳩山町総合計画・諮問案の決定について

1月28日	鳩山町総合振興計画審議会（第5回） (1) 第6次鳩山町総合計画素案へのパブリックコメント結果及びパブリックコメントへの町の考え方について (2) 第6次鳩山町総合計画（諮問案）について (3) 答申について
1月28日	鳩山町総合計画審議会会長から町長へ答申
2月1日	鳩山町総合計画策定本部会議（第8回） (1) 鳩山町総合計画審議会答申について (2) 第6次鳩山町総合計画案の決定について
2月10日	議員全員協議会（第7回） ・「第6次鳩山町総合計画案」を説明
3月1日	第6次鳩山町総合計画案を3月議会に提出

はとやま

HAPPY

プラン

=====編集・発行=====

鳩山町政策財政課

令和4年3月発行

〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸 184 番地 16

TEL 049-296-1211 FAX 049-296-2594

<http://www.town.hatoyama.saitama.jp>

e-mail h220@town.hatoyama.lg.jp